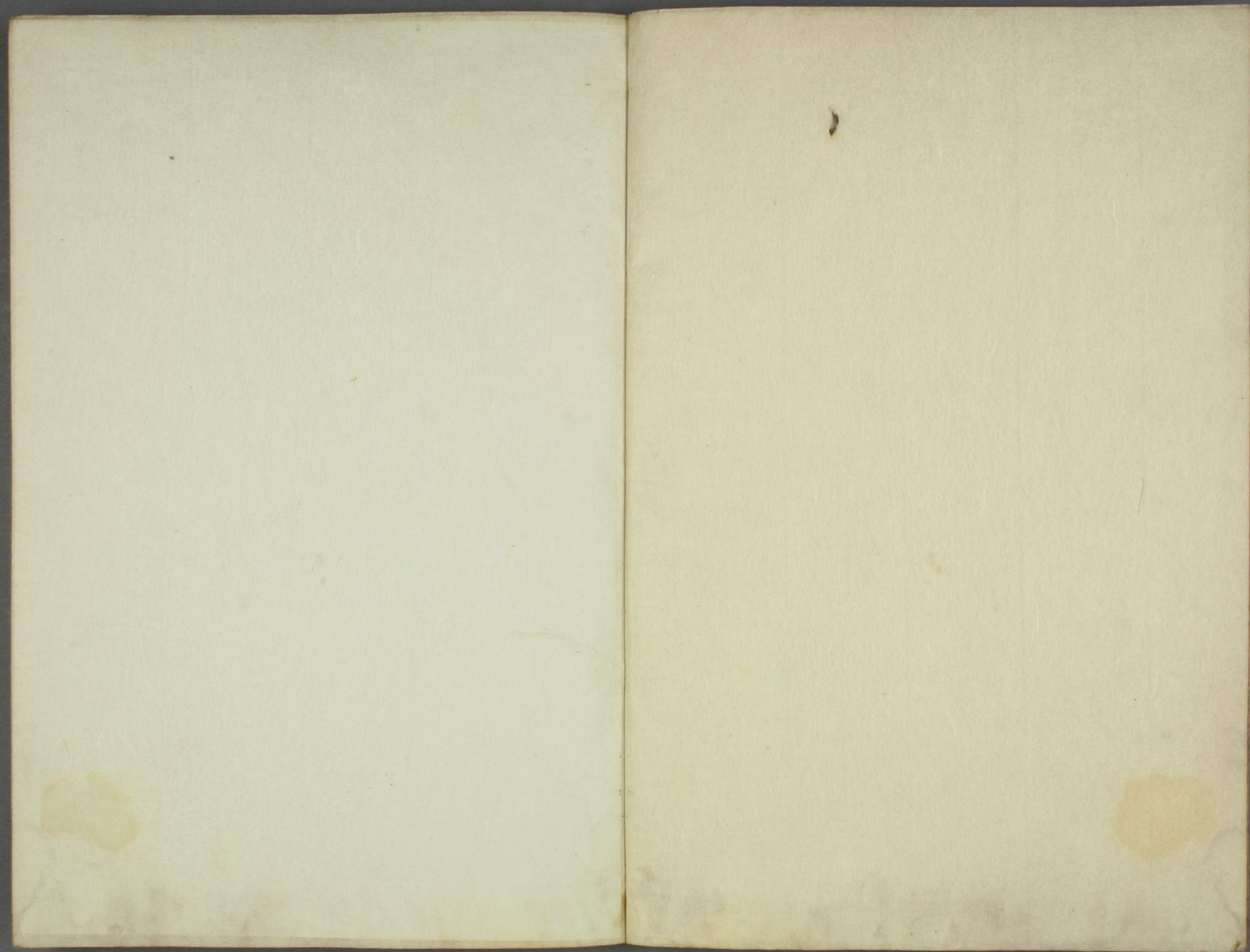




標有梅

特別
4163
2





門子
號 4163
卷 2

湯後園印

湯後園印

曲玉問答

或人云曲玉ハ本朝三種之神寶ノ一神璽也トテ近世好事ノ徒專愛玩ス甚不審忝モ皇氏ヲ續タモフ御印三種也稀ニモ世ニ類ノ有ベキ物ニアラズト

答云曲玉寶劍御鏡ハ深キ由緒アリテ本朝開闢以來代々ノ神寶ト仰レタマフ我人ノ口演スルモ恐レアリ勿論ノ事也三種ノ内ノ劍鏡ハ神代ヨリ今ニ製作モ用方モ世傳リ頗ル澤山ナルモノナリ曲玉ハ製作用方トモニ中絶ノ物ニテ甚得カタク近頃迄ハ名ヲ知ル人モ稀ナリ今好事ノ徒古キヲ慕ヒ得ガタキヲ尋探テ愛玩ス古劍ヲ愛シ

湯後園印

伊山津郡故郷

梅園

乃采

昭和二十七年三月十八日購求

古鏡ヲ弄フ同シ事也

神代卷曰三種ノ神器ト申奉ルハ神璽寶劍内侍所也
神璽ハ伊弉諾ノ兒大明玉大所作八坂瓊ノ曲玉也

古事記曰天照大神於御鬘赤於左右御手各纏持八尺
勾璁

不木集師光歌

ヤマトニハマカリノ玉ト草ナキノ劍ハ國ノ宝ナリケリ

中古或人ノヨメル

是ハ渡會神官延佳十一歳ノ哥也此時ハ出市之巫ト云信云
神前松枝曲リケルヲ見テ直ナルヲ好マセ玉ヲ神前ニハ如何ト
申タル人ハ對シテ此詠哥アリシト云傳フトソ

ヤサカテノマカレル玉モアルモノヲ何トテ君ハ松ノミヲ問フ

二 或人云曲玉ハ和物ニアラズ舶來ノ物ニテ往古漢人身ニ飾リ

タル玉ナルベシ周禮及後漢三韓傳等ニ重瓔珠以綴衣為
飾及掛頭垂耳ト見エタリ

卷云上古ハ和漢混雜スル事多シ然日本ノ地ヨリ穿出セル曲
玉ハ和物神作ナル事日本紀及延喜式等ニ詳也往古玉ヲ
身ニ飾シコトハ萬葉集玉衣玉鬘玉釧アリ和名集ニ耳玉
指玉臂環アリ延喜式ニ頭玉手玉足玉アリ

三 或人云近年好事家ニ弄フ曲玉ノ出所ヲ聞ニ古キ墳墓又
ハ御陵ノ備ナリ疑クハ上古葬ノ具不淨ノ物ナルヘシ
卷云上古貴人ヲ葬時ハ其人ノ愛玩セシ物或ハ手ニフレ身ニ
添タル物悉ク土中ニ埋ム是古代ノ法ナリ

文獻通考曰日本ノ王子來朝ス青キ曲玉ヲ捧ト記セリ
葬ノ具ヲ携エテ獻シタマフベキヤ笑ニ堪タリ

信一云日本ノ王子ト記ス不審ナリ九國ノ賤偽名以欺シナラニ其終
ニ記セシ物ニヤ可思フ也

日本諸所大社ノ神宝ニ曲玉アリ是ヲ以テモ不淨ノ物ニアラ
サル事ヲ知ベシ前ニ雲根志ニ悉ク述タレハ茲ニ略ス

越後頸城郡宮内村矢代大明神ノ宝物ニ曲玉一百余顆アリ
ト越後高田光國寺物語也 社司倉科元近ト云

信州松代領ノ内池田ノ宮ノ神宝ニ曲玉五百八十余顆アリ毎年
正月六日地頭ヨリ役人來村役人立會數ヲ改ルト云

對州住吉神社ノ御神宝ニ曲玉管玉ヲ紅ノ糸ニ連名物アリ

四 或人云垂仁天皇ノ卷ニ年志那ノ腹ヨリ曲玉ノ出タル事ヲ
記セリ按ルニ鮮賸ナルヘシ上古美シキヲ賞シテ曲玉ト号セシ
ナラン

答云鮮賸答宝トスル物ニアラス曲玉ナレバコソ神宝ニ納メ玉フ也
愚謹按 年志那食物ト誤テ喰タルカ宝ナル事ヲ知テ吞タルカ

○ 因州鳥取ノ何某 姓名不顯 不計狸ノ穴ヲ破テ曲玉一顆ヲ得
タリ其後近辺ノ狸ノ巢ヲ尋探リ穿鑿スルニ上古製衣ノ玉
石及ヒカナモノ類偶アリトノ物語ナリ予六十年來是ニ類シタ
ル話所ニニテ聞及ヌ長文綱ヲ厭テ不記狐狸ノ類千歳ヲ
經ル物ヲ竈爰スルコトアルコト、見エタリ

○日本紀曰垂仁天皇八十七年春二月大中姬物部十連ニ石上ノ神室ヲ被為納其神室ノ中ニ牟志那ノ腹ヨリ出タル八尺瓊ノ勾玉アリ

五 或人云琉球ニテ神ヲ祭ル婦人神拜ノ時首ニ掛テ物アリ種々ノ美玉ヲ連タル物ナリ其兩端ニ曲玉アリ吾醜リ是ヲ見タリ茲ヲ以テ見ル時ハ琉球ノ製作ニテ偶日本へ渡タルモノカ
答云琉球ニテ是ヲ「口ク」ト云琉球又蝦夷ニテ大將分者連玉ヲ頭ニ掛テ飾トシ禮式トス是ヲ「口トキ」ト云蝦夷其兩端ニモ曲玉アリ予按ニ上古ハ和漢一統ニ玉ヲ以テ身ヲ飾ル時移リ代變リテ我朝其式絶タリ琉球蝦夷ノ片鄙ニハ

古実トモ残レリト見エ松前熊石ノ任人村上八十兵衛云蝦夷人ノ首ニ掛タル連玉ヲ見ルニ至テハ美麗結構ニ見ユルアリ齋相下品ニ見ユルモアリ察スルニ其人ノ格式ニヨルニハアラス貪福ニヨルト見ユトノ物語也

○冠辞考ニ曰今ニ蝦夷カ島人ノ衣ニモ青玉多クツケ侍ルハイニモハノ残レルモノナルヘシ

六 或人云南都小院ノ佛天蓋ノ飾連玉ノ端ニ曲玉アリ住僧云是上古ノ玉簾ト云物ナリト又或小院ノ什物ニ開山ノ袈裟ト云アリ古金襴様ノ織物ナリ摸様ノ中ニ曲玉アリト

谷云按持傳タル曲玉ヲ以テ佛天蓋ノ飾リニ用タルナルベシ曲
玉ハ佛法不渡前ノ物ナリ玉簾ノコトハ未考古金襴ニ曲玉織付
タルハ古キ織物ニアルモノ也予先年高野山北室院ヲ訪テ五七
日當院ニ遊フ時ニ曉照禪師當院主也種々ノ古物ヲ見セ玉フ中
ニ曲玉織付タル古切ヒアリ院主ノ大珍藏ナリ予モ近頃人ノ惠ニテ
曲玉織付タル古切ヒヲ所蔵ス

○ 筑後風土記曰玉簾ノ以テ奥ノ宮中ノ宮ヲ飾ト云

○ 仲哀紀曰船ノ舳ニ八天瓊ノ曲玉ヲ掛テ周芳ノ沙磨ノ浦ニ迎
奉ト

七 或人云近世目利講ト号テ道具屋打交テ小道具ヲ賣買

スル會アリ此コロ當時好事家ニ愛玩スル曲玉壺ト云物
一ツ出セリ甚古雅ナルモノ也集會ノ中ニ茶道ヲ指南ス
ル宗匠弟子ニツケテ云是ハ行基壺ト云物ニテ行基時代
ノ作人骨ヲ納メ葬リシ器ニテ不淨ノ物ナリ見覺エタマヘト
云末座ニ道具屋仲間ニテ古狸ト異名セシ目利巧者
親父アリ小声ニテ云是ハ日本物ニアラス島物ニテ往古蠻
夷ヨリ渡リシ物ナリ形不一種ニ異体アリ折々見ル物ナリト
云又備ニ惣髪ノ人アリ同伴ノ若キ人ニ云ルハ是上代酒ヲ
入レテ砂中ニ居エ天神地祇ヲ祭りタルモノニテ万葉集ニモ
出タル名ヲホリスエ三輪ト云珍シキ物ヲ見タリ連撫ツサ

スリツ詠ノ居ル此三人ノ説雲泥ノ相違何レ是ナルヤ答云行
基骨壺ノ説論スルニ不足神龜年中ニ陶ノ説考ナリ此壺
時代日本ニ火葬ナシ又骨壺ト云物別ニ製作セシ夏古今
ニキカズ予多年數百品弄玩シタルニ人骨ヲ蓄シ壺遂ニ見
アタラス奥ニ図スル壺ノ形ニテモ骨壺ニアラサル事ヲ知ヘシ一
体吾ノ壺ハ五人前ノ骨ヲ納メシヤ可笑ノ甚キ也
上古舶來島物ト云説却テ目利巧者トモ云ニカ日本モ此壺
時代ハ未文華不癸事也

ホリスエ三物^輪ノ説イカナル人ガ奥床ニ名ヲ聞カハ定テ博識尚
名ノ人ナルヘシ三説ノ内尤此説ヲ取ヘシ三輪ハ酒ノ古言也

万葉集ニ

ナキ澤ノ森ニ三輪居エ祈トモ我大君ハタカヒシラシヌ

不木集ニ

イクレタテ三輪居祈ル神スシノウスノ玉カゲミクヨシシモ

近代或人ヨメル

ホリスエ三輪トシキケハイニシヘノコトゾオモホユカリヤスエシト

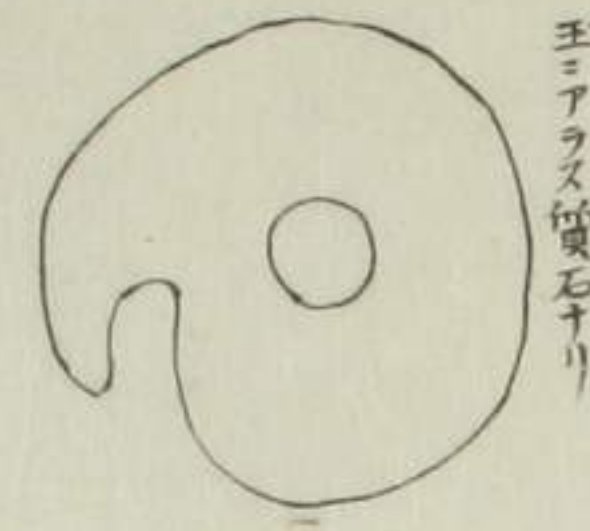
此等ノ古歌ニヨル時ハホリスエミワ今ノ造酒徳利ナルヘシ近年
此壺諸國ニ穿出ス大小形狀不尋都テ尻丸ク居底ナシ
至テ異形ノ物アリ奥ニ図ス何レモ今様ノ物ニアラス内ニ曲玉
入タル物稀ニアル故ニ近世曲玉壺ト号ルカ然氏壺中曲玉ノ

三ニモアラス管玉白玉彈丸或ハ古代ノ金具ノ類等アリ十三八
 九ハ空壺也按ニ上代ハ万事質素ナレハ造酒モ入曲玉モ入レ
 菓予モ小道具モ入レタルナルヘレ愚竊謂 ○神代卷ニ天ノ平倉天ノ
 嚴倉天ノ手扶アリ是日本陶ノ初ナリ恐クハ此類ナルヘレ
 信一云回事記ニ茅渟縣ニ大陶祇ト云アリ茅渟ハ和泉国ナリ神代卷ニ嚴倉
 嚴倉之置忌賀ナト皆神ヲ祭ルノ土器也ト云

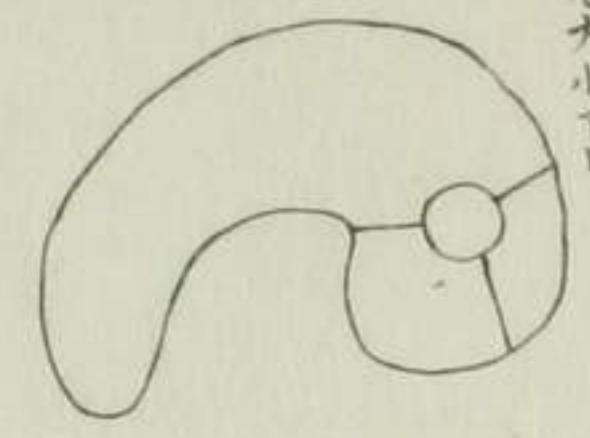
湖東隱士
 石亭主人重曉誌

曲玉大小アレ氏丸ニ記ス図ヨリ大ナルモ小ナルモナシ質ハ雲州
 玉造ノ青瑪瑙ト津輕ノ赤瑪瑙多シ外ノ質外ノ色モ稀ニ
 ハアリ形狀モ常体多ク此圖ノ如キ物ハ至テ希也予多年見タレ
 異体ノ圖ヲ茲ニ顯ス

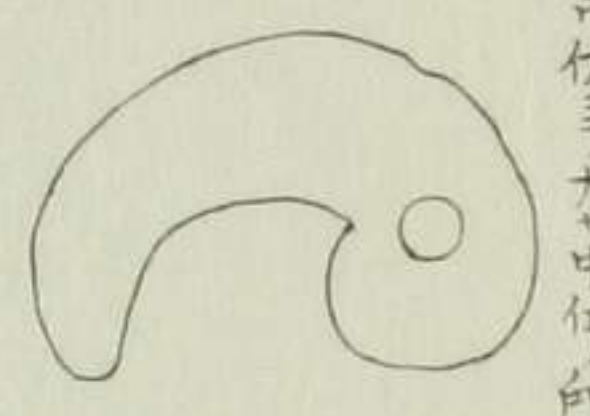
甚異形也此形ノ物
 玉ニアラス質石ナリ



常体ヲ節アリ
 尤小アリ



常体ヲ本中位ノ所

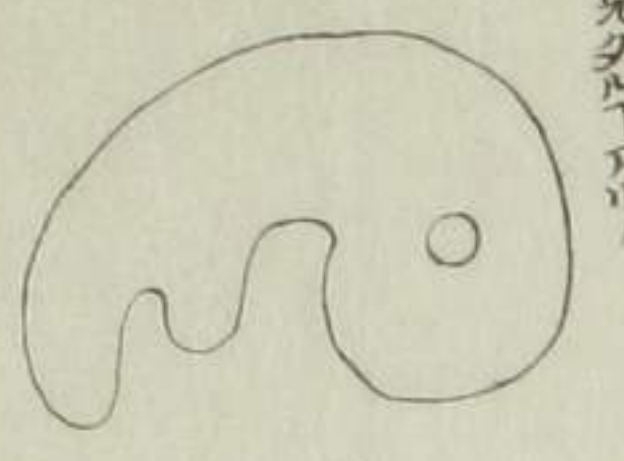


至テ小ナル物

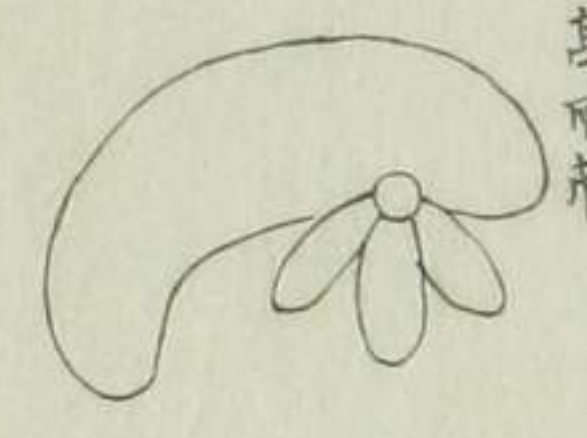


玉造青瑪瑙ナリ是ヨリ大ナルハナレ
 質物ニ大ナル物アリ

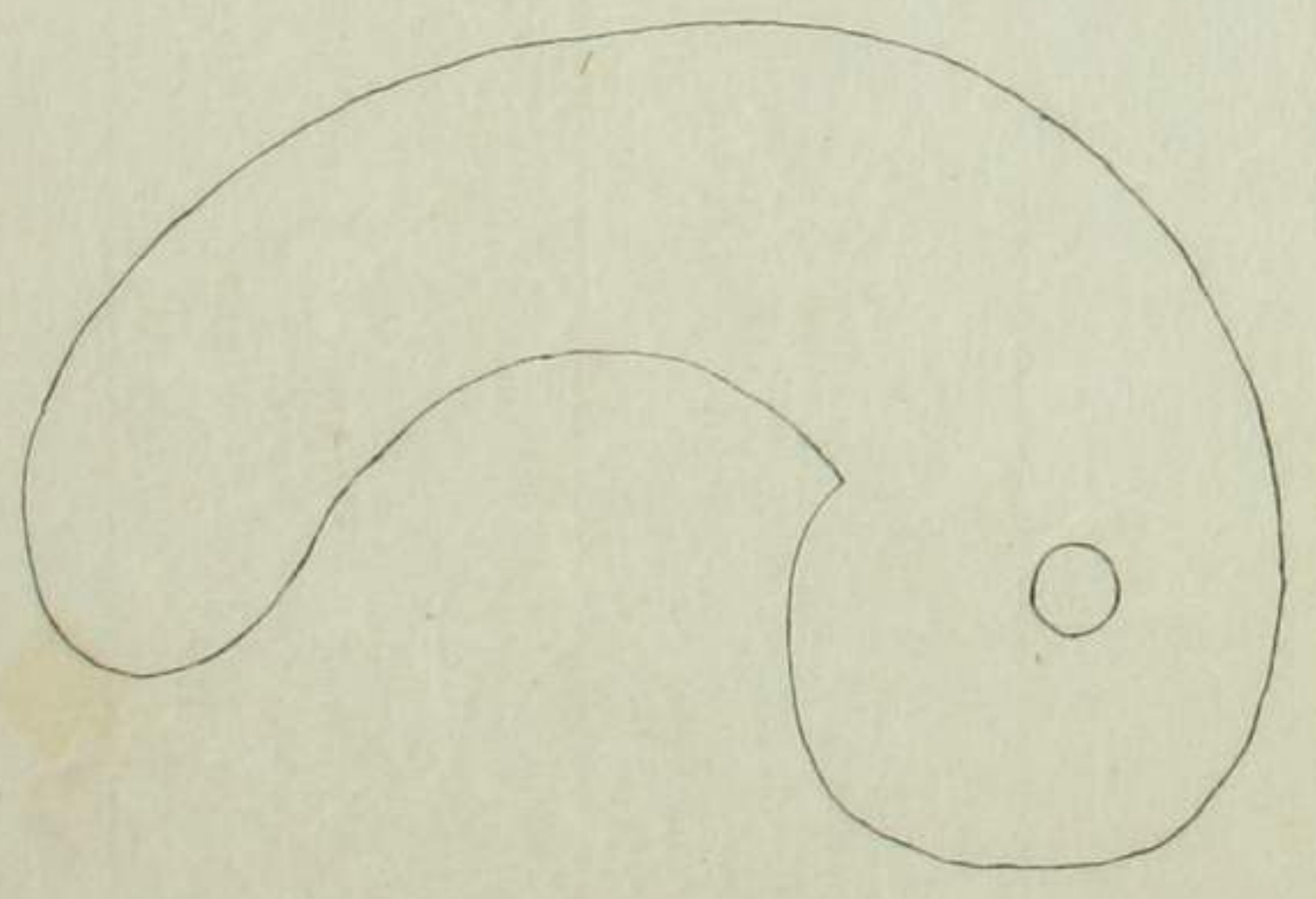
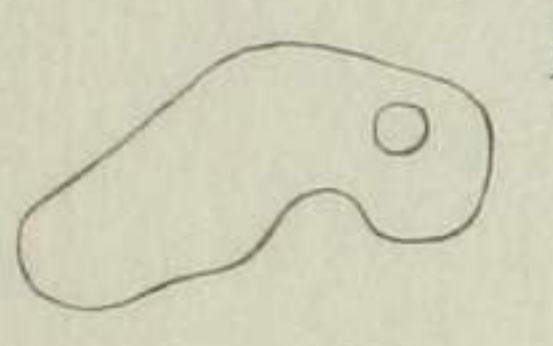
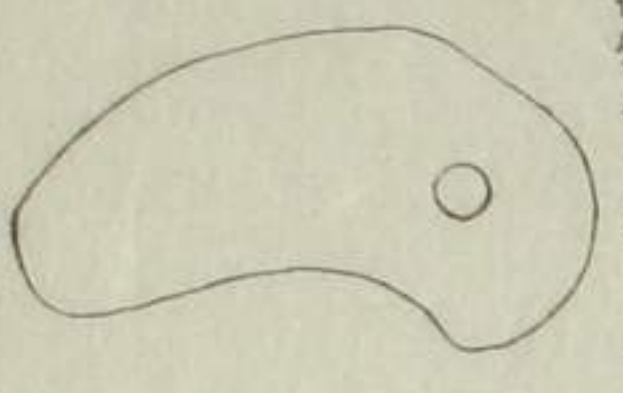
此形ノ物ニ大ニ寸位ノ
 物見タルアリ



石亭所藏

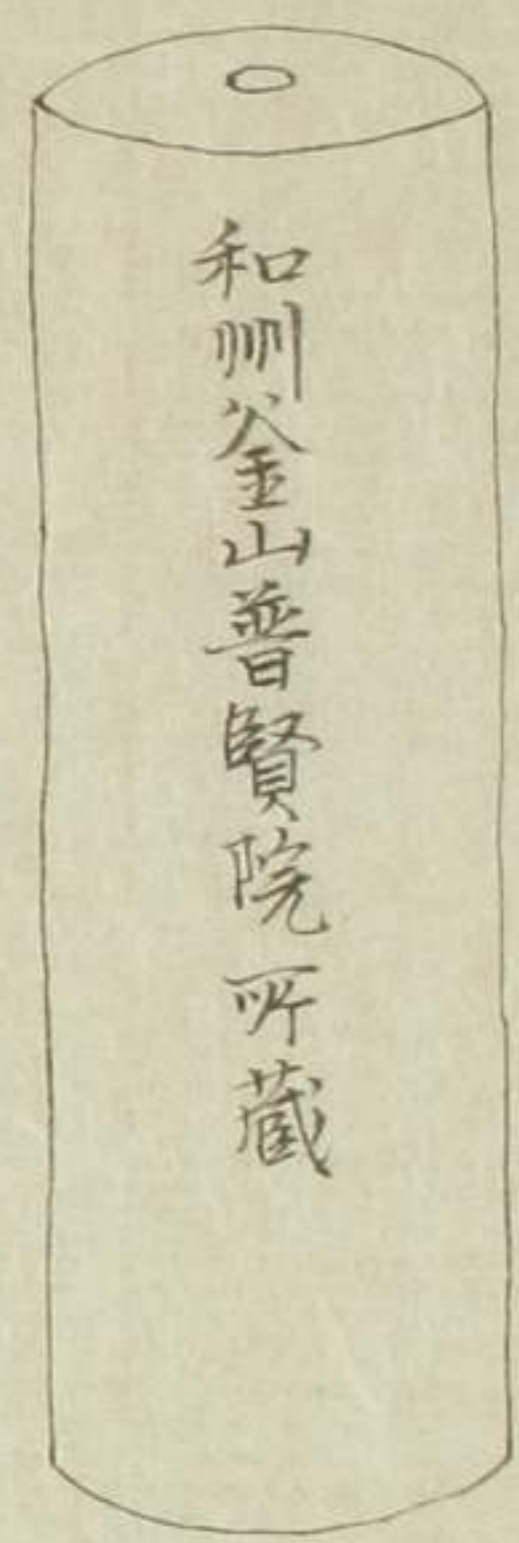


此物質玉ニアラス石ニアラス奇石ナリ



管玉一名神管石一名仙簾石大小アリ如菴物テ雲州玉造青
 瑪瑙ニテ上品ノ物ナリ稀ニ外ノ石モアリ水晶ニテ如菴異体
 ナルモアリ謹按ニ他石異体ノ物ハ時代少新キカ

管玉是ヨリ大ナルナリ



此二種希ニ水晶ニテ製タルアリ

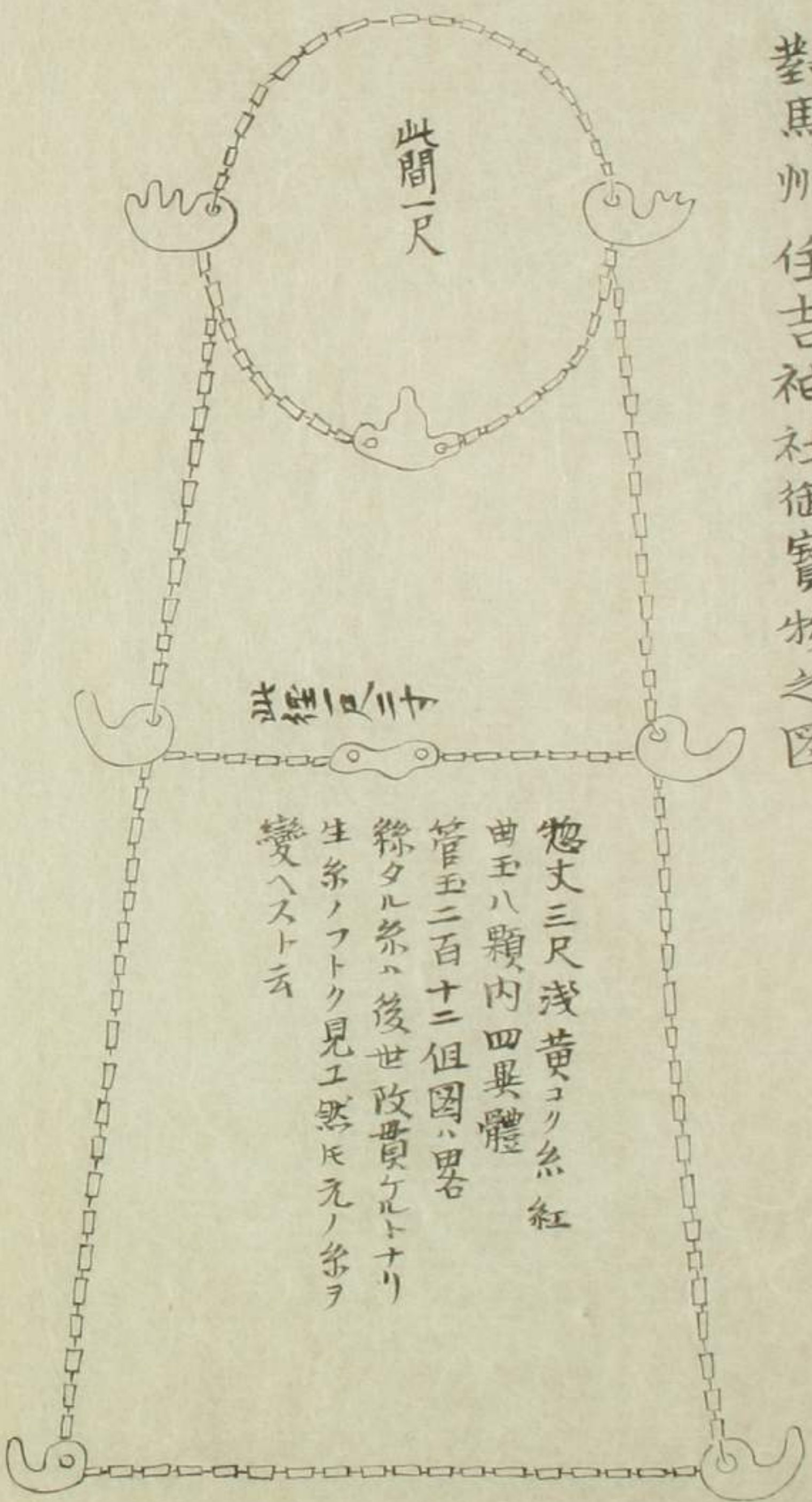


白石大小アリ右如菴石質種ニアリ玉類至テ稀也都テ下品
 柔ナル石多シ中ニ吹物アリ瑠璃色ナルハ皆硝子ナリ



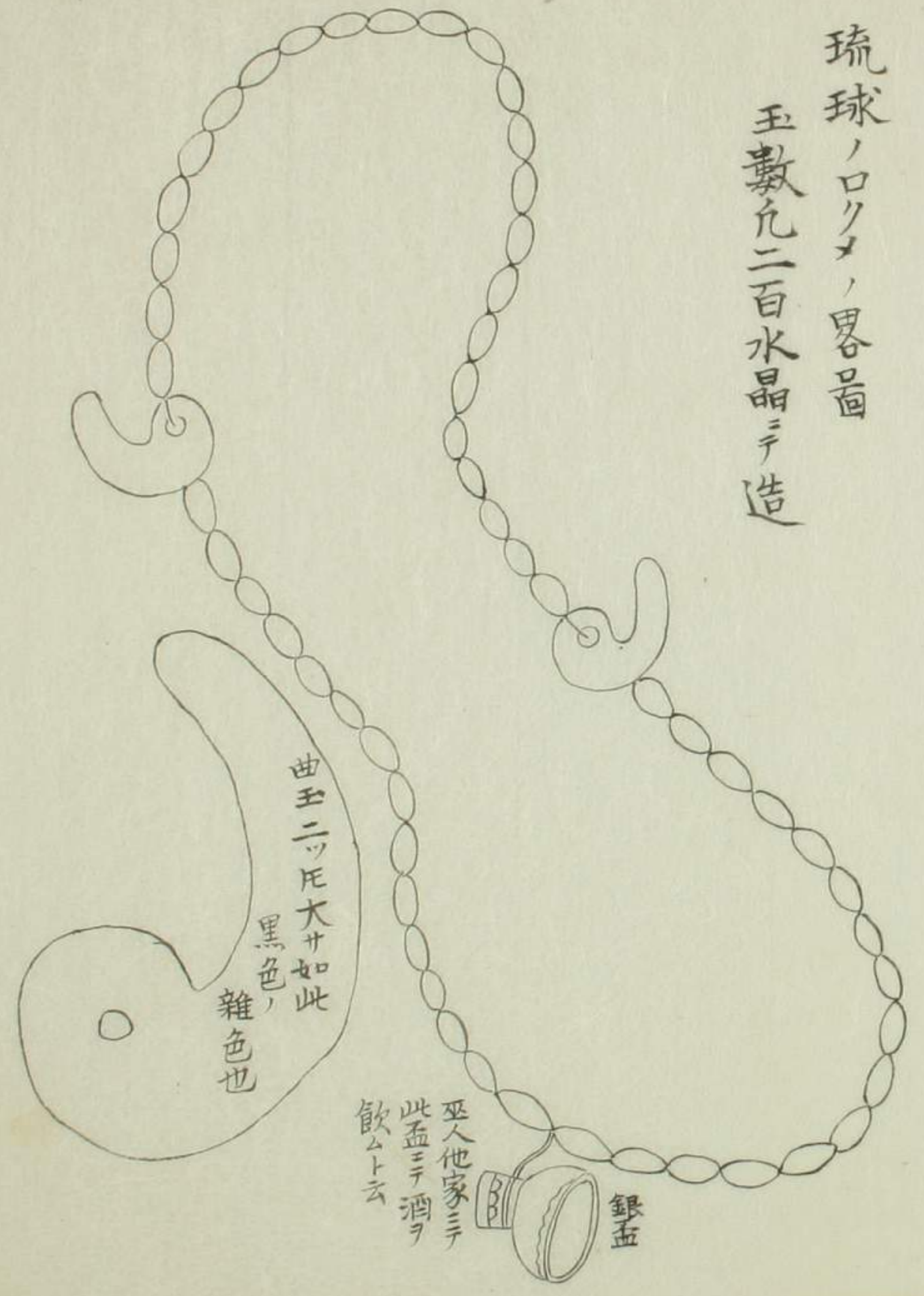
此類上品ノ紅瑪瑙或ハ水晶或ハ美玉等ナリ稀ニハ下品ノ
 石アリ渾テ勾玉管玉白玉ノ類物ニテ少異也

對馬州住吉神社御寶物之圖



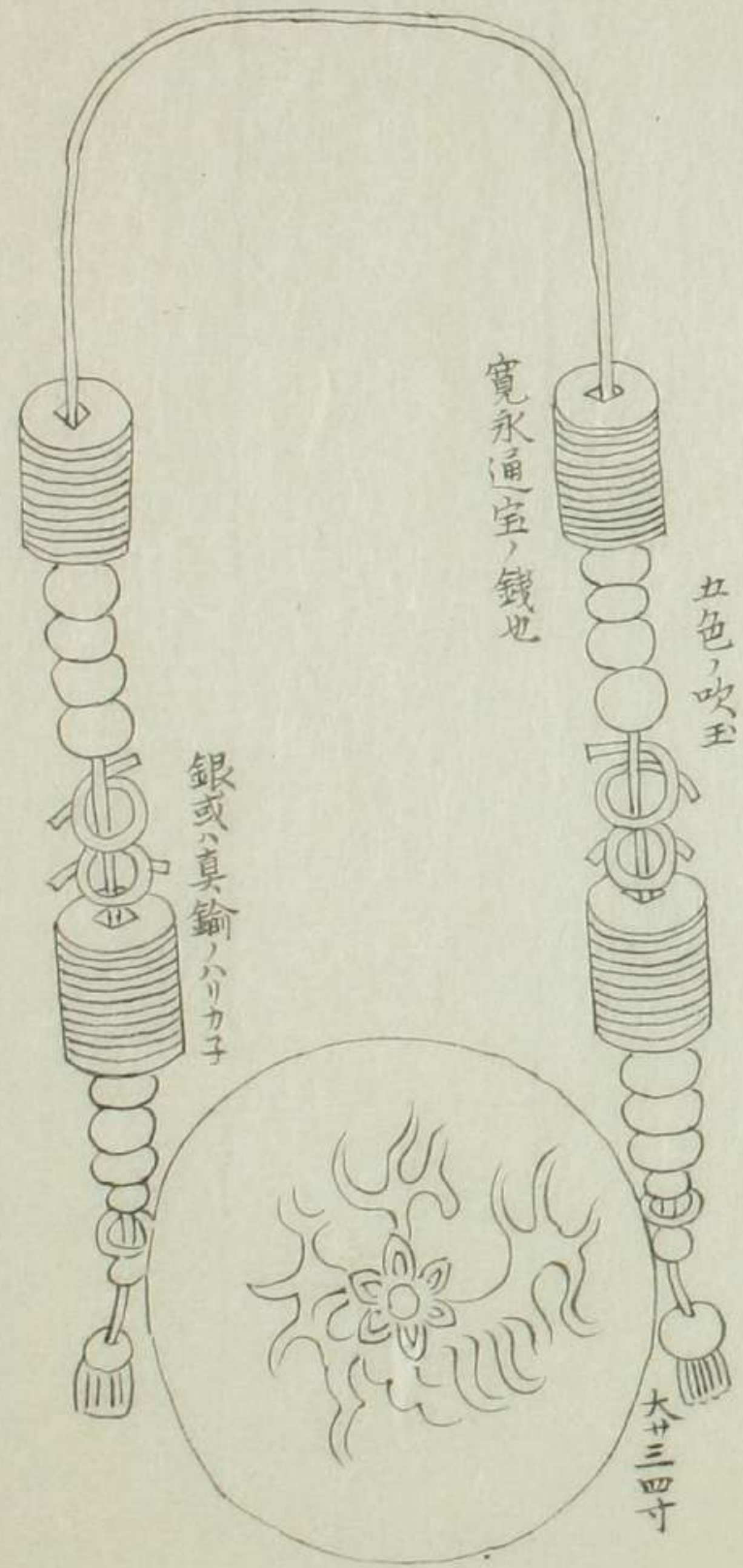
惣丈三尺淺黄ヨリ糸紅
 曲玉八顆内四異體
 管玉二百十二但國ノ界
 絲タル糸ハ後世改貫ケルナリ
 生糸ノフトク見エ然レ元ノ糸ヲ
 變ハスト云

琉球ノロクメノ畧音
 玉數凡二百水晶ヲ造

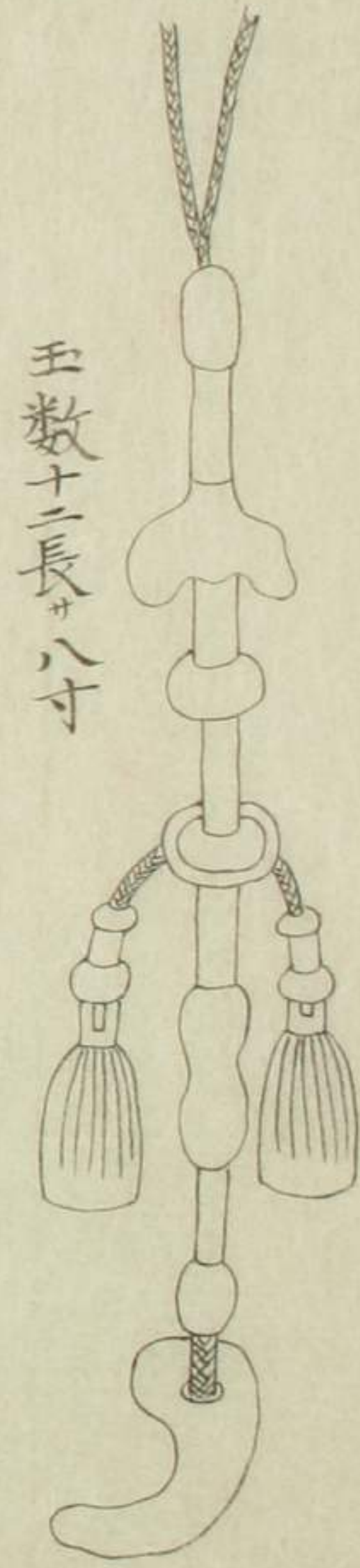


巫人他家ニテ
 此盃ニテ酒ヲ
 飲ムト云

蝦夷エトキノ圖

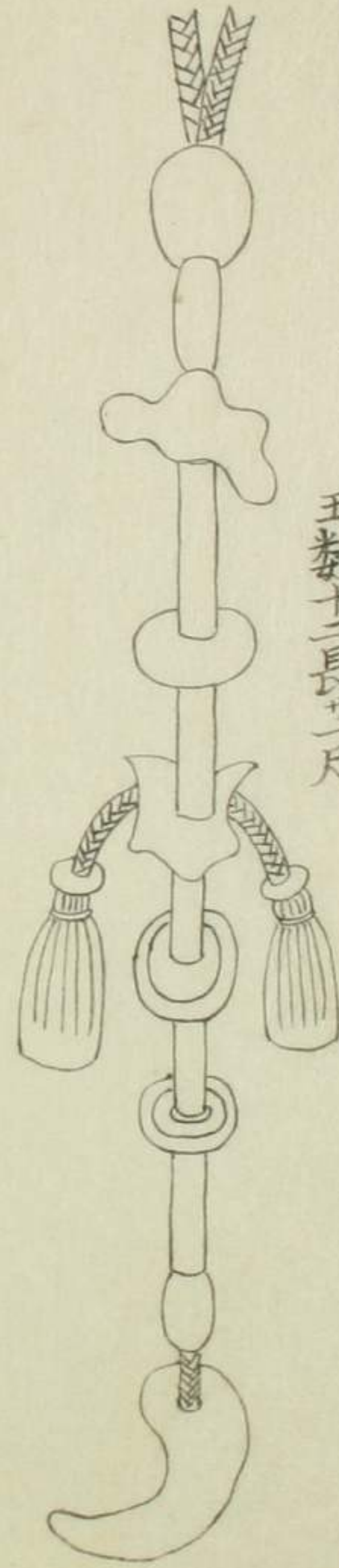


甲州八代郡市川御崎明神別當家所傳也



皇朝上古佩玉首

玉数十二長廿一尺



曲玉壺之圖

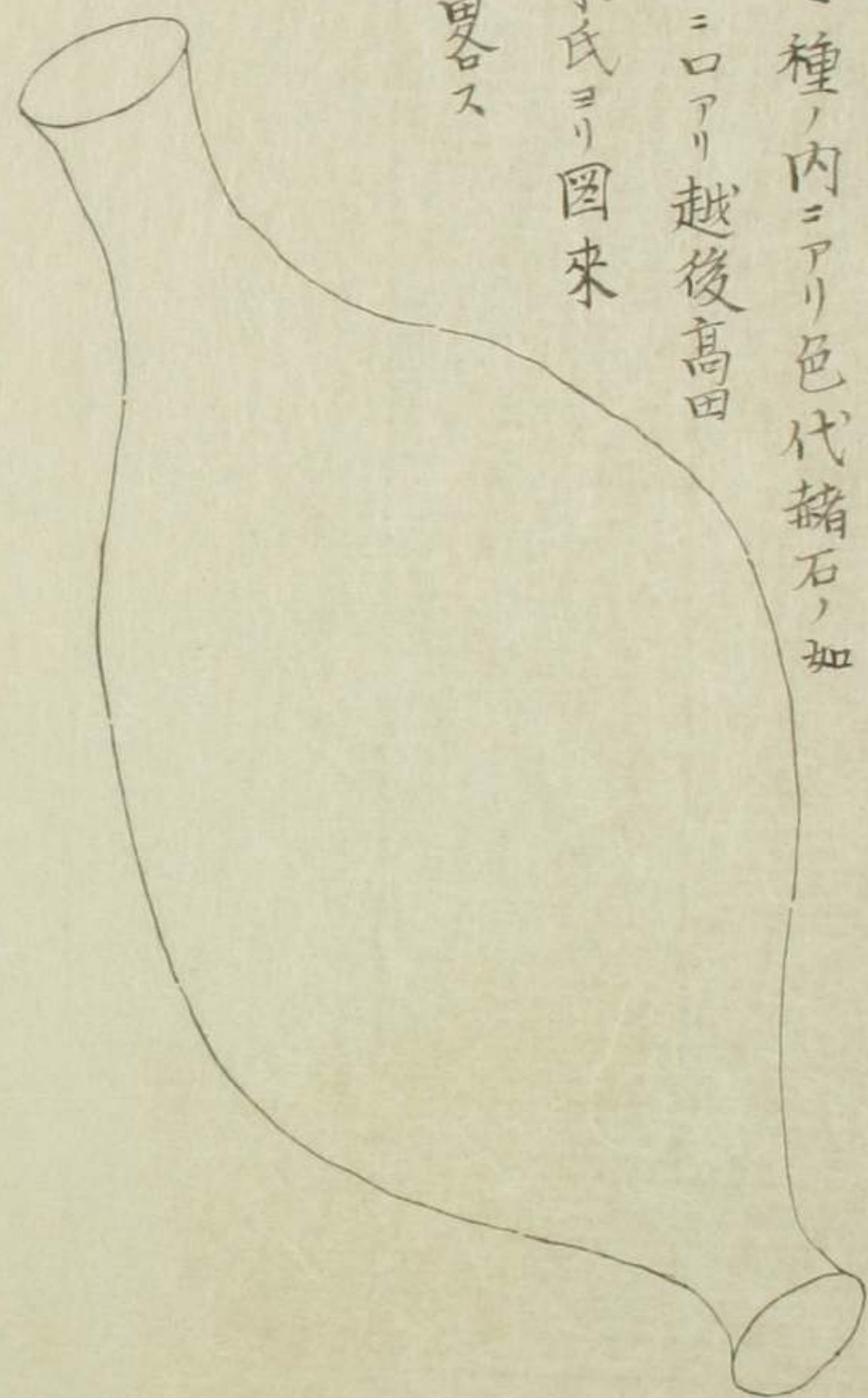
伊豆州田方郡平井邑柏谷邑上澤邑等ニテ掘出ス

壺七種ノ内ニアリ邑代赭石ノ如

上下ニ口アリ越後高田

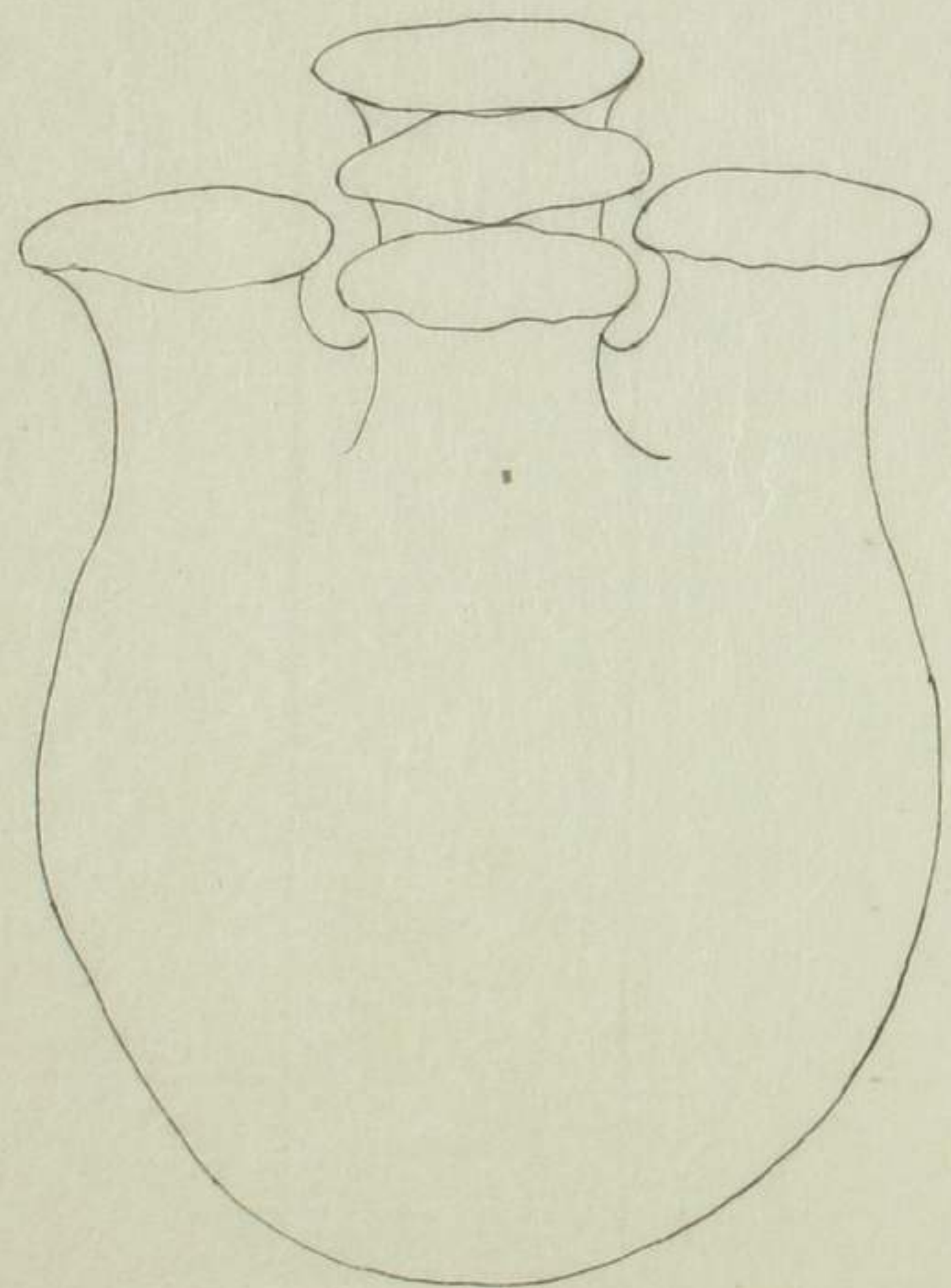
鈴木氏ヨリ圖來

余ハ畧ス

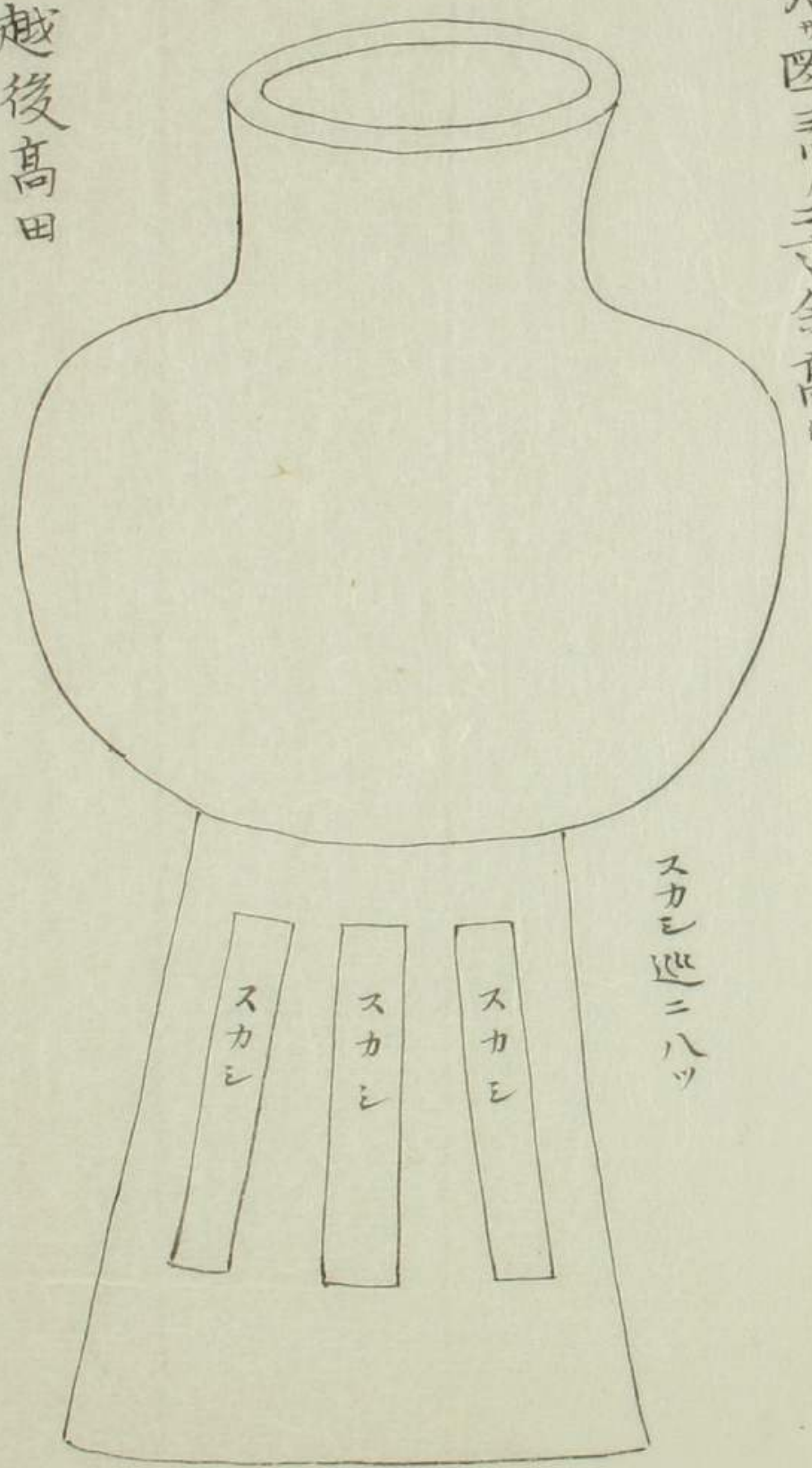


勢州神路山穿出一體五口之壺

浪華之入藏



越後高田
鈴木氏珍藏



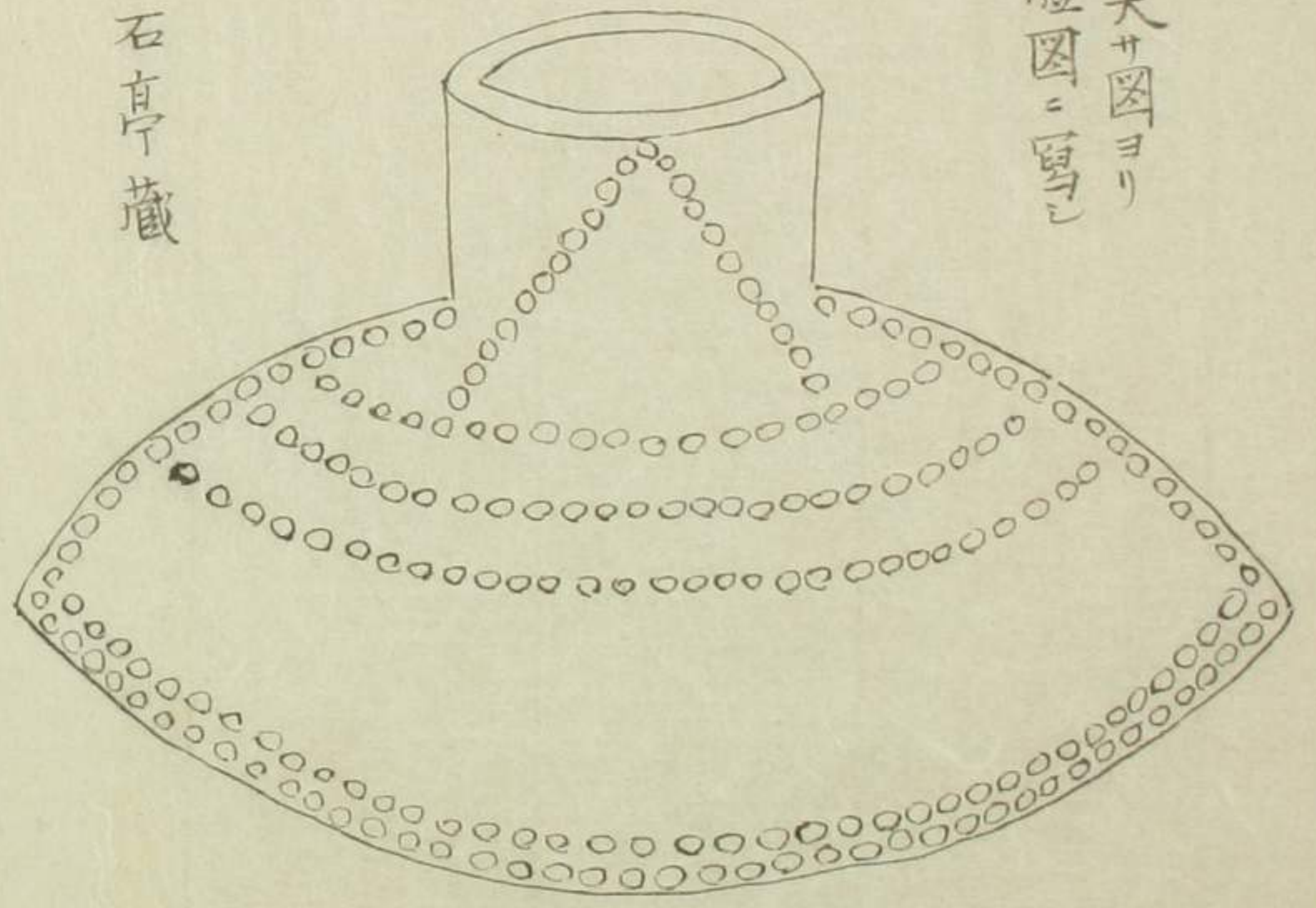
和州春日山ヨリ出
大サ図ヨリニ寸余高シ

スカヒ巡ニハツ

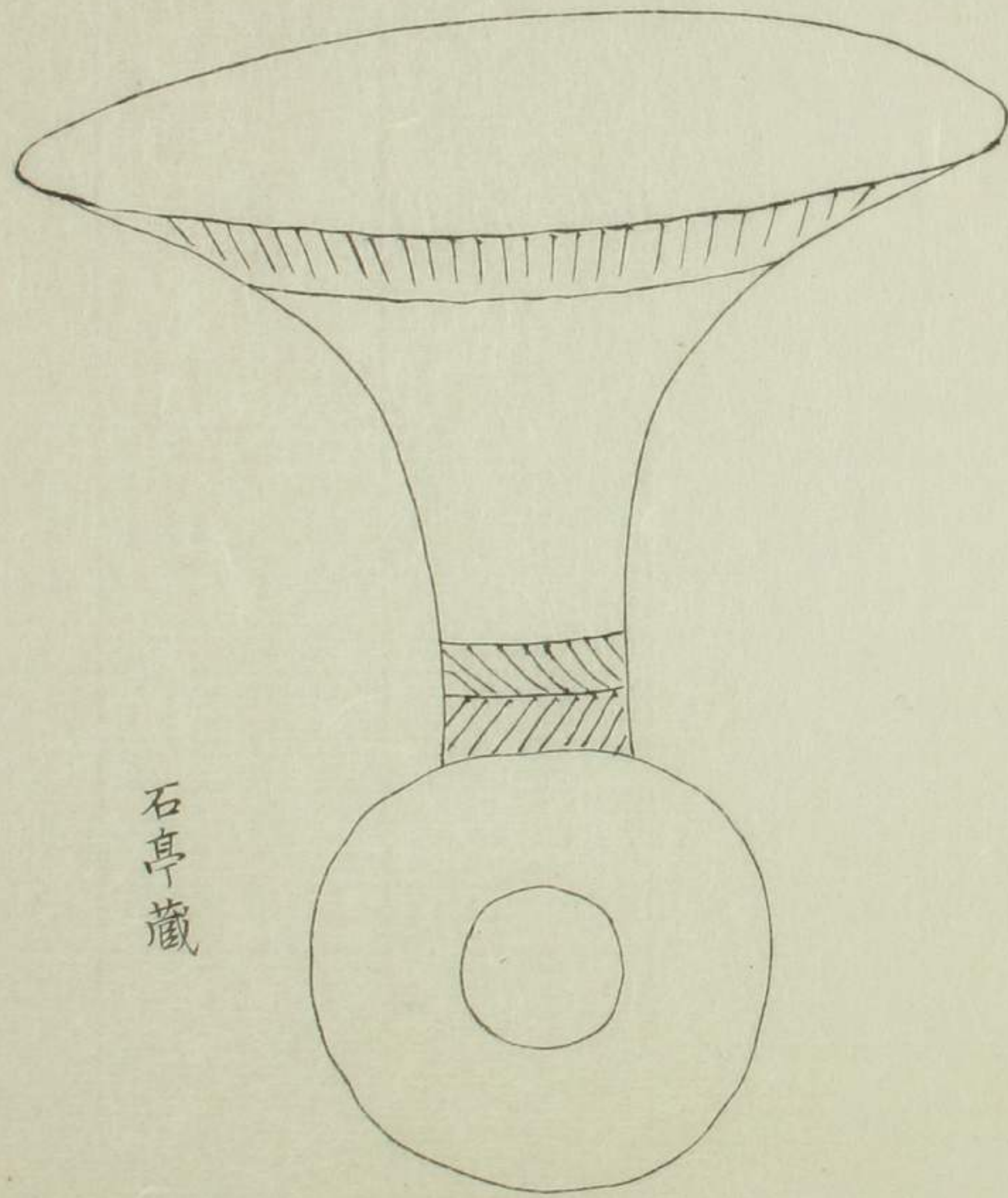
スカヒ
スカヒ
スカヒ

羽州鳥海山ヨリ堀出ス大サ図ヨリ
少シ大也此壺甚異體図ニ寫シ
カタシ

石亭蔵

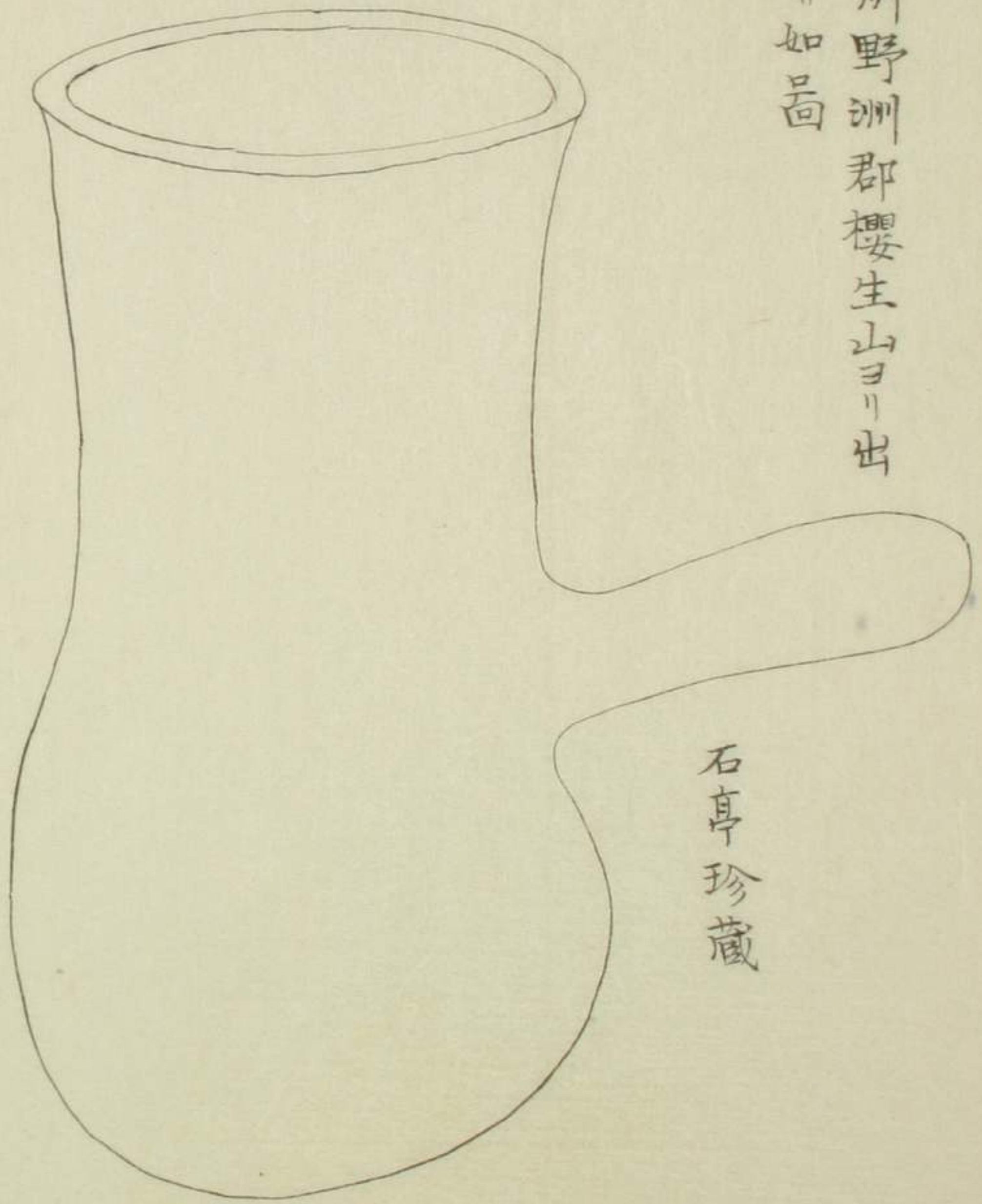


江州八幡
東漸寺
堺内
大形
狀如
圖



石亭藏

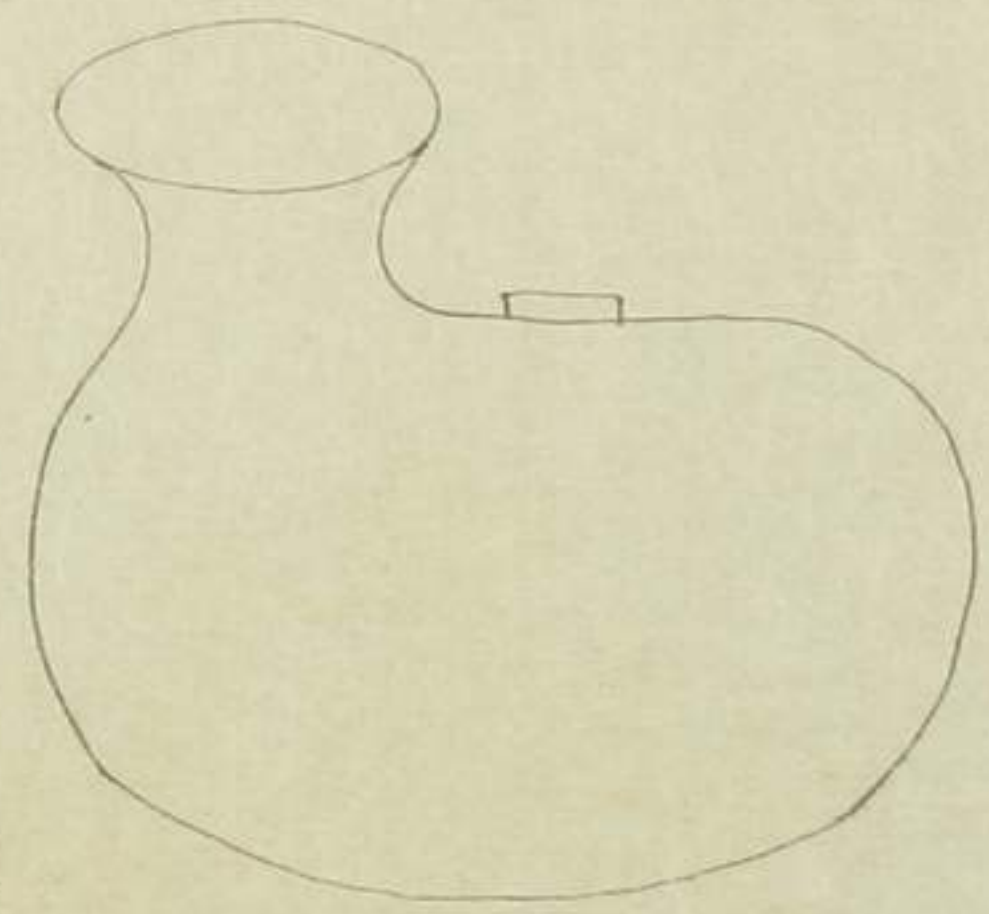
江州野洲郡櫻生山ヨリ出
大如
呂



石亭珍藏

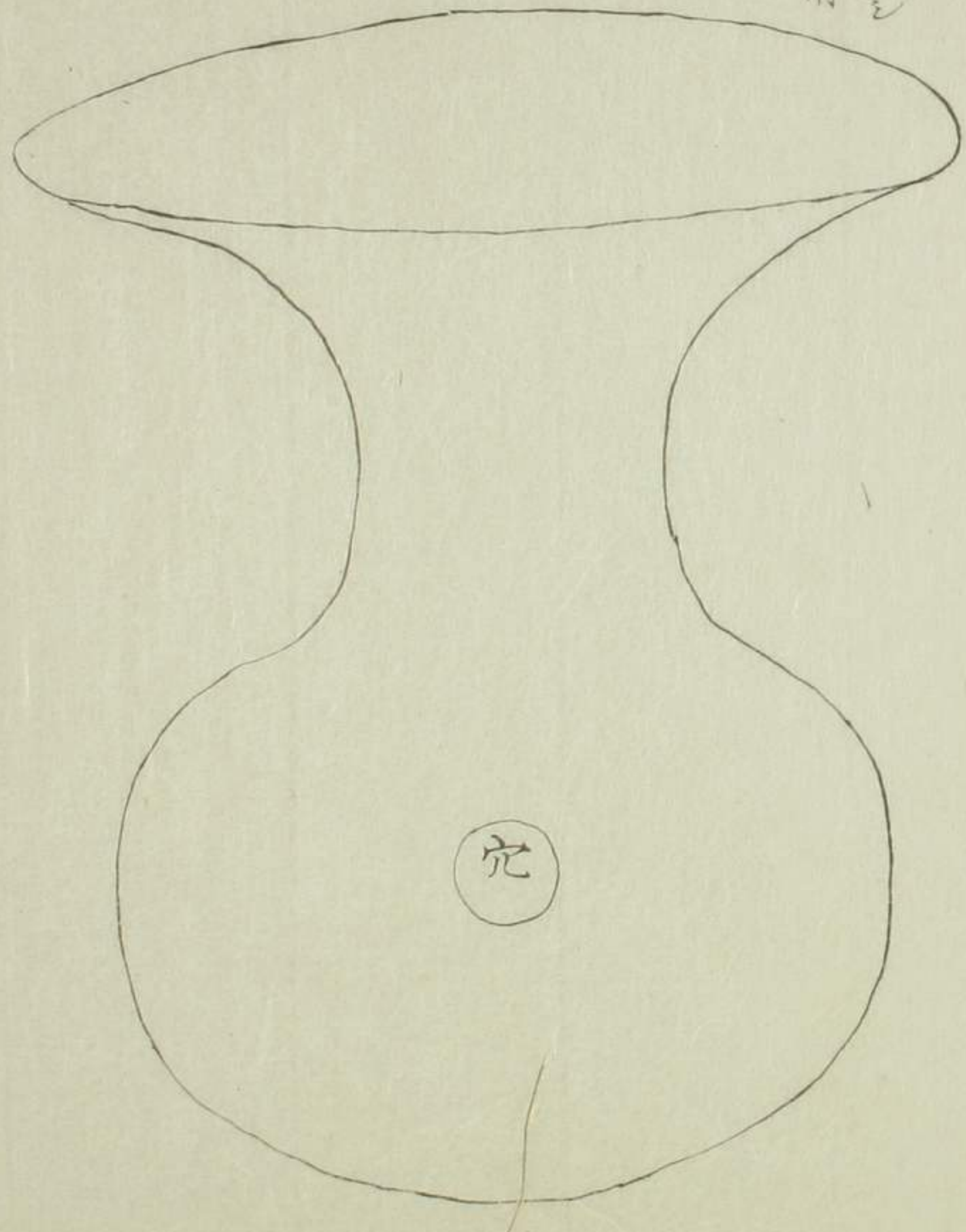
江州鏡山星ヶ峯ヨリ穿出内ニ曲玉ニ顆入

此形ニ大小数品アリ
小ナルヲ玲トスロノ形大
ニヒラキタルアリ竹ノ筒
ロアリ



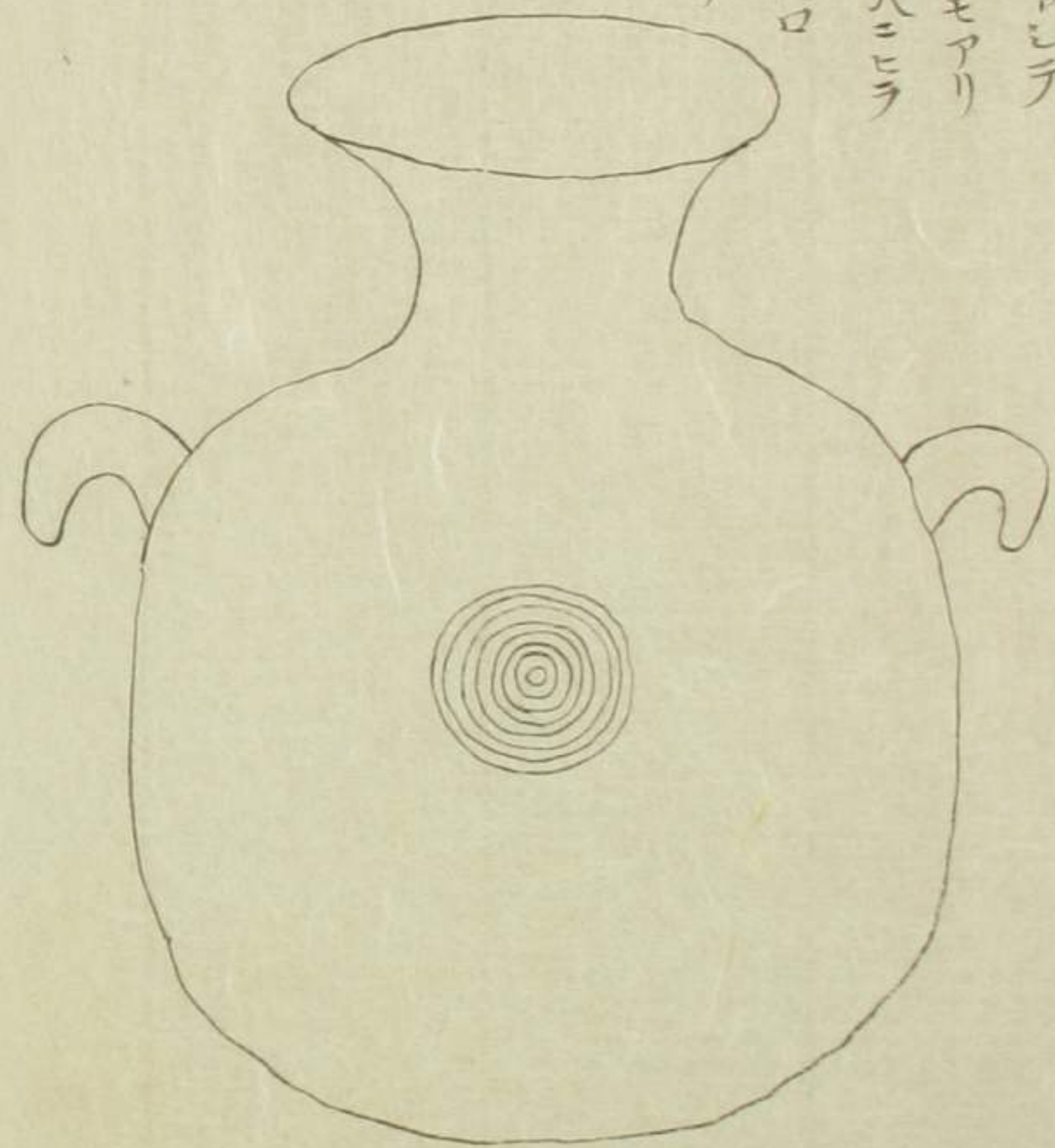
石亭所蔵

此器ノ物多シ
大小数種有
至テ大ナル物
アリ口ノ形種
多リ竹筒
ロアリ下ニ穴
アル有穴ナ
キアリ

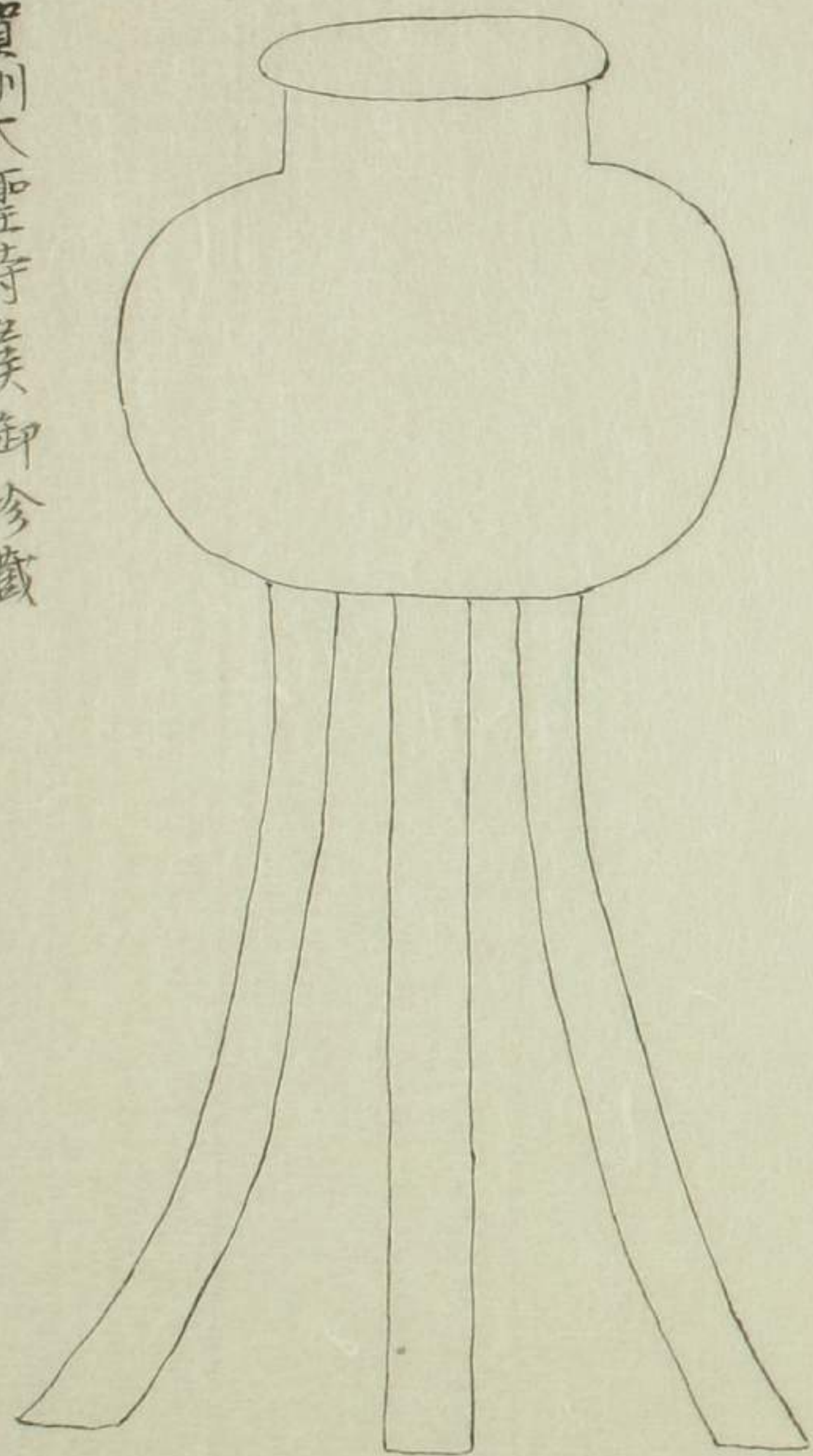


鰐口形

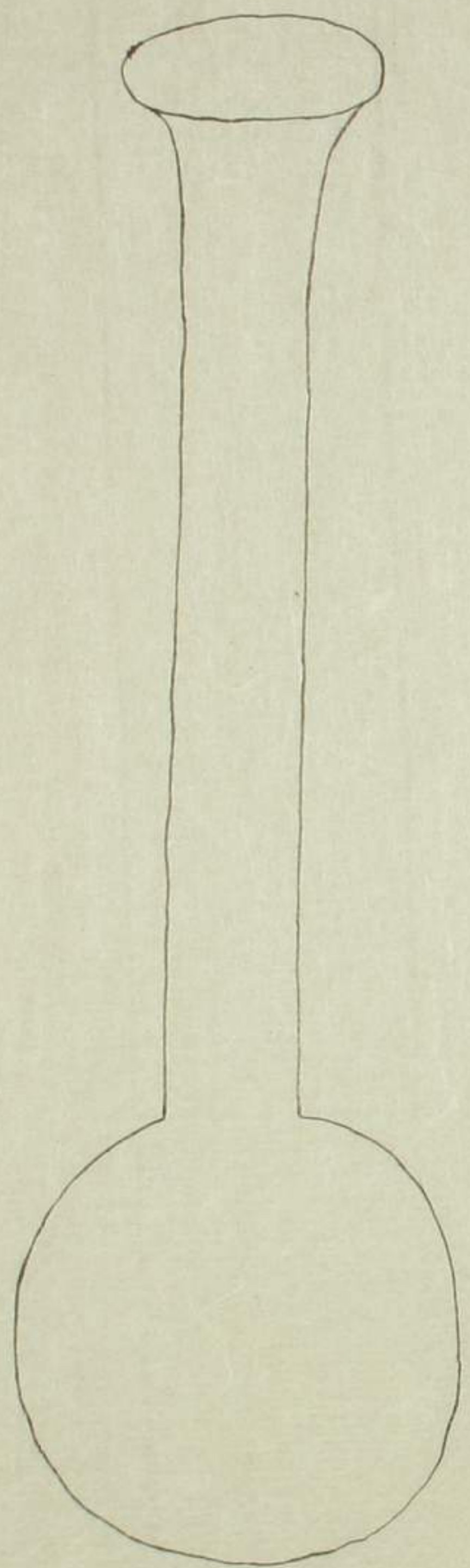
裏ロク表ムツクトシテ
筋アリ又筋ナキモアリ
上品下品有口大ニヒラ
キタルアリ竹ノ筒口
アリ至テ大ナルアリ
小ナルアリ小ナルヲ
珍トス此形ノモノ
多シ



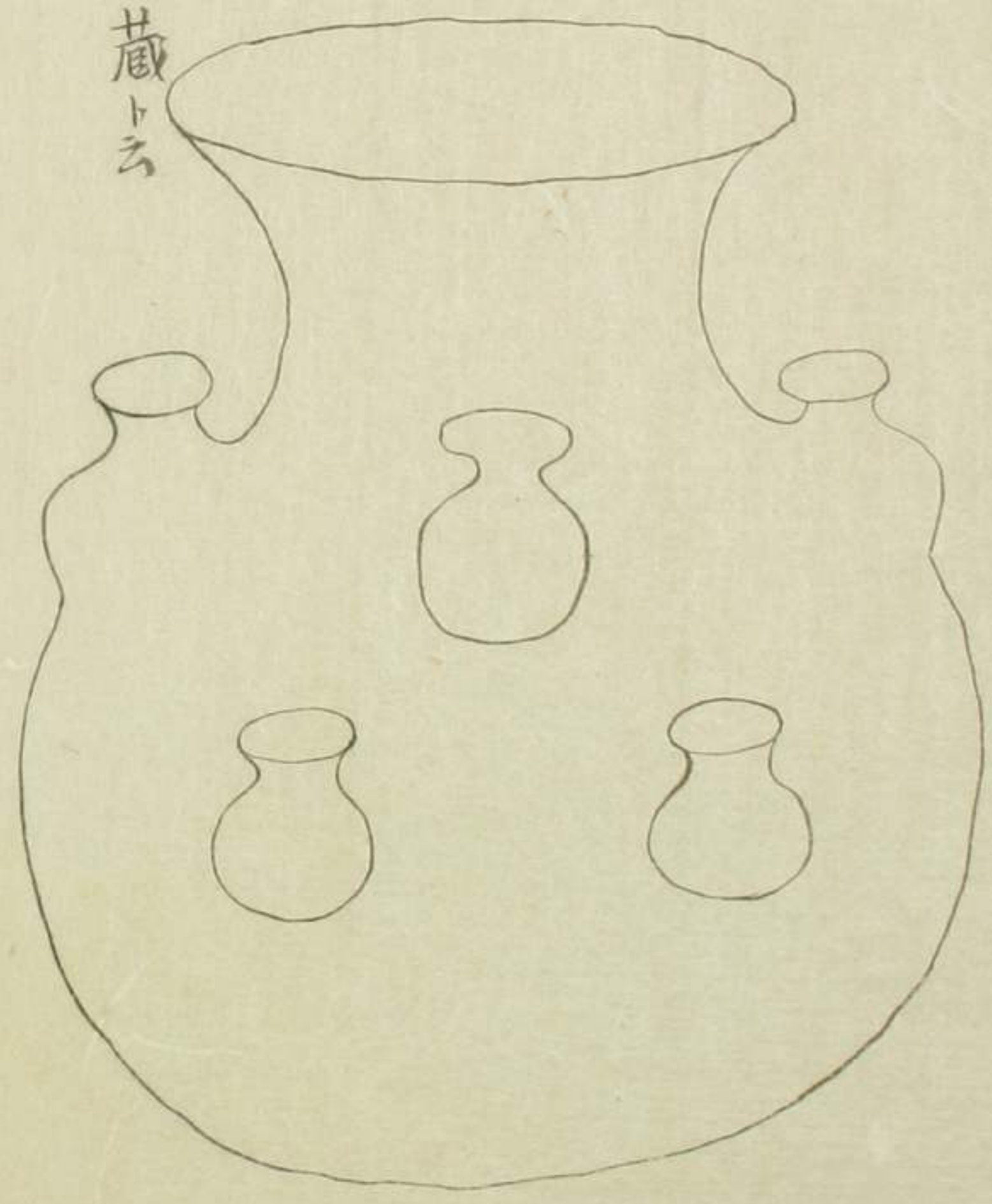
江州栗太郡金勝山巖窟中ヨリ出大ヤ図ヨリ三寸計大ナリ



賀州大聖寺侯御珍蔵



城州御菩薩池鍛冶屋ヶ谷ニテ穿出湖東石亭藏後
 大聖寺侯ハ猷大サ如图

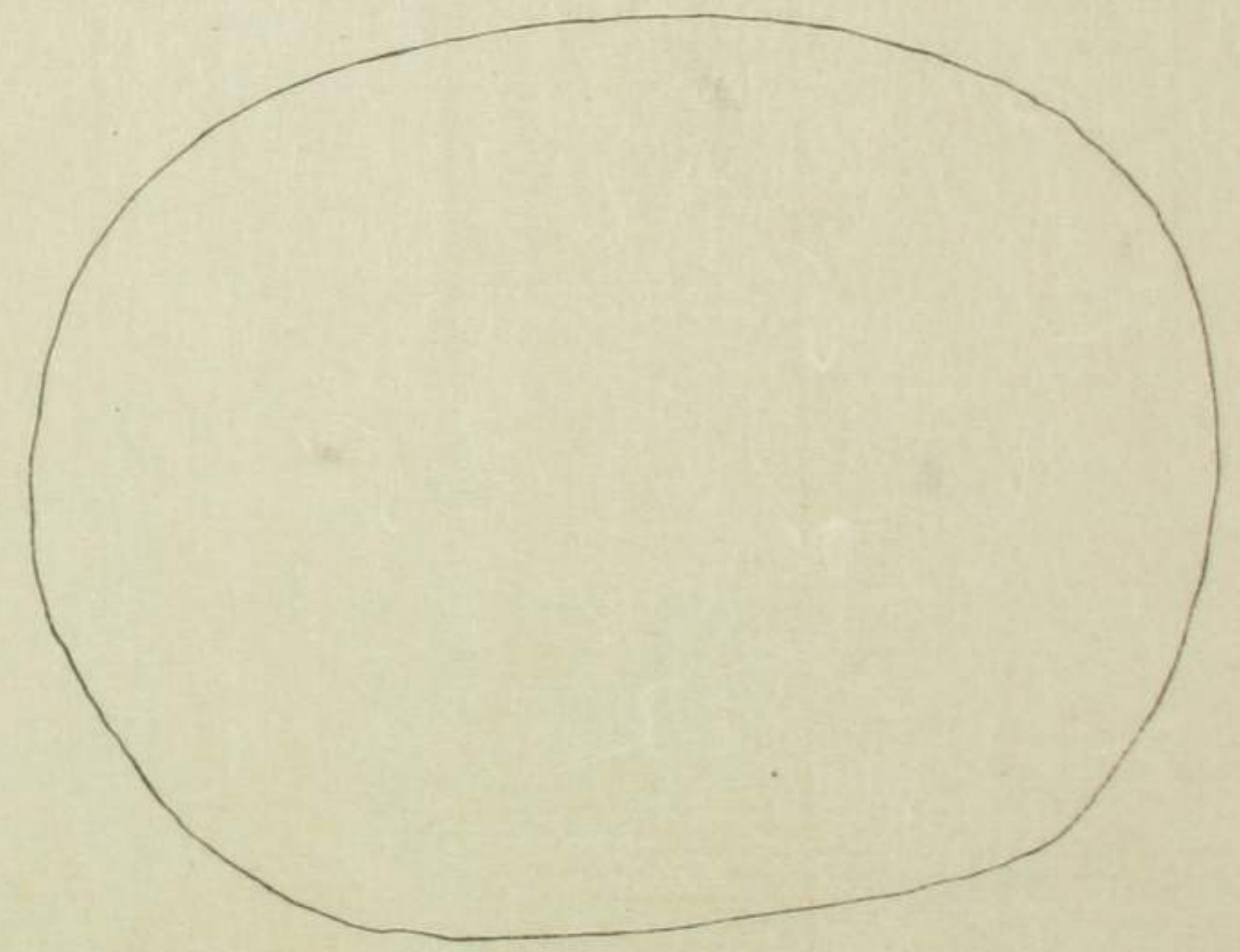


此壺近年江州
 鏡山ニテ穿得
 戸羽村遍照寺所藏ト云

京都松原通川東瀬戸物屋ニ有主人云尾州ノ人
 携来ト大サ图ヨリ大也壺ノ巡ニ小壺十附

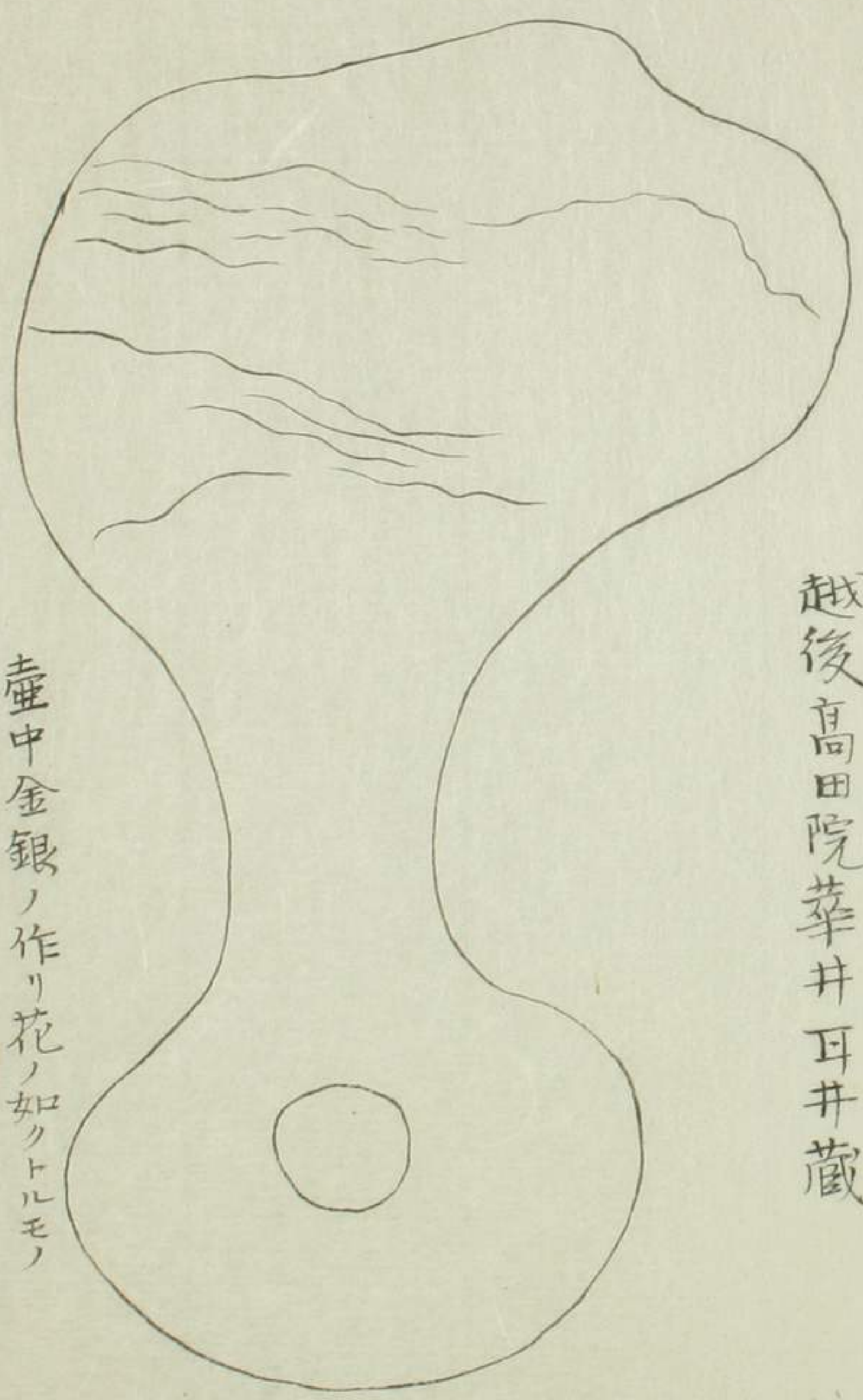
江州犬上郡堀村畑中より
 穿出大ヤ如罔容直丸少
 扁無口畑村妙徳寺所持

此壺先年栗太郡
 鞆路ノ山ニテ穿出
 同所矢倉村願行寺蔵

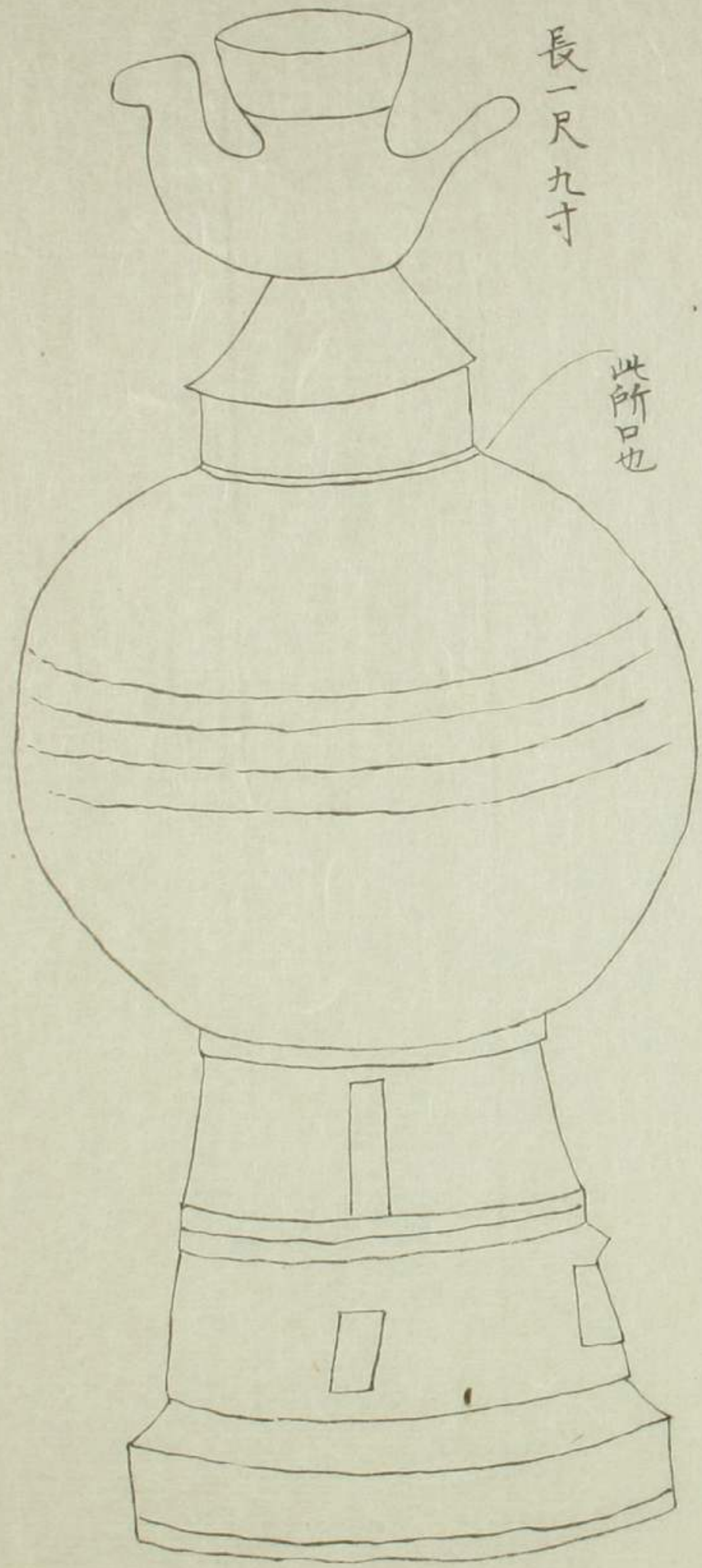


越後高田院華井耳井蔵

越後頸城郡岡峯堀出



壺中金銀ノ作り花ノ如クトルモノ
 有之朽果形不分明ト

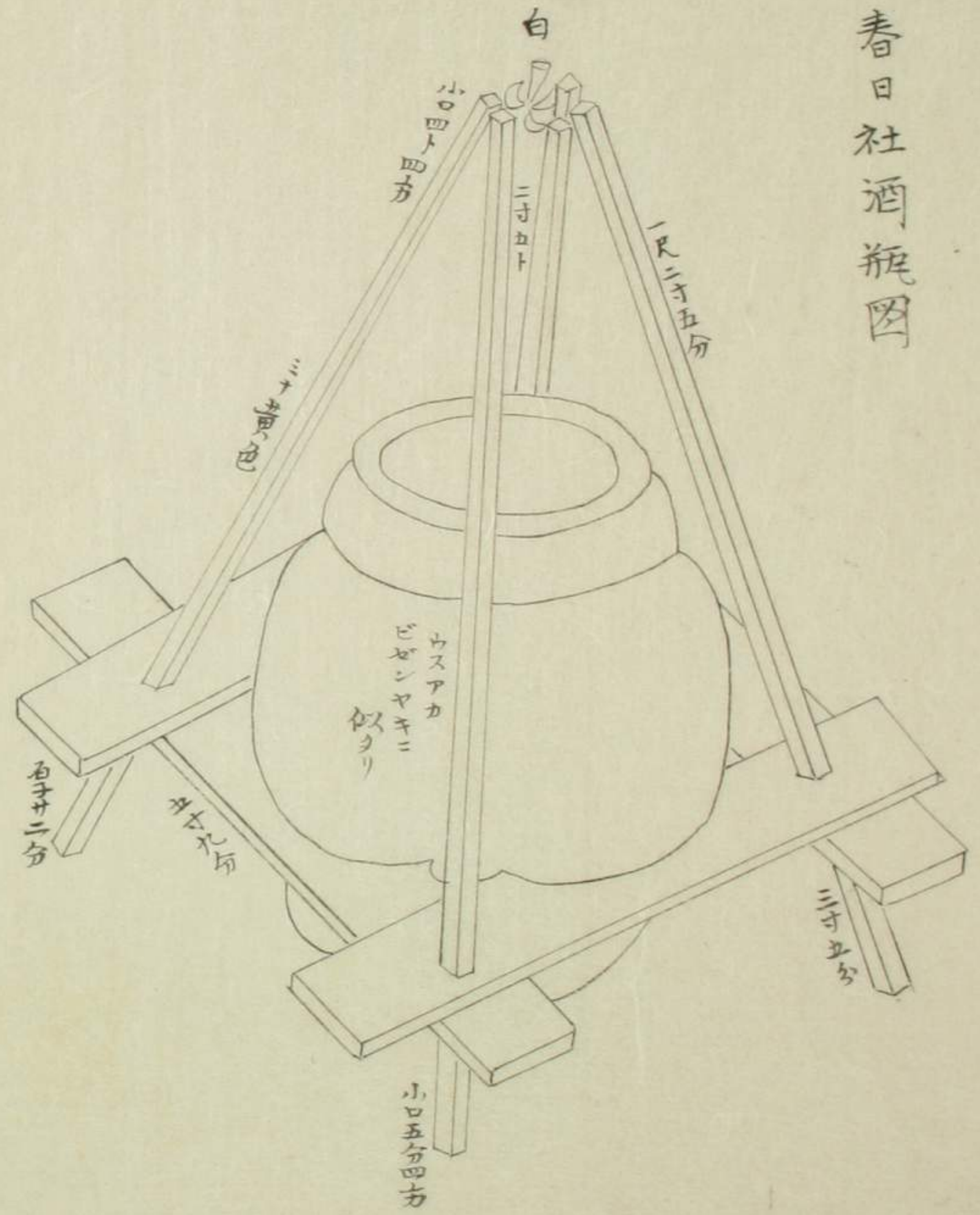


長一尺九寸

此所也

尾州名古屋金谷道人所藏

春日社酒瓶圖



白

小口四方

二寸半

一尺二寸五分

一尺二寸五分

ウスアカ
ビヤシヤキニ
似タリ

白子二分

廿六分

三寸五分

小口五分四方

享和元年酉十月十二日淡海木内小繁石亭白筆
之本ヲ以傳寫
寸松庵信一

文政九戌年初冬需于遠州濱松藩田口氏而寫矣

梅園模寫

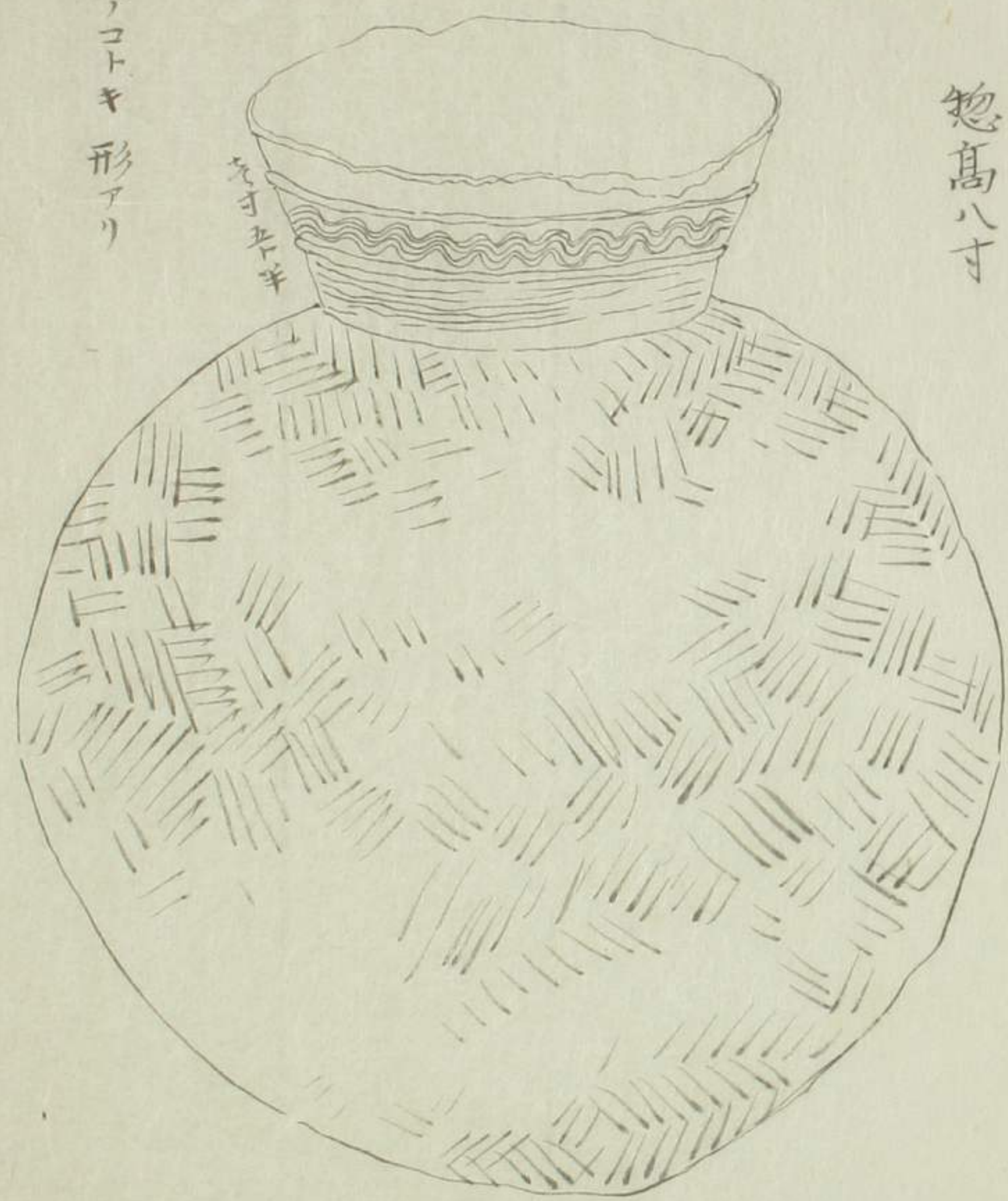
古土器 祝籠

總高八寸

土壺廻り 口尺五寸半

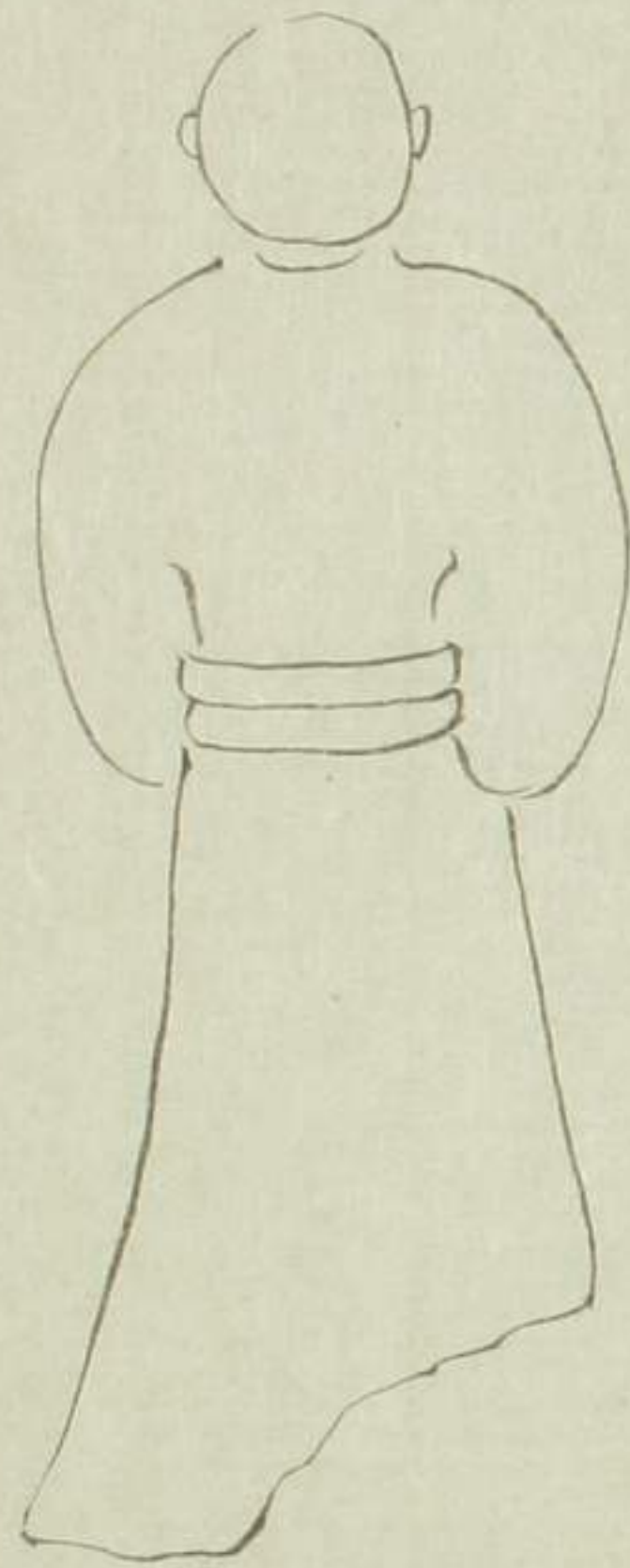
口徑
五寸半

土壺一面ニ高ノコトキ 形アリ

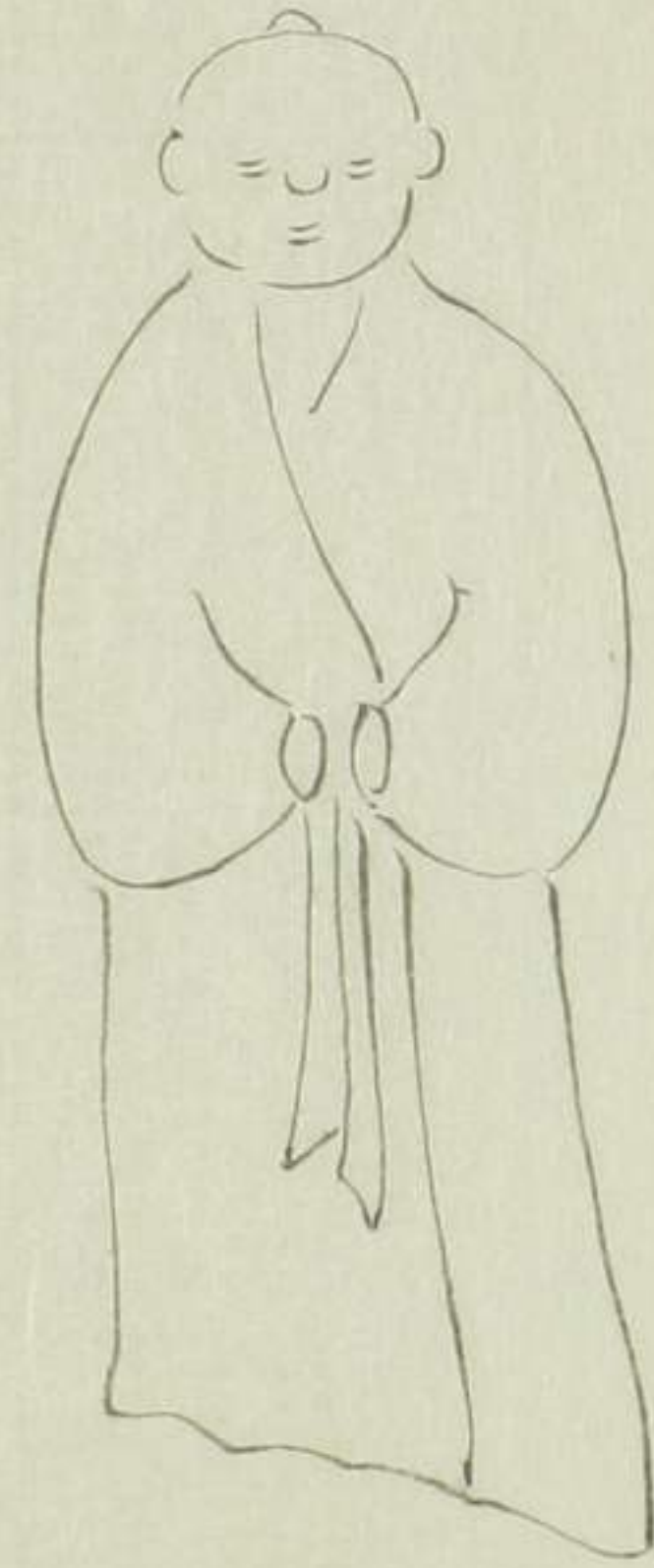


河内國石河郡山中古墳埴物

背



面



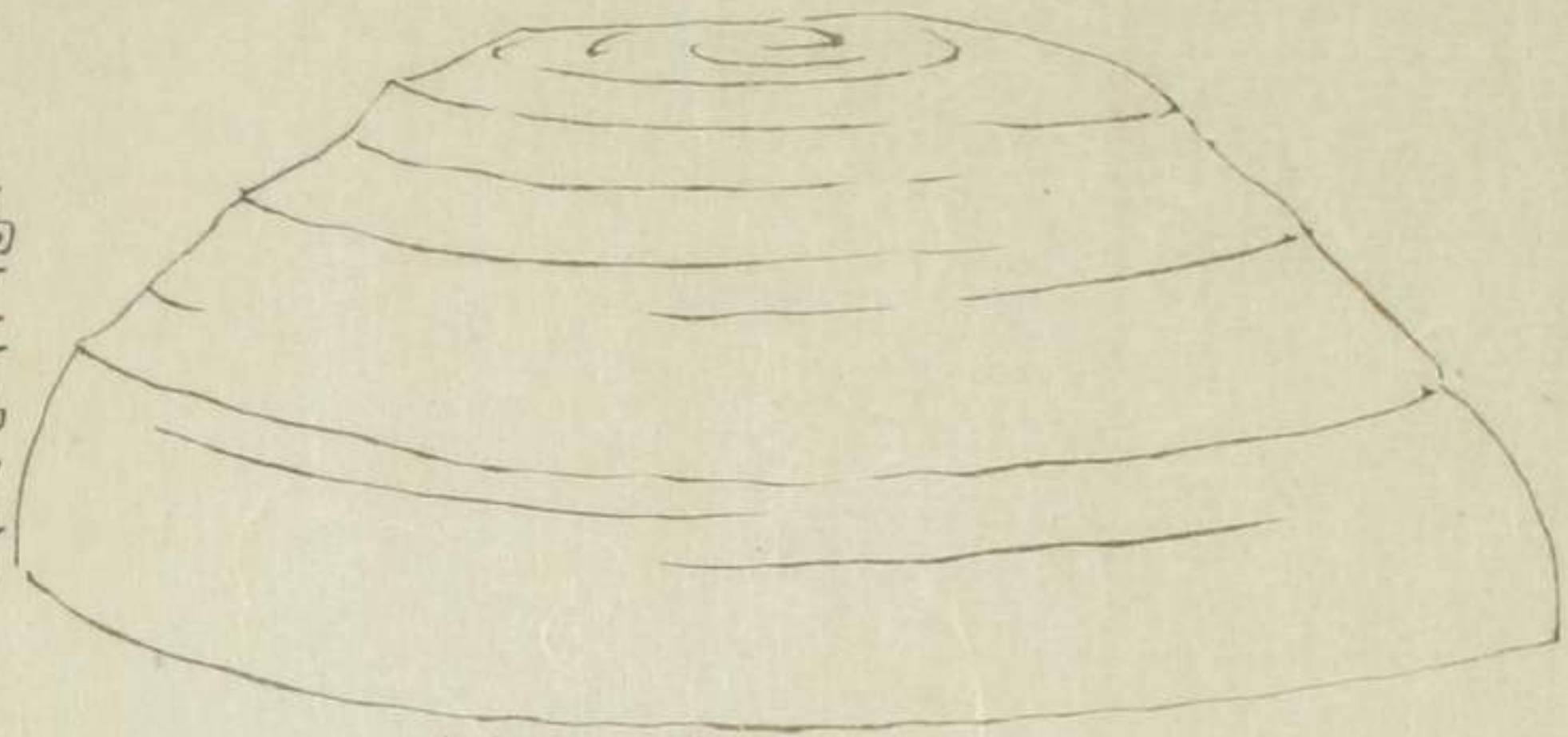
古土器

何三用名器ト云テ不知

色は褐色

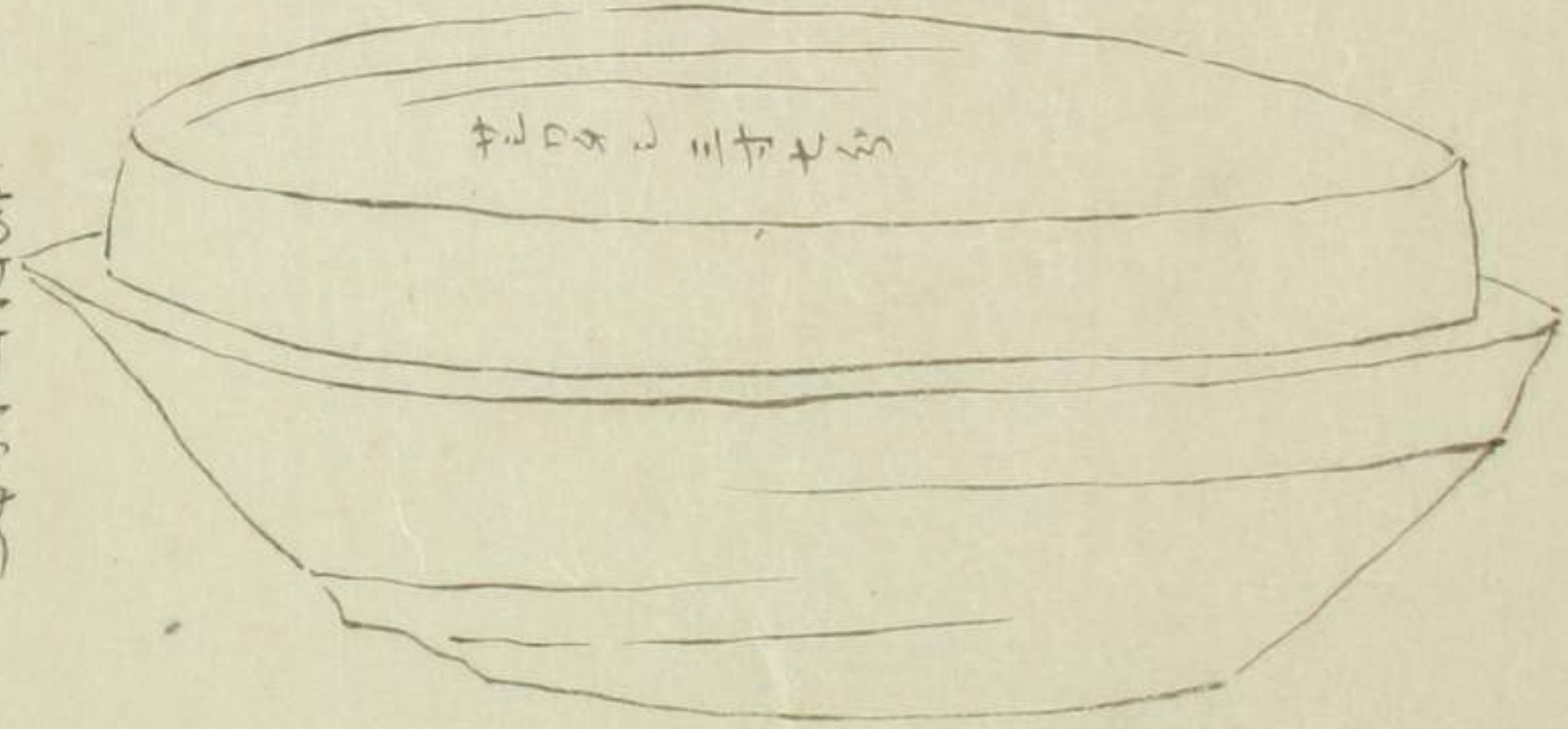
蓋

高サ一寸四分計



和歌山府下

高サ一寸三分計



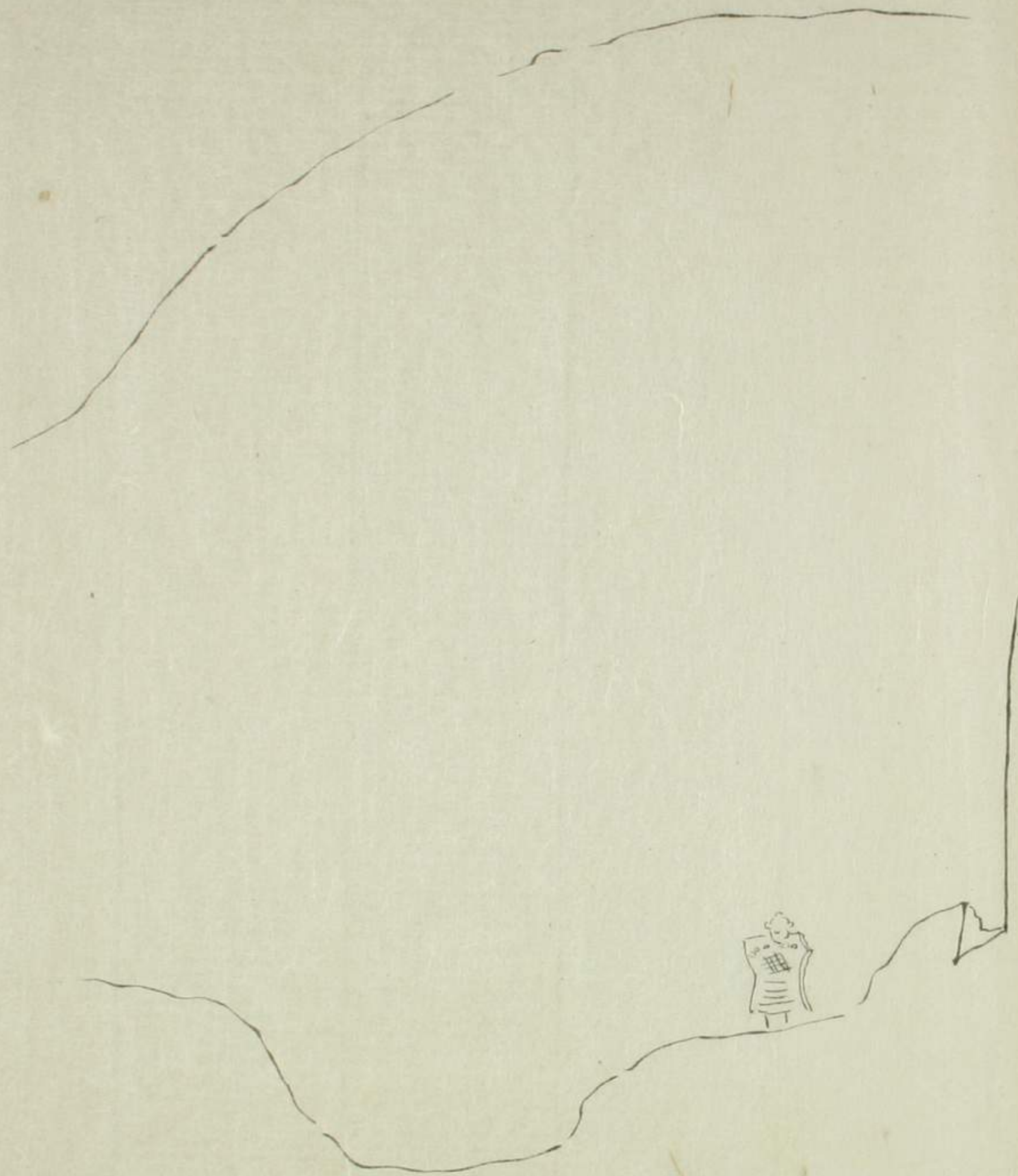
和歌山府下

筑紫國造磐井墓

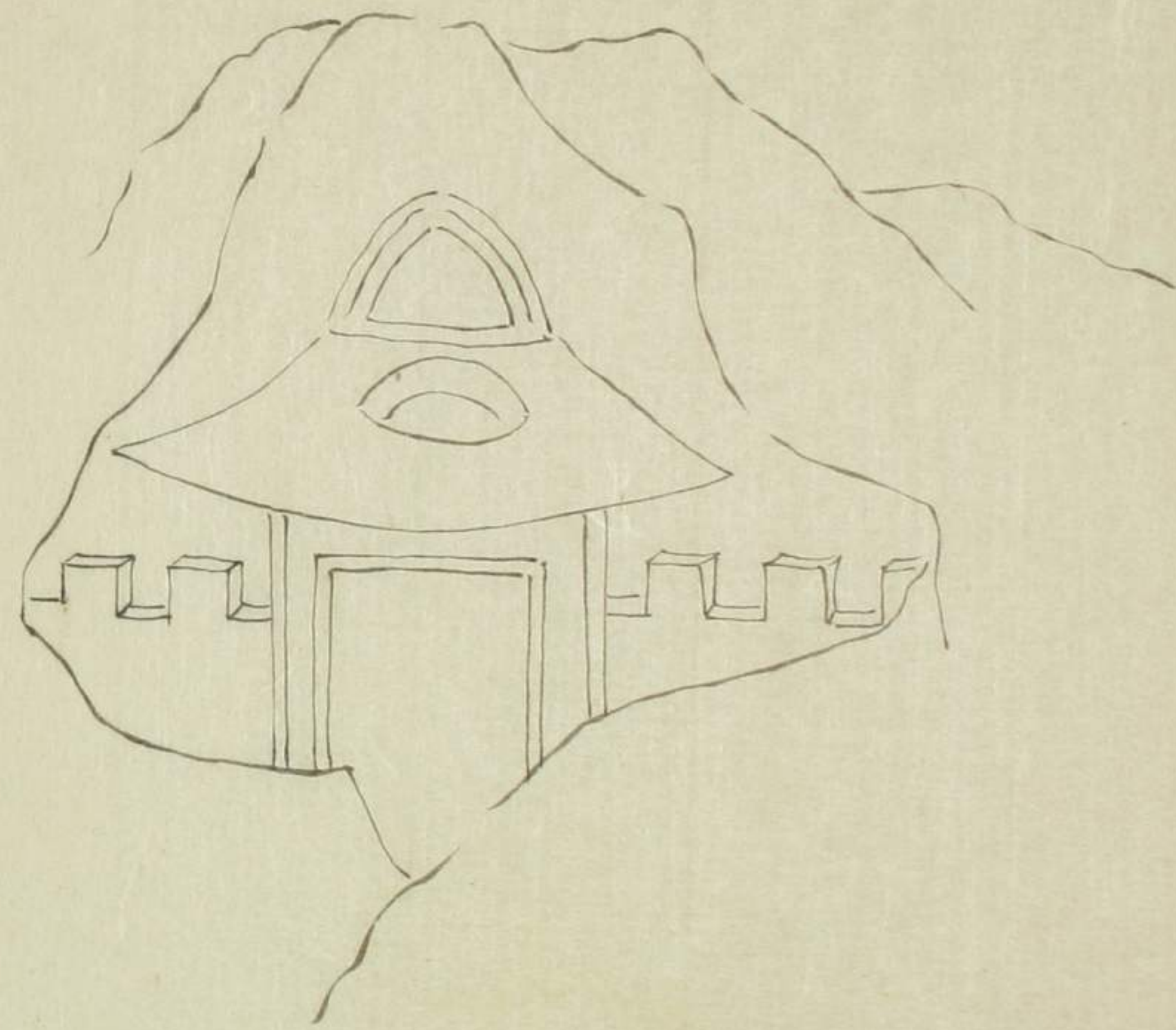
日本紀繼體帝廿一年曰筑紫國造磐井陰謀叛逆釋日本紀引筑後風土記曰上妻縣南二里有筑紫磐井之墓墳高七尺周六丈墓田南北各六十丈東西各四十丈石人石盾各六十枚交陣成行周匝西當東北隅有一別區號曰術頭術其中有一石人假容立地號曰解部前有一人裸形伏地號曰偷人側有石猪四頭號賊物亦有石馬三匹石殿三間石藏二間古老得言磐井生平之時預造此墓

磐井墓在筑後國上妻郡一條村東南一里許石

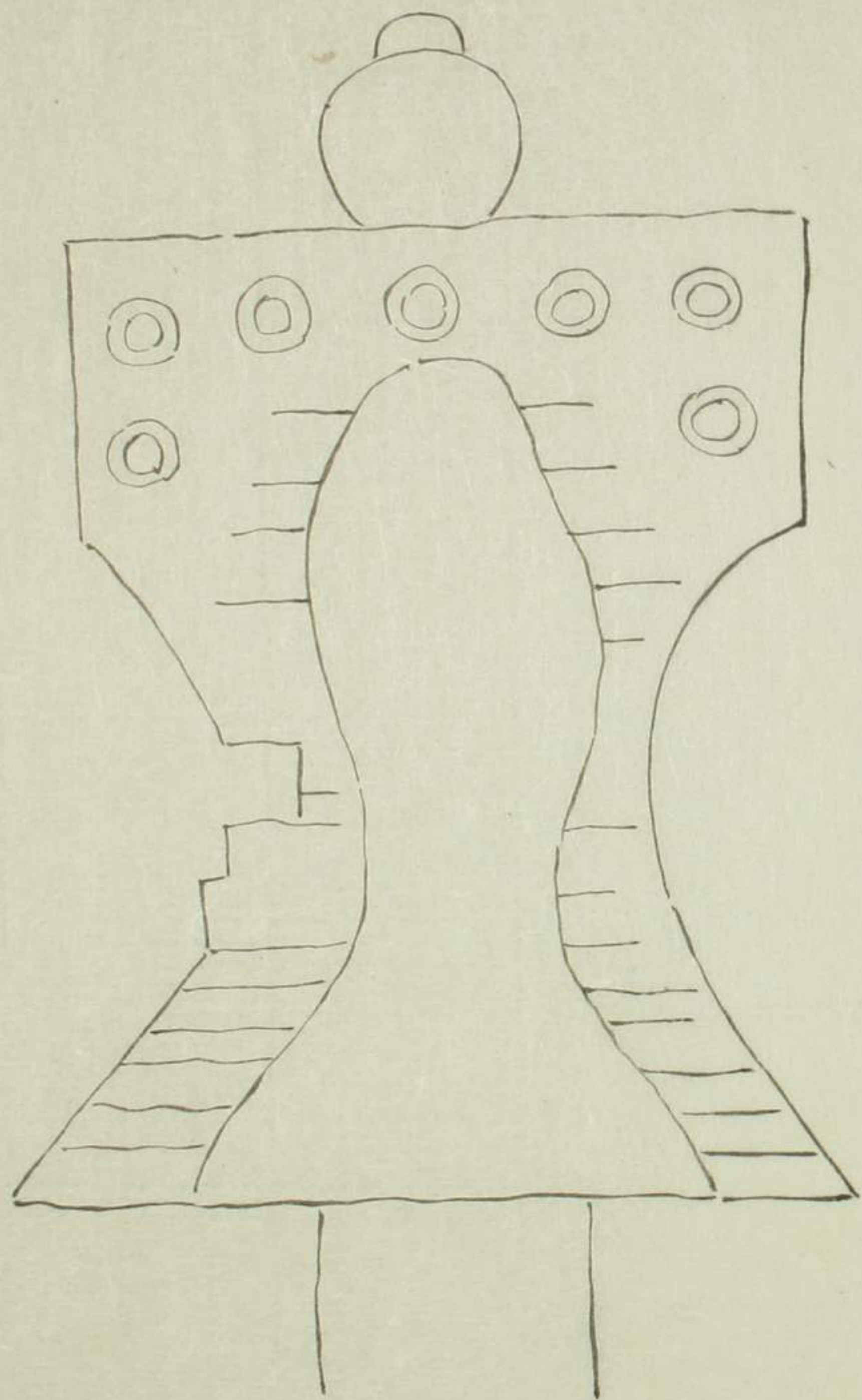
室及石人一枚今猶存石室左右土中有石板蓋石盾共按宋書禮樂志曰漢以後天下送死奢靡多作石室石獸碑銘等物建安十年魏武帝以天下彫弊下令不得厚葬又禁立碑磐井所造石室石人之類蓋倣之者矣



石室

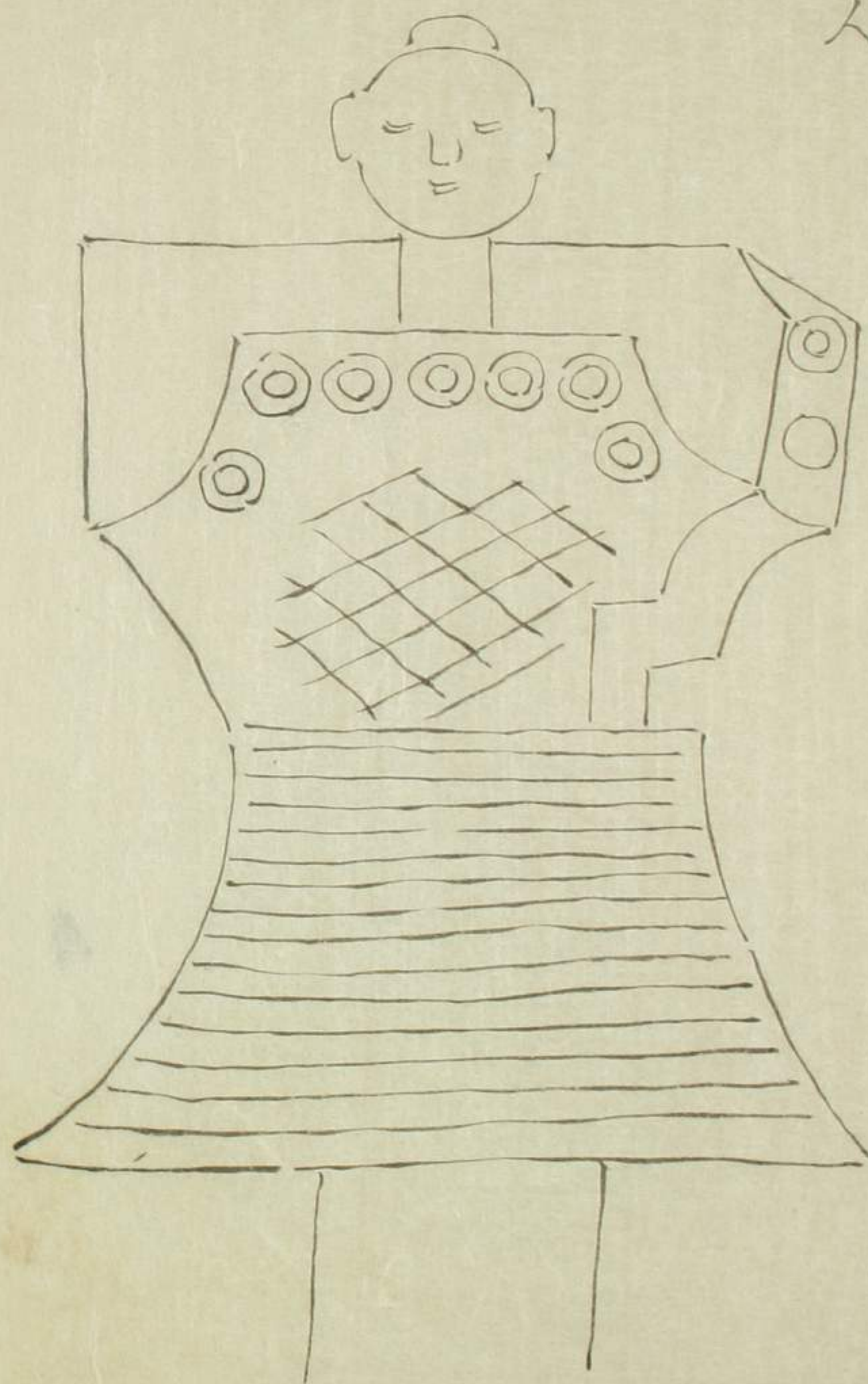


背



面

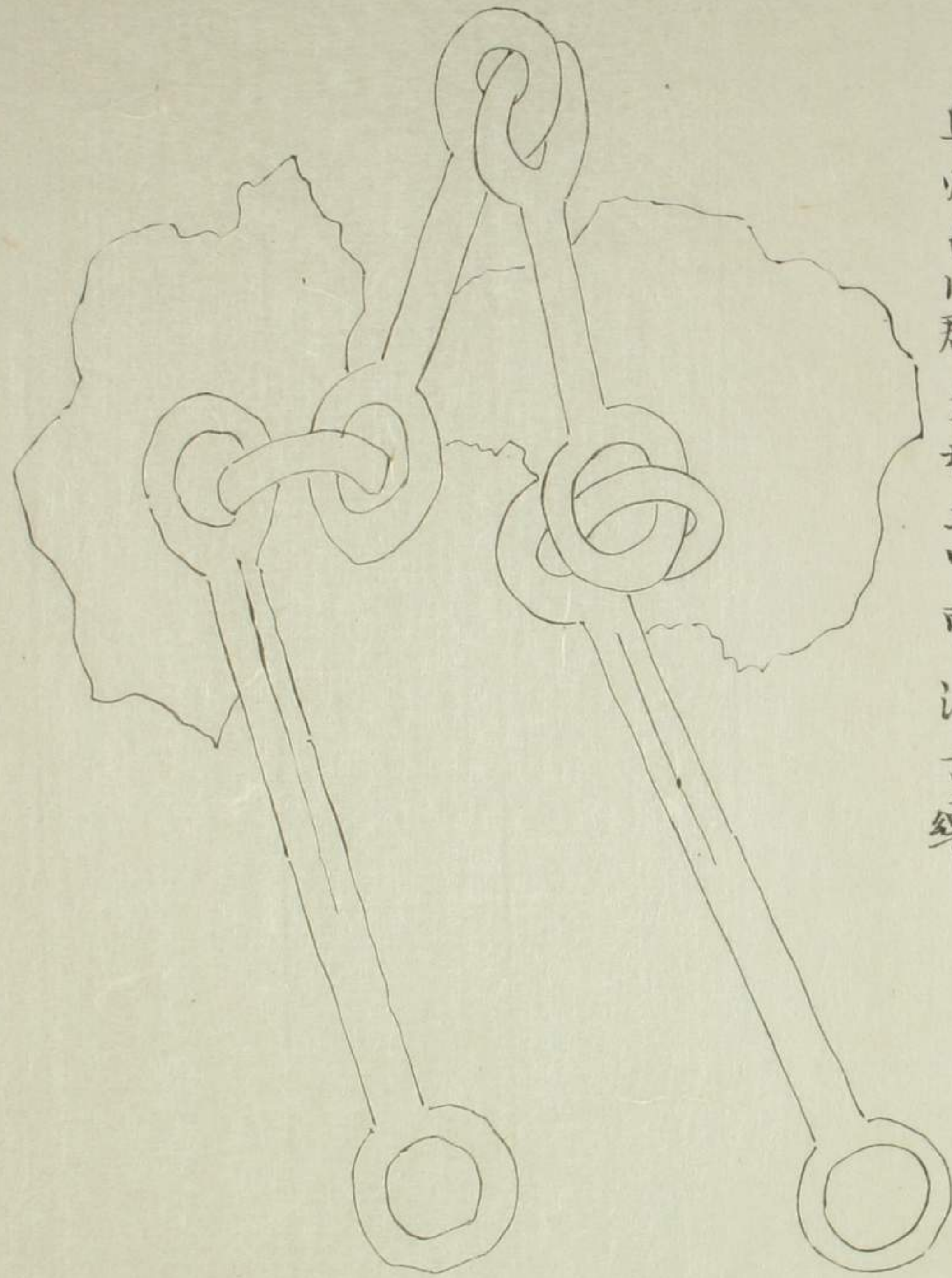
石人





隆平錢 日本紀畧曰延曆十五年十一月始用
新錢類聚國史曰大同五年十二月丙戌鑄錢司
用刺銅鑄造新錢一千四十貫因茲鑄錢長官從
五位上三島真人年嗣授正五位下次官從五位
下大枝朝臣繼吉從五位上自餘八位己下客作
兒己上叙位賜物有差弘仁四年八月丁酉賜錢
官人祿有差以進利錢也七年秋七月戊寅廢鑄

錢司 按隆平錢質有黃白褐三色而製作輕重
一如神功錢而大樣二種一字文結構如小樣一
永字結構稍小文一種有永字从二从水者經八
分重九分俱不易得

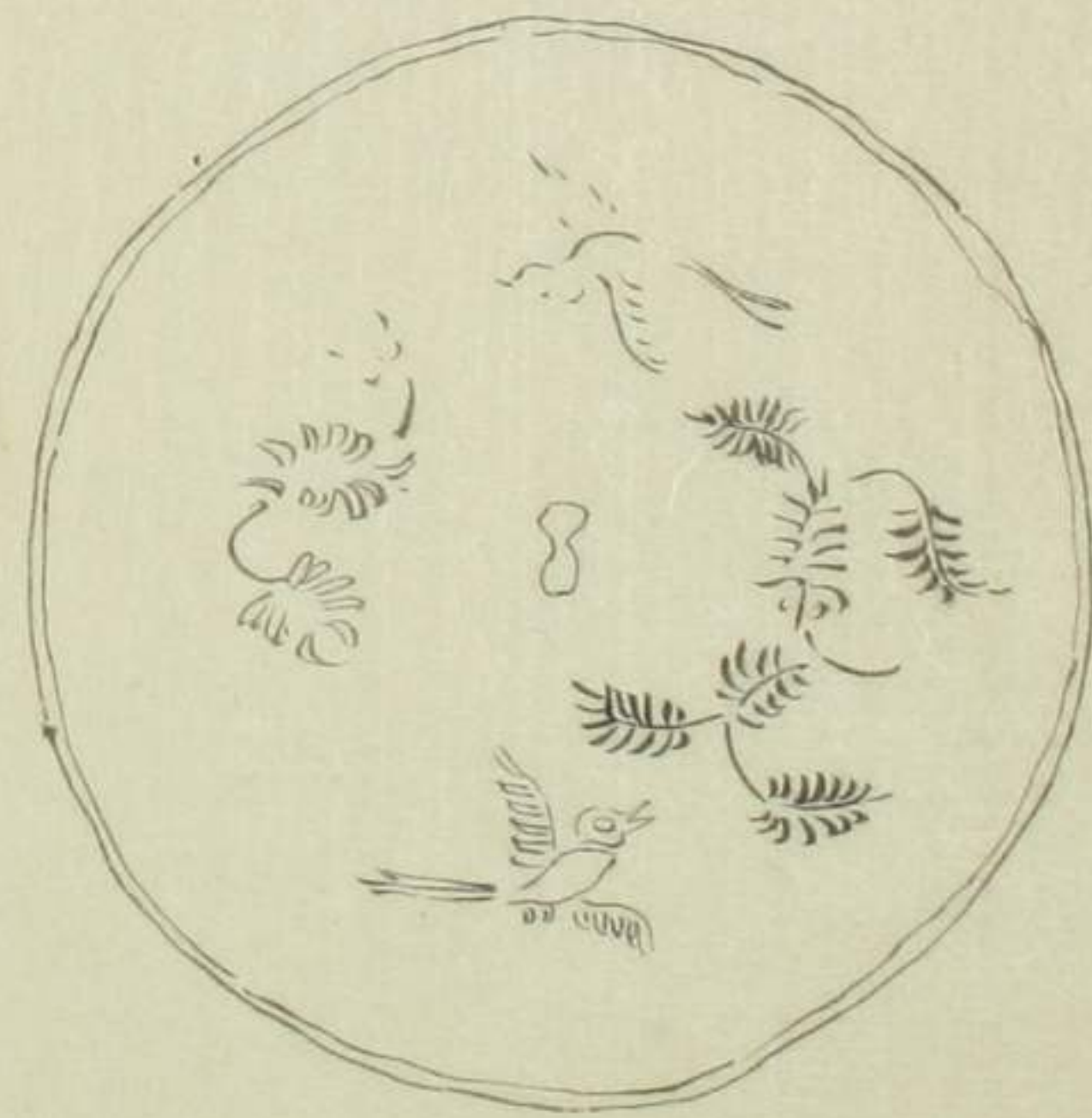


奥州白川郡大村土中所得古鑿



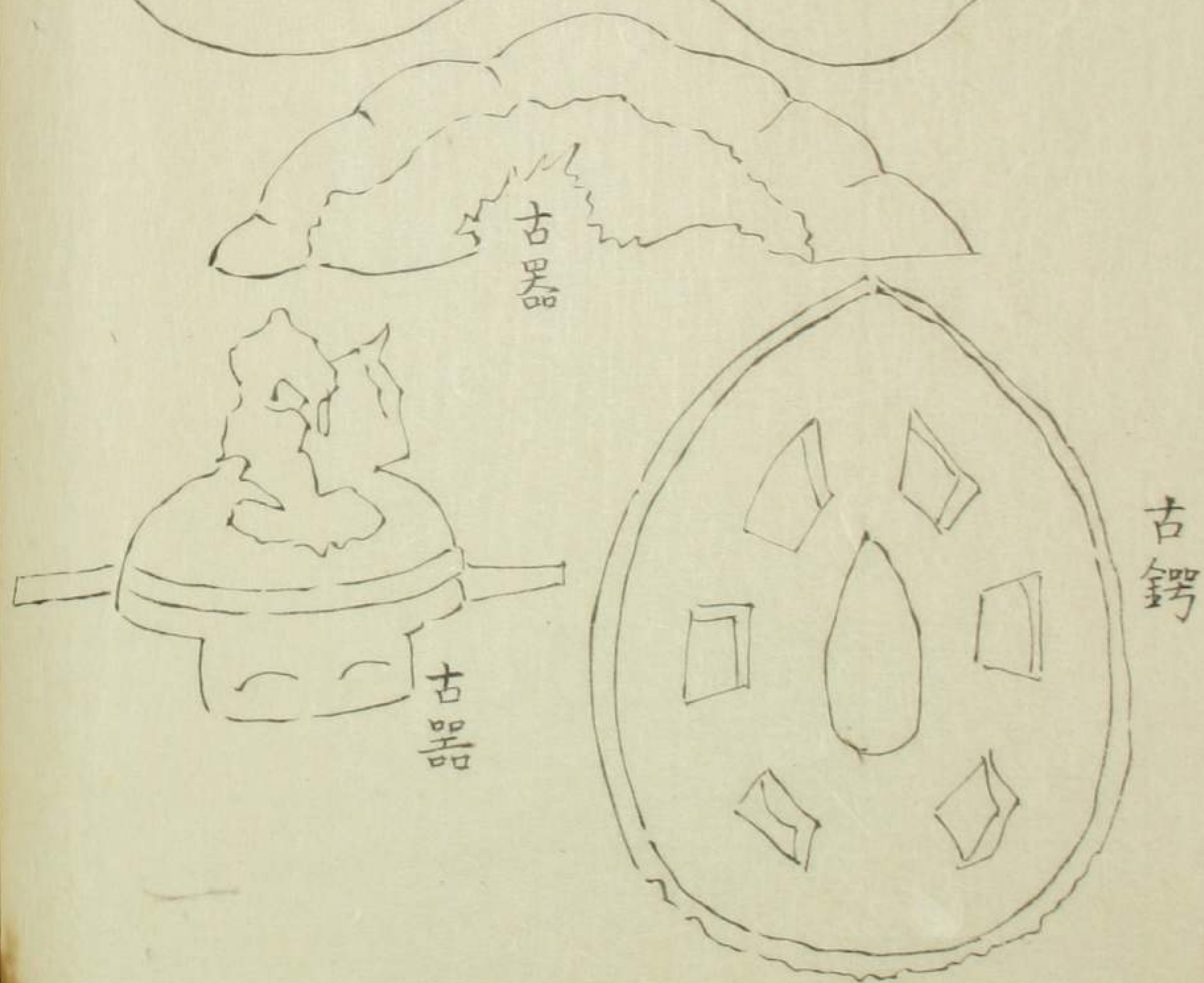
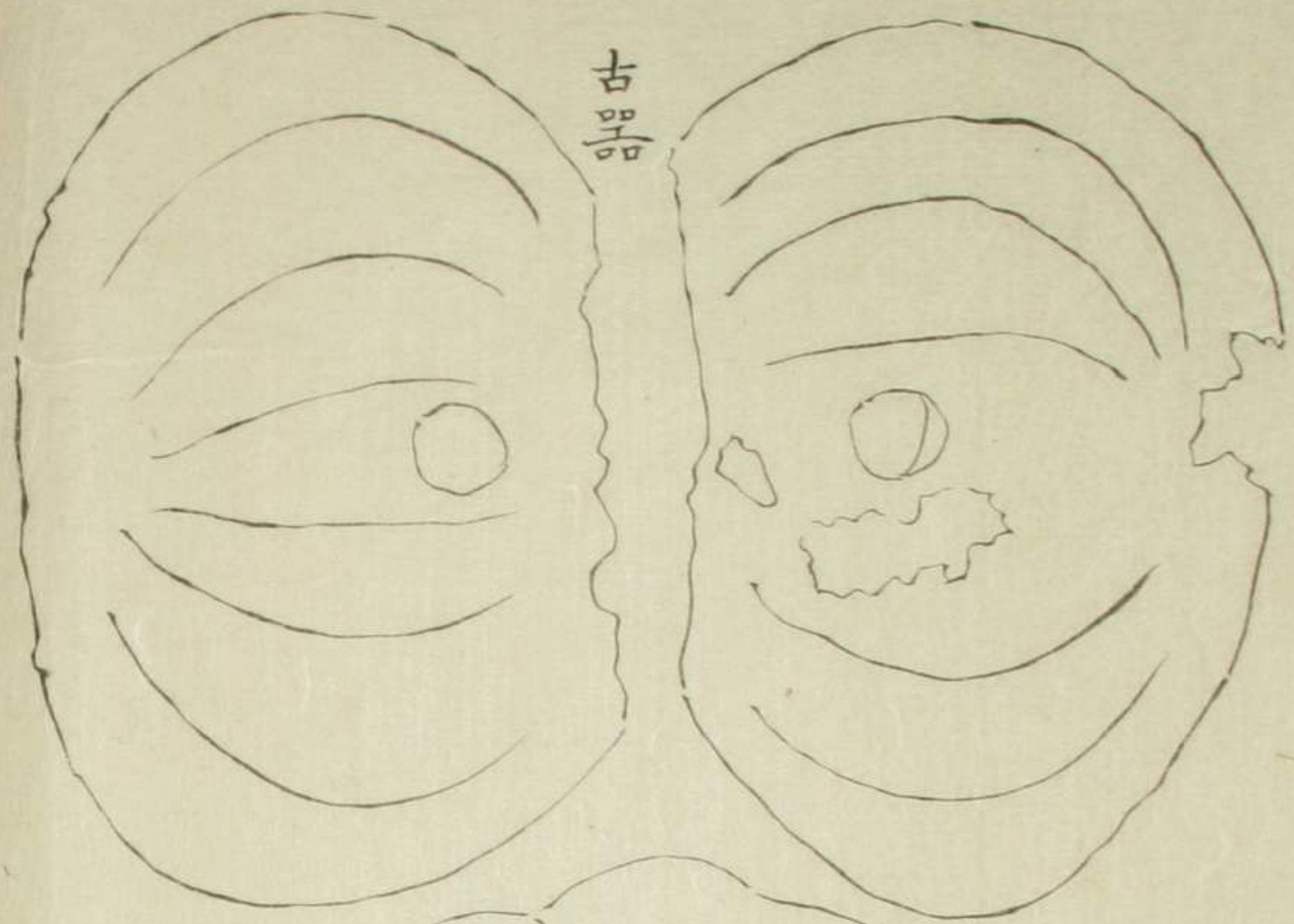
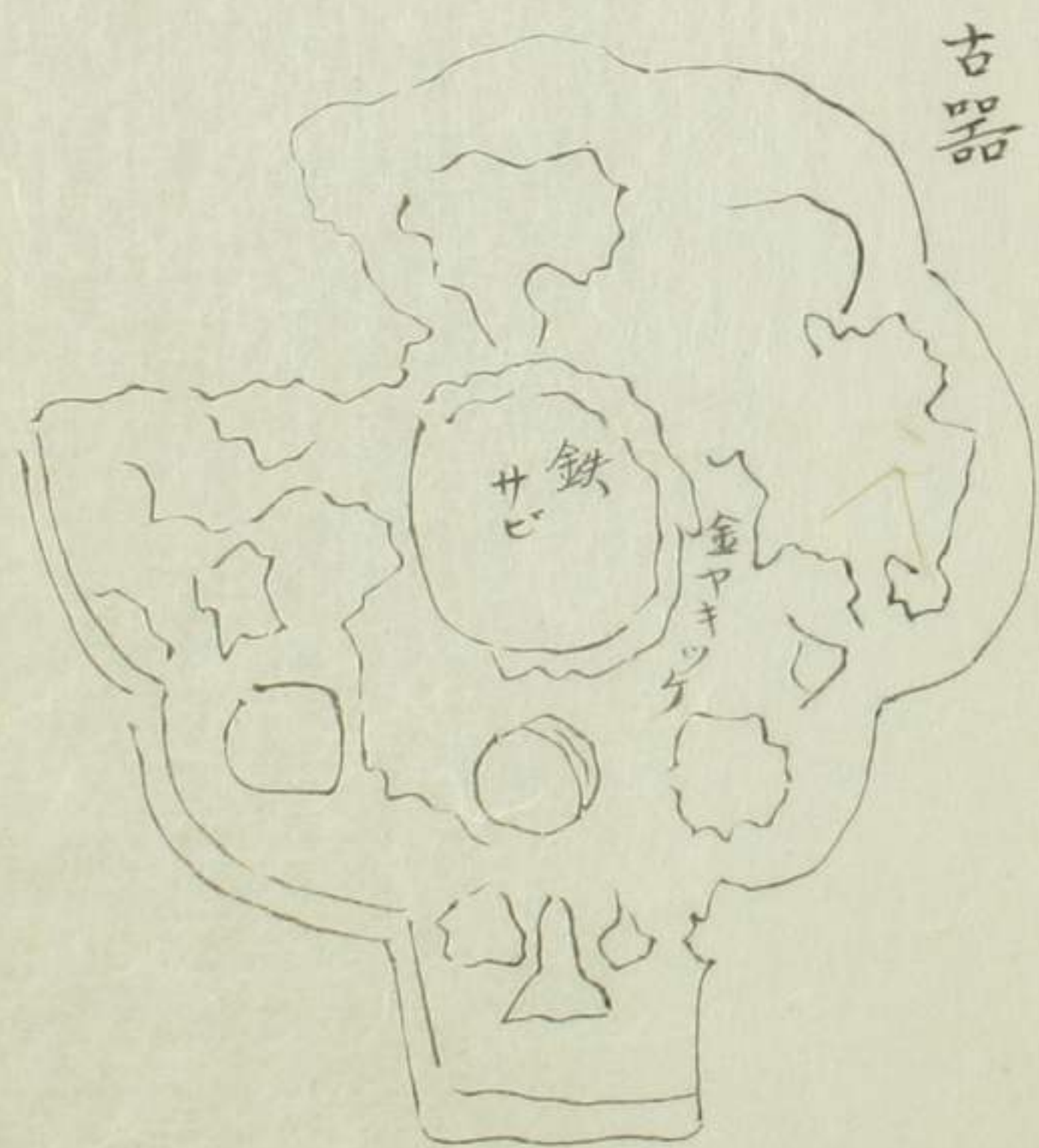
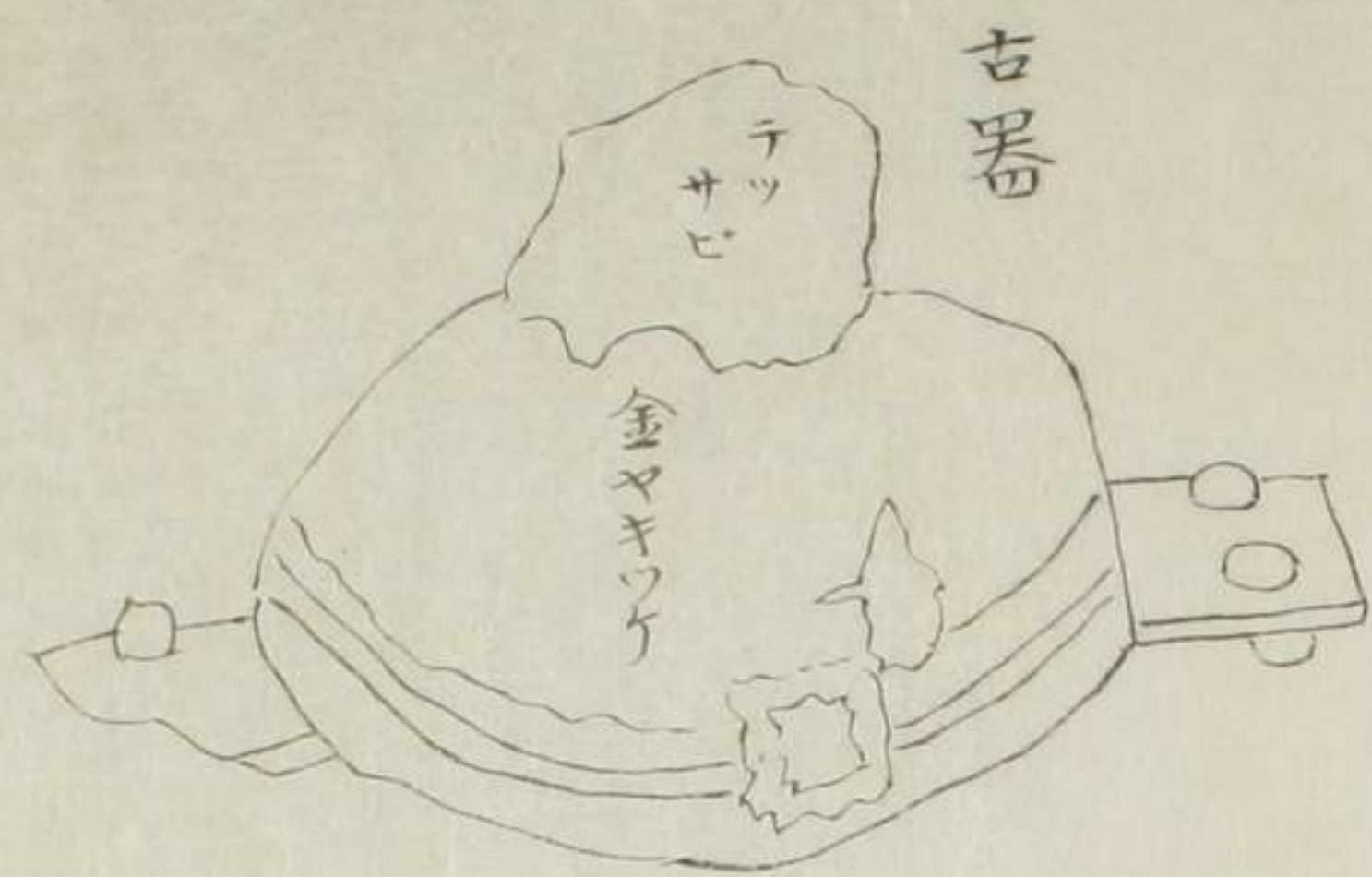
大ササ目

古鏡



二面氏

梅園藏

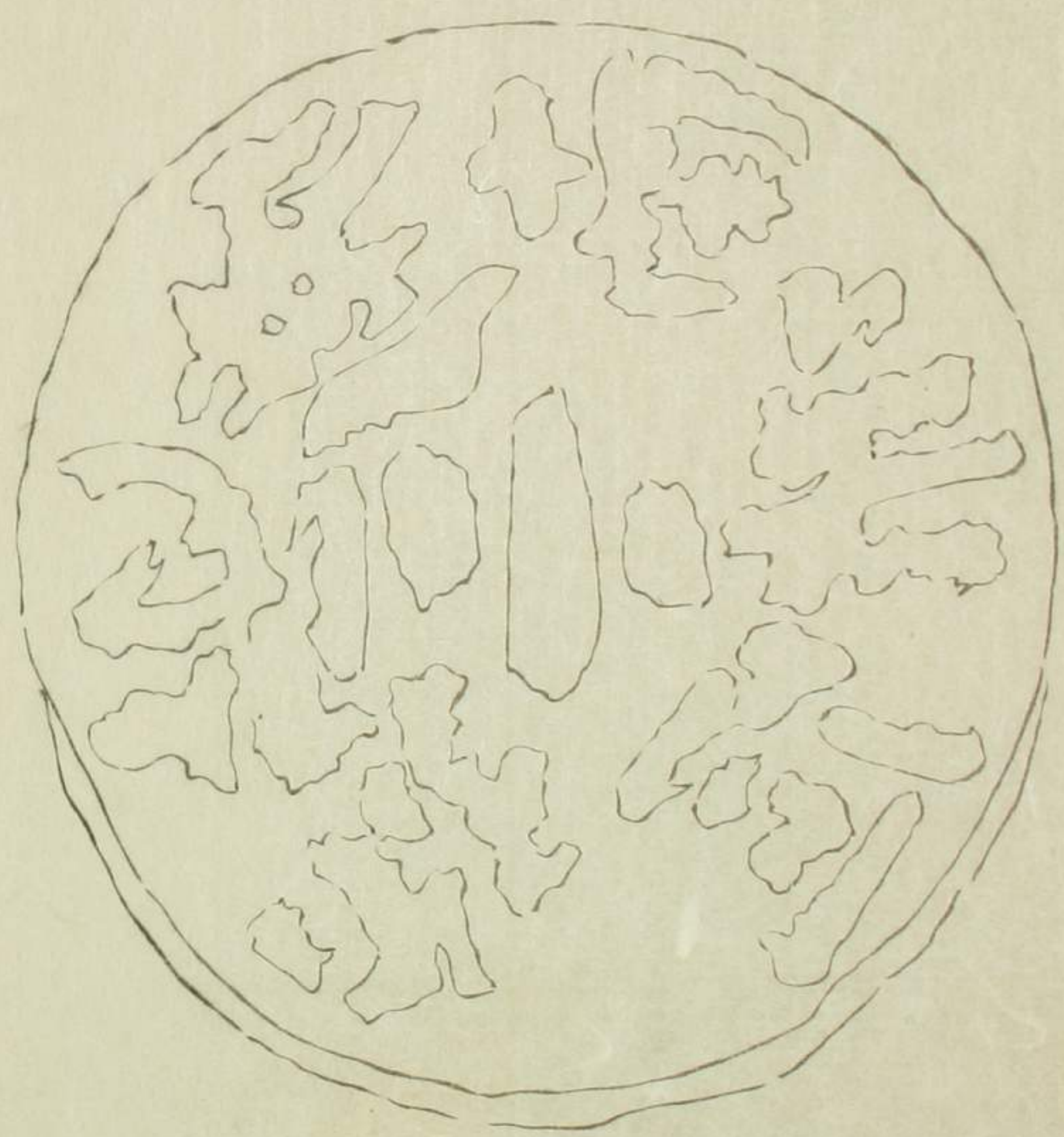


奥州平泉中尊寺

辨慶堂所藏

武藏銘

鉄大如圖



豊前國小倉城東安立山上土中所得古鏡 寶政七年 卯四月

徑四寸三分

安立妙見大弁

御寶前

奉施入鏡 一面

面

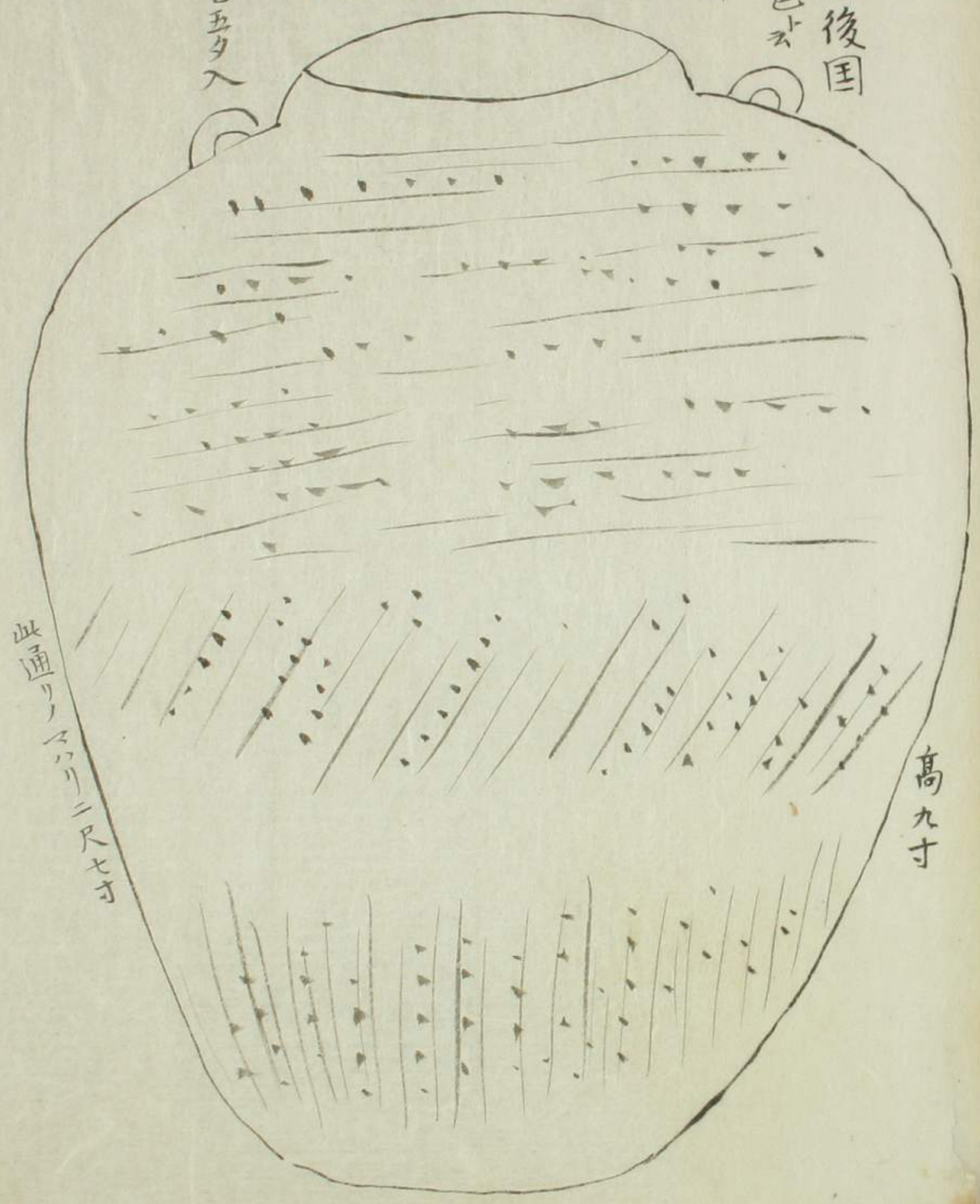
右志為在原熊而目病消除
明鏡安樂也兼女帶子宇佐氏
所生愛子人息笑延命也

兼安四年二月廿日

宇佐氏敬白

文字以刀鐫
細如縷

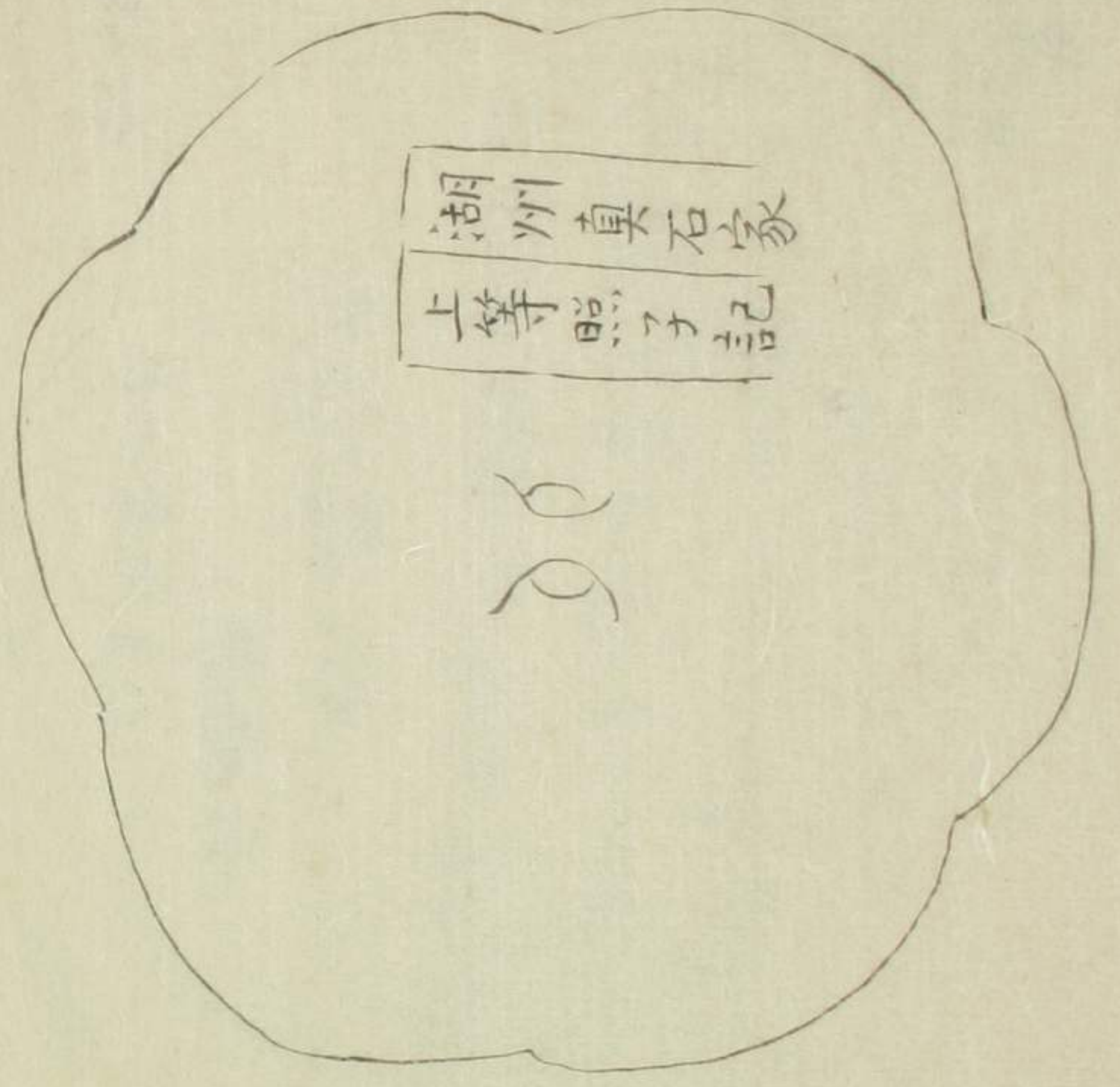
天明年中越後国
 頸城郡野邑
 所ノ菅原ヨリ
 掘出ス此内ニ
 古銭アリシト云
 今高田倉名
 氏所蔵
 色黄銅色ニテ
 筋薄赤ク
 中程ヨリ波ノ形
 末スボリニテ
 居ラス
 水五升四合五タ入



此通リノスハリニ尺七寸

高九寸

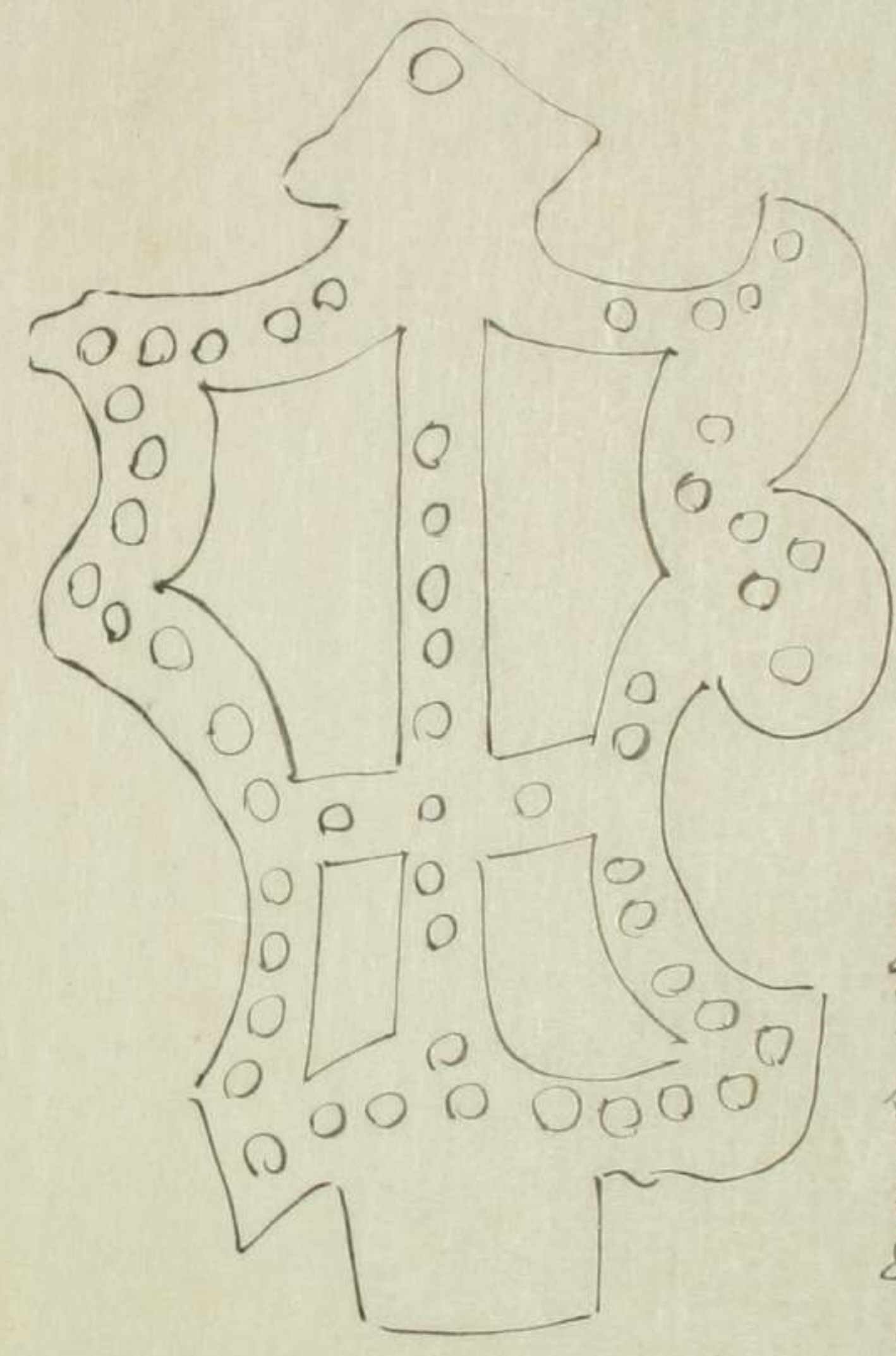
背



湖州真石家
上等照子記

安永年中上州越州ノ境ノ大杉倒土人其根を堀穿如石棺あり内ニ
 曹の鉢を有之此形のかたきものあり其棺の底朱のありあり何人の棺と
 して不知此所昔村上家の領地と云

縁錢の破損を以て内一取と云う其の根を掘る能なるものあり
 能ありしと云ふも是れをみよくかくして何のをまといふ事なれば
 二枚ありて海に沈みおつけしものなり其根を代りておつて云



天明五年五月上旬伊勢度会郡神領内山田篠尾山ノ山畑ニ農夫陶器
 二枚出土形如圖上膚白ク至テ柔キテ青サカル神功錢和銅錢萬年錢

三百錢計有之皆腐レテ
 全氣ナシ按續百本紀卷

四元明天皇和銅元年

七月丙辰令近江國

鑄銅新八月己巳

始行銅鑄又曰

同書卷廿六稱

德天皇神護元年

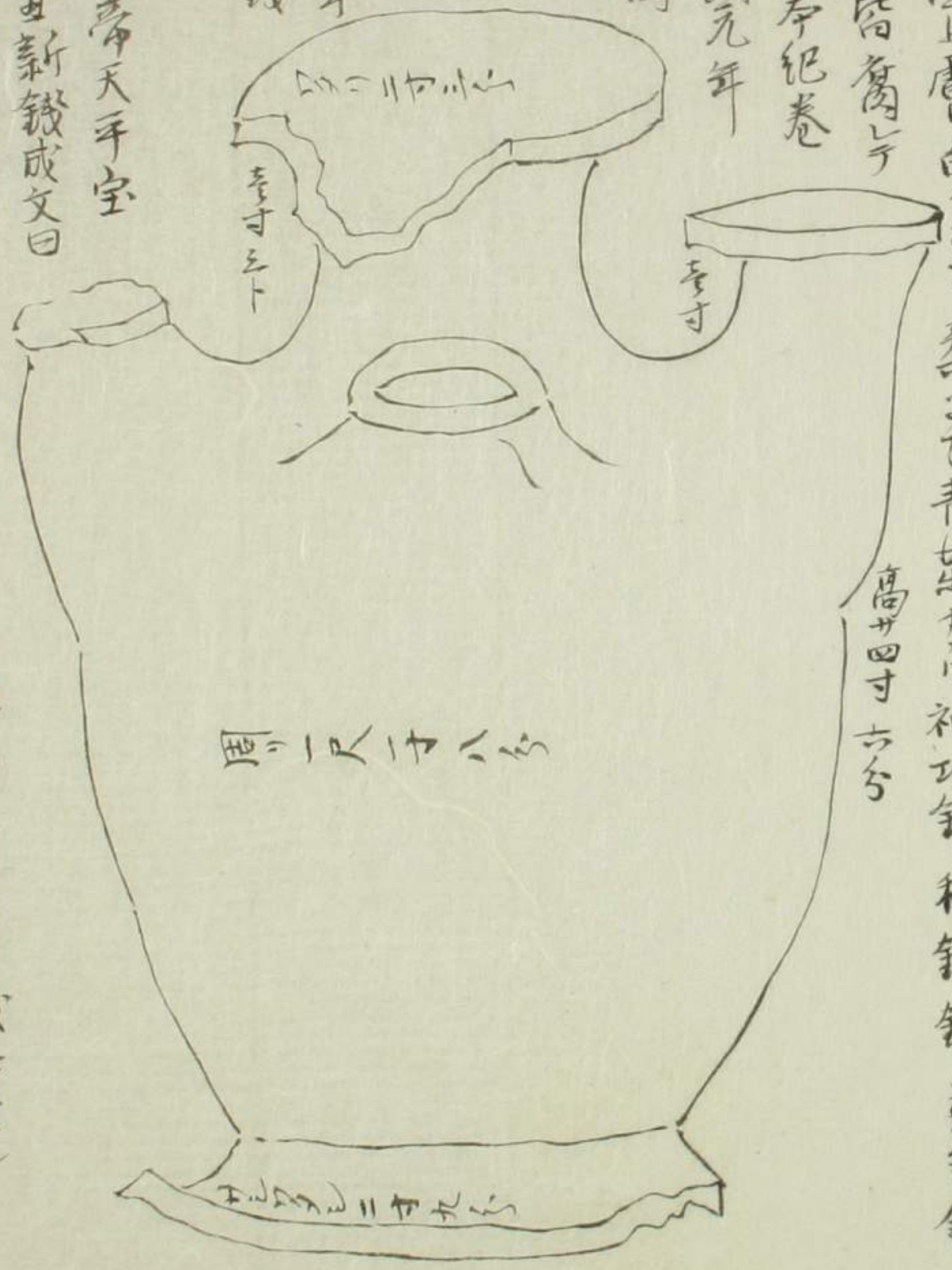
九月丁酉鑄新錢

文曰神功開寶

同書卷廿二高帝天平宝

字四年二月十日新鑄成文曰

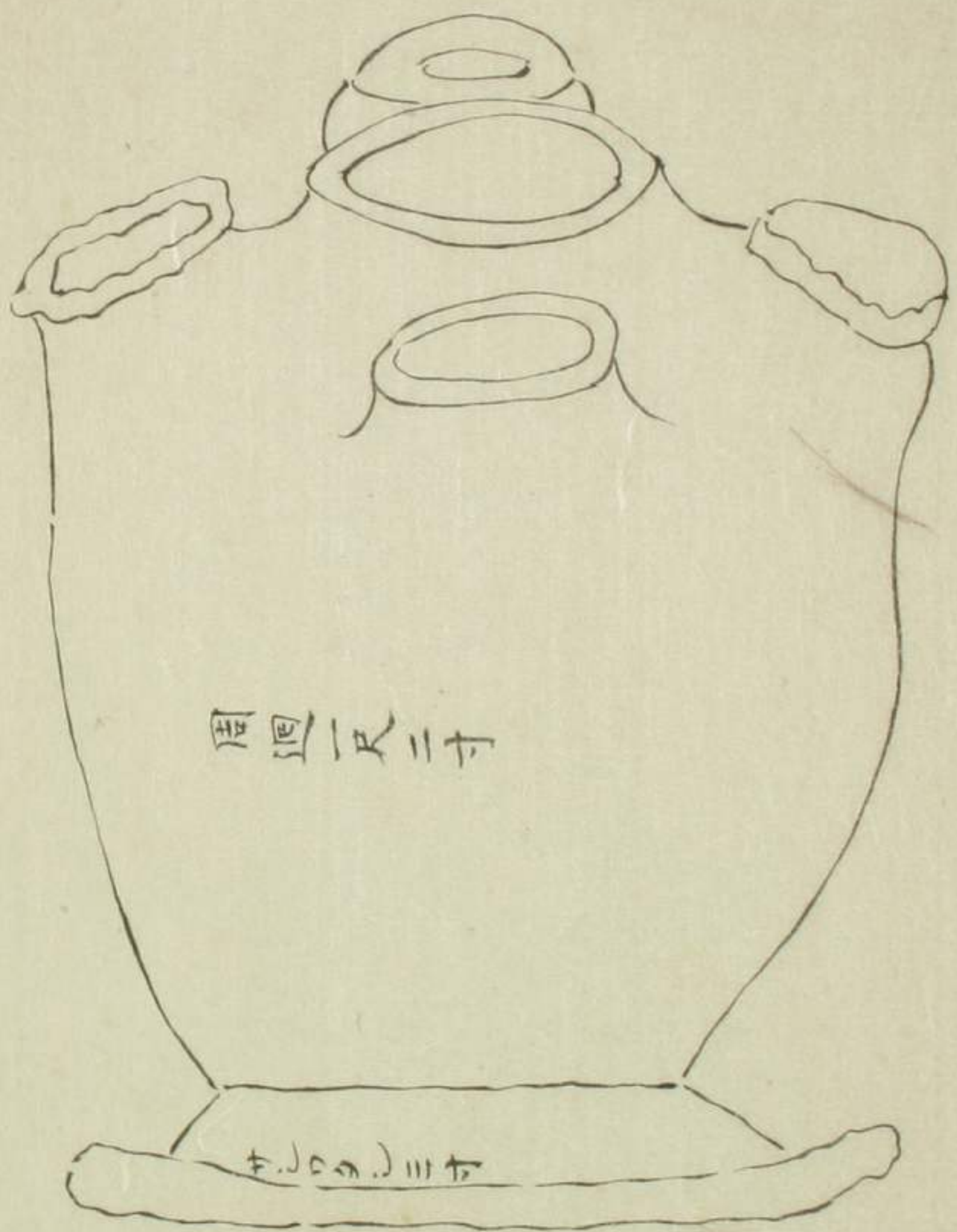
萬年通宝以一當舊錢之十



高サ四寸五分

此片大坂兼西段堂藏今ハ七

其二



周廻一尺三寸

木ノ高ノ三寸

伊豫国三島神社隨身木像四軀



衣服着色ニモ辨ス
 ベカラス袴ハ白色ト見エ立者
 高サ五尺踞者六尺ノ高サヲ以テ
 造ルモノナリ
 本社傳云頼朝公時代所造
 佛工田中利常一見云六百年許所造ト云

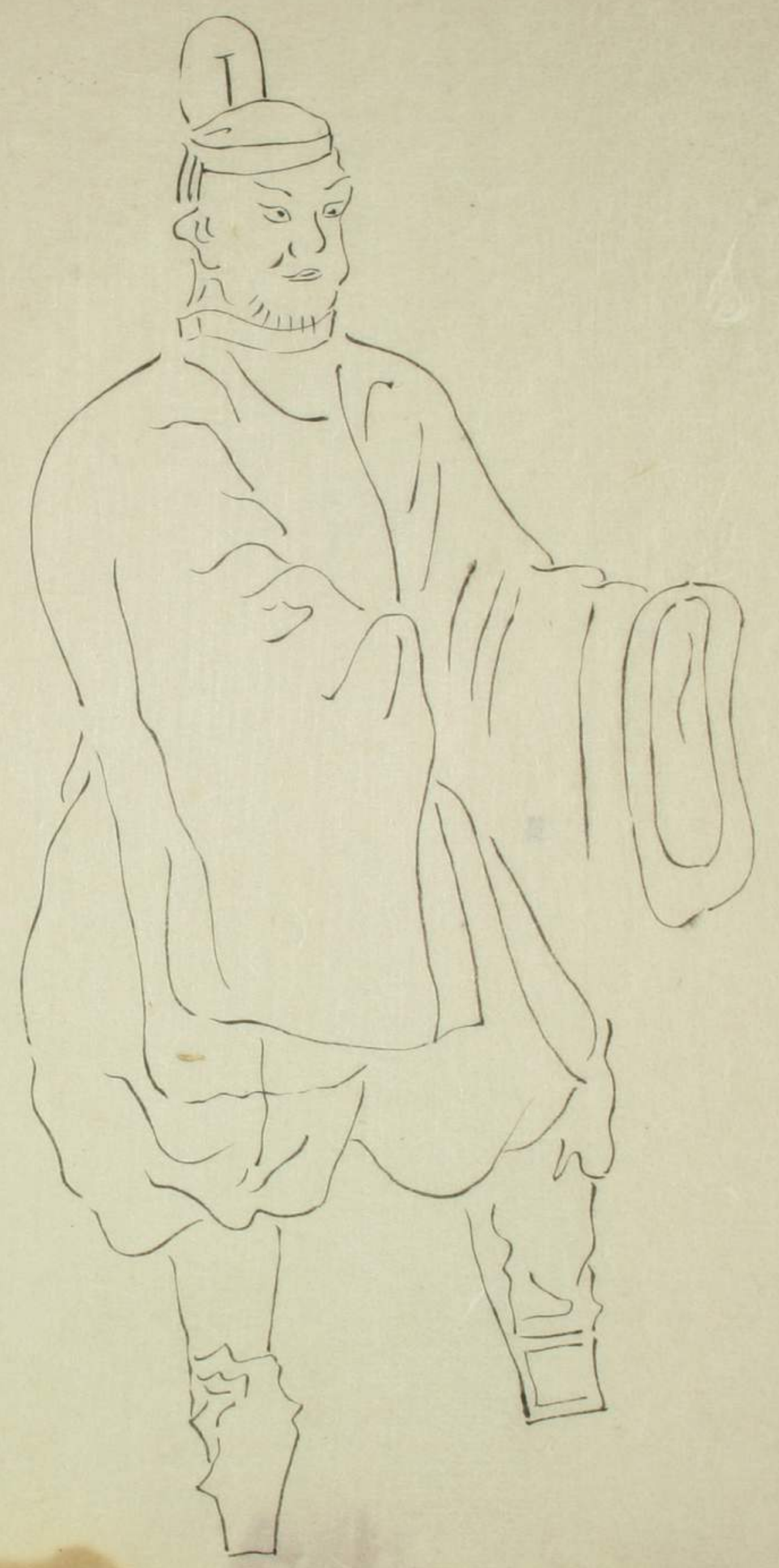


前

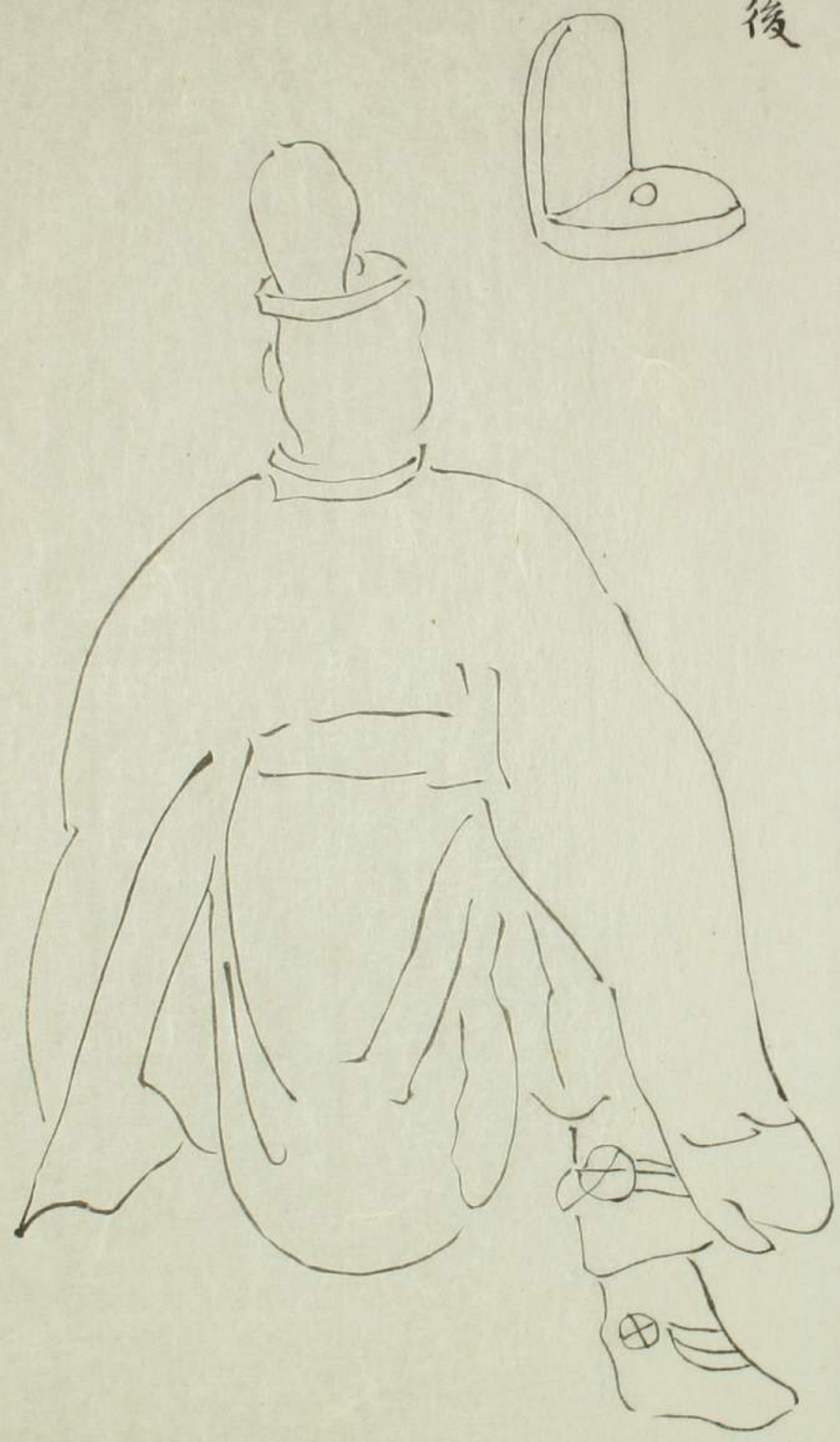
持鉾 鉾逸

綾
作以木

鞆帶、後
如此結
アリ



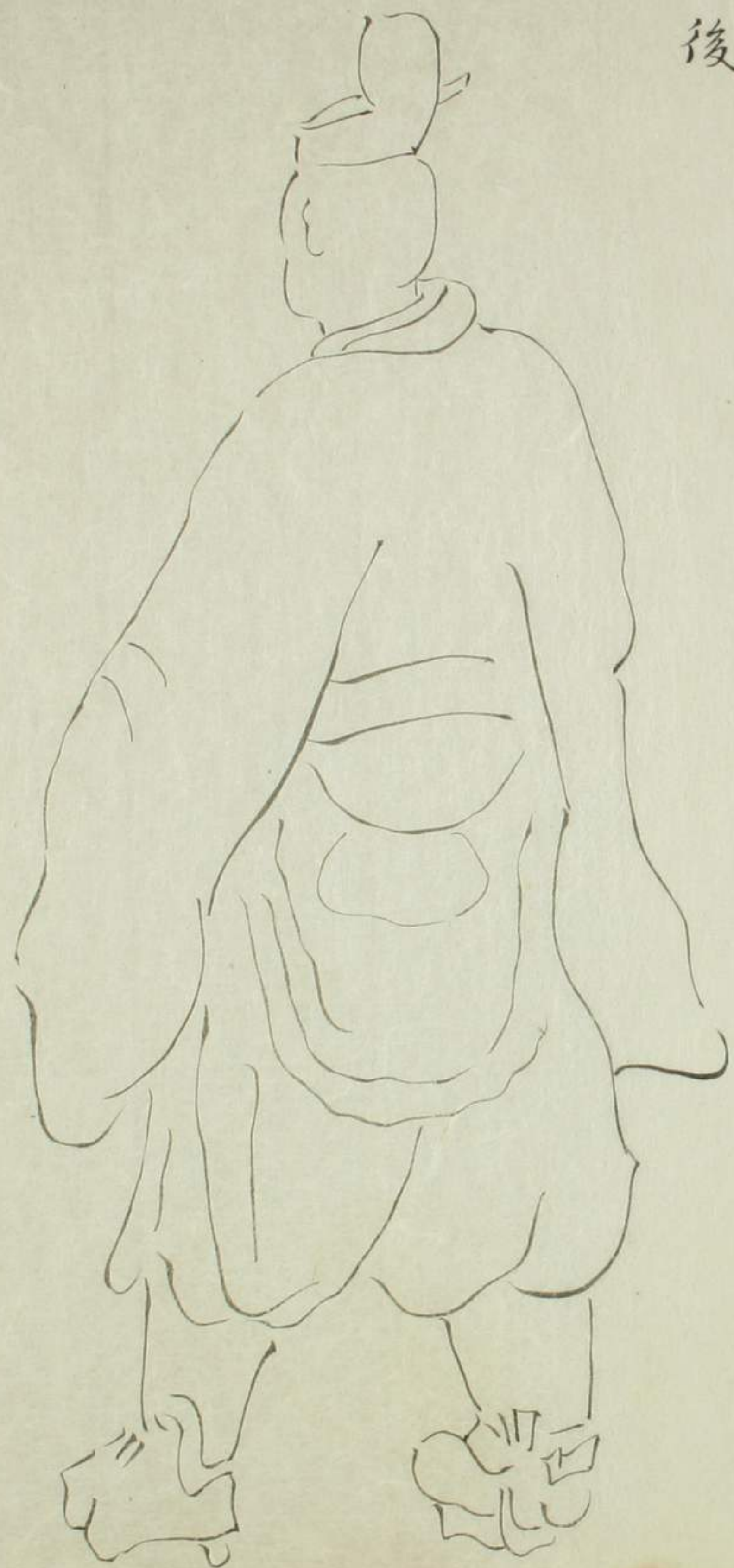
後



前
後圖逸



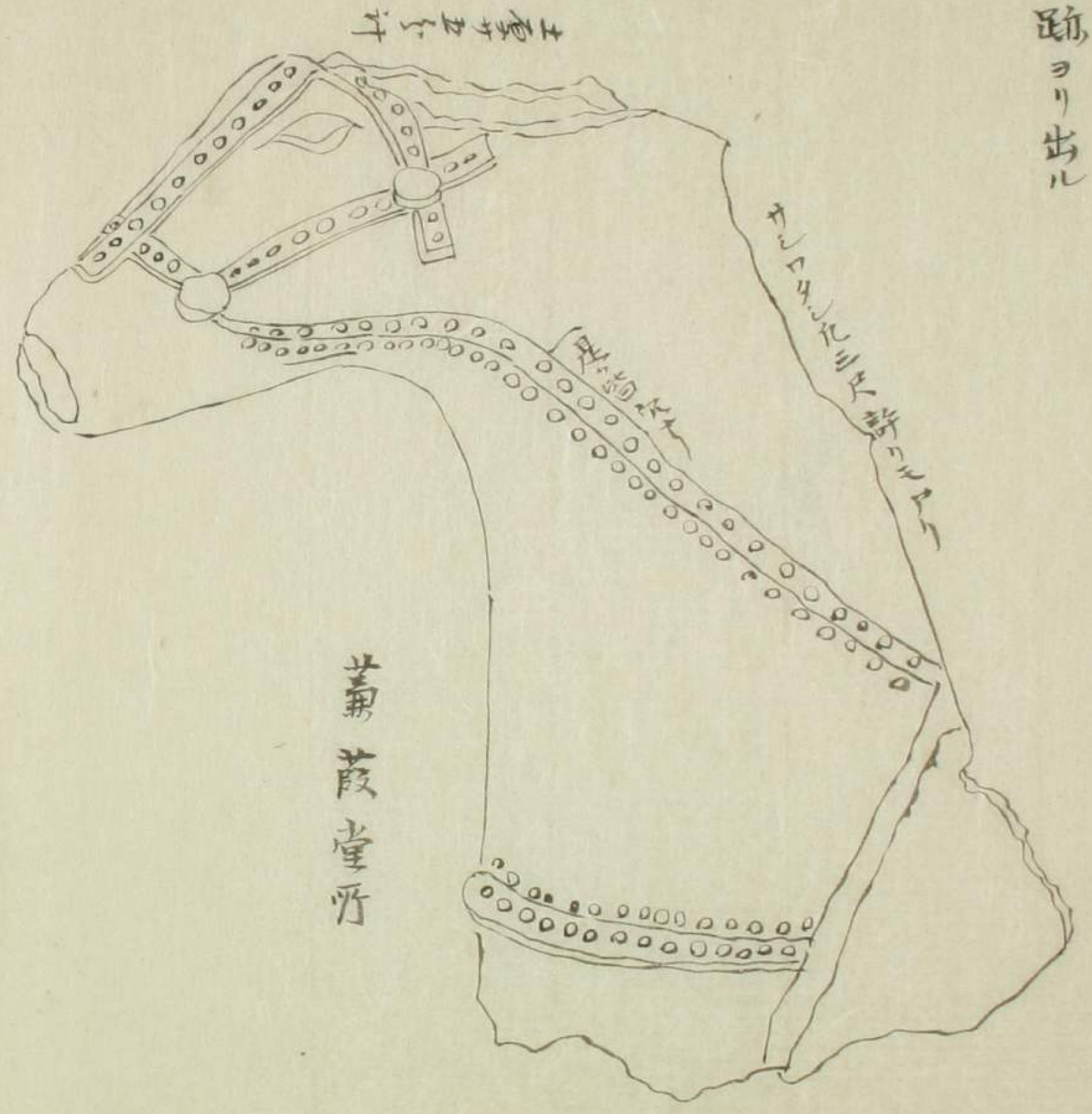
後



前



將門城跡ヨリ出ル
古代土馬



河内國駒ヶ谷金剛
輪寺古代鬼瓦

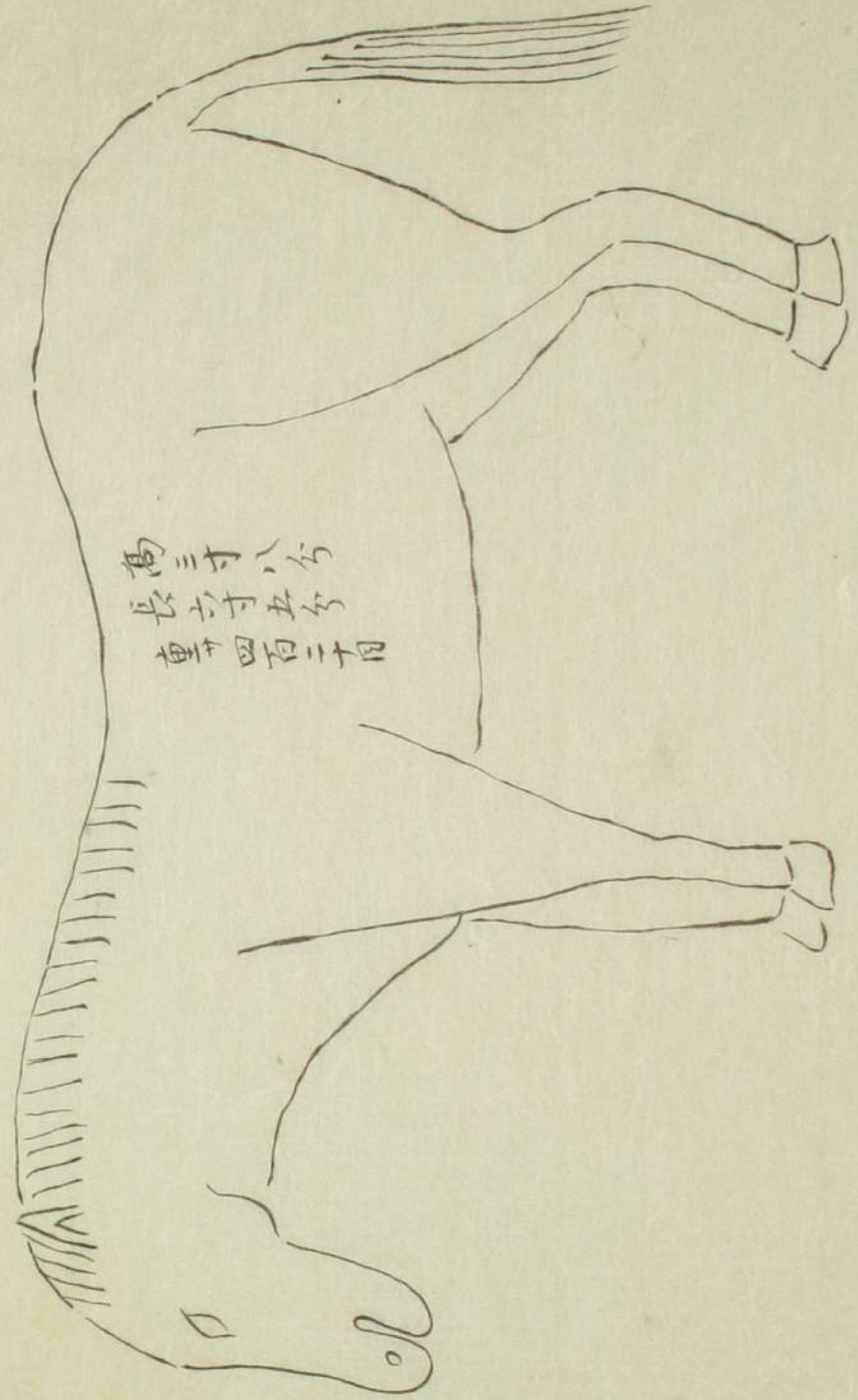
古代ノ鬼瓦大サ尺余
尋常ノ鬼面より
長シ馬頭ニ似テ頂ニ
獨鉗状アリ角アリ
甚古鱗ナリ



三河國渥美郡伊良胡崎の山向ノ
初ニトテ所アリ貞古子三寅ハ月也夫
古キ瓦を掘出ス經寺ナリ七層ナリ昔東大寺
草創ノ時瓦を作リテ所ナリ一節戸村
源倉氏御龜二年二月日記ニテ所ナリ

東
大
佛
殿
瓦
寺

銅馬圖

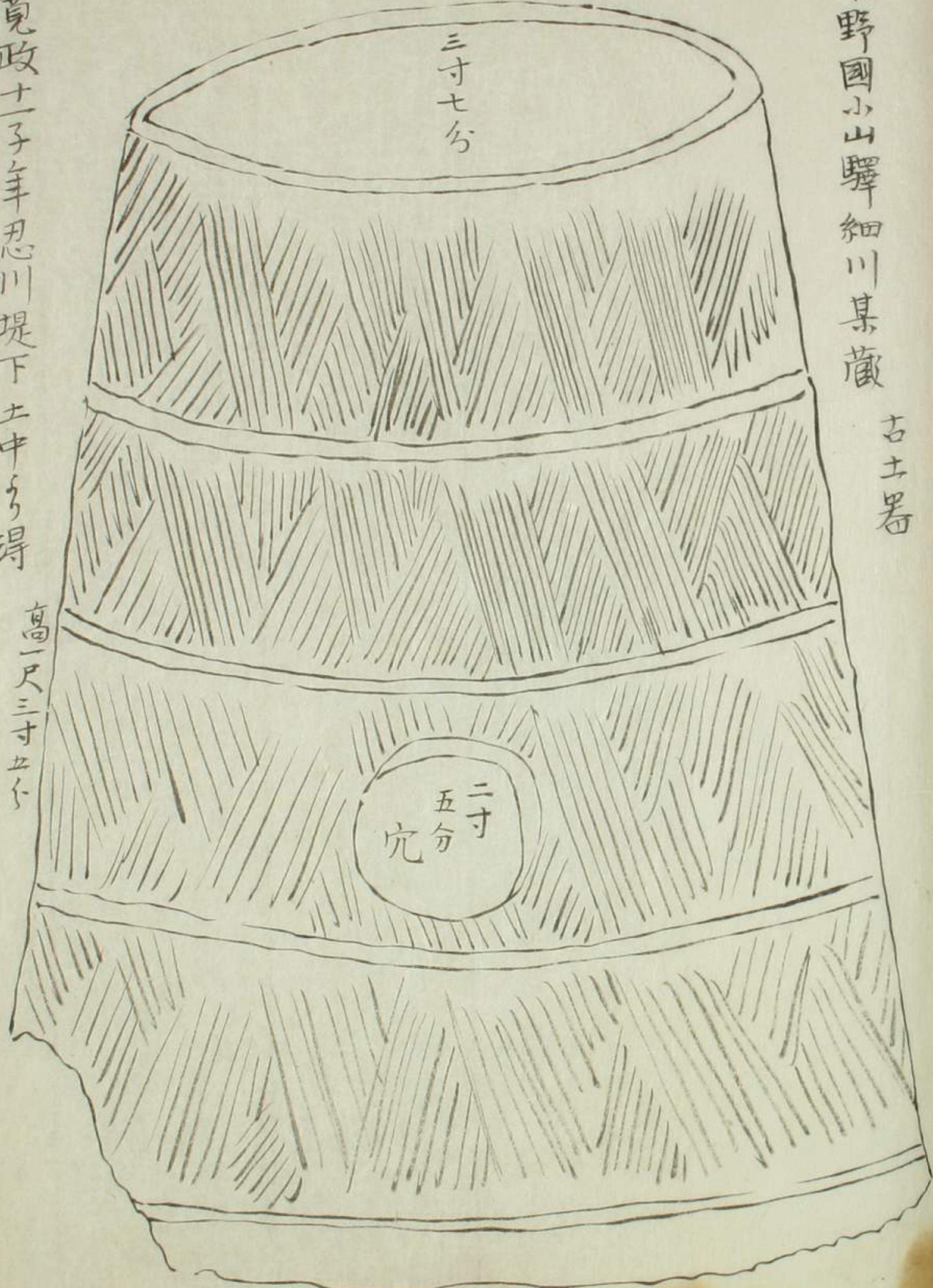


長六寸五分
 高四寸五分
 銅馬四寸四分

元和年中相州相澤半右衛門ある者の子長と云ふ小野の古城の畠畔を掘出
 せり刀柄甲乙女捨文の像鋤鋤馬鋤馬等有り伊豆三島神社へ納り馬計り
 残置と云ふ

下野國小山驛細川某藏

古土器



三寸七分

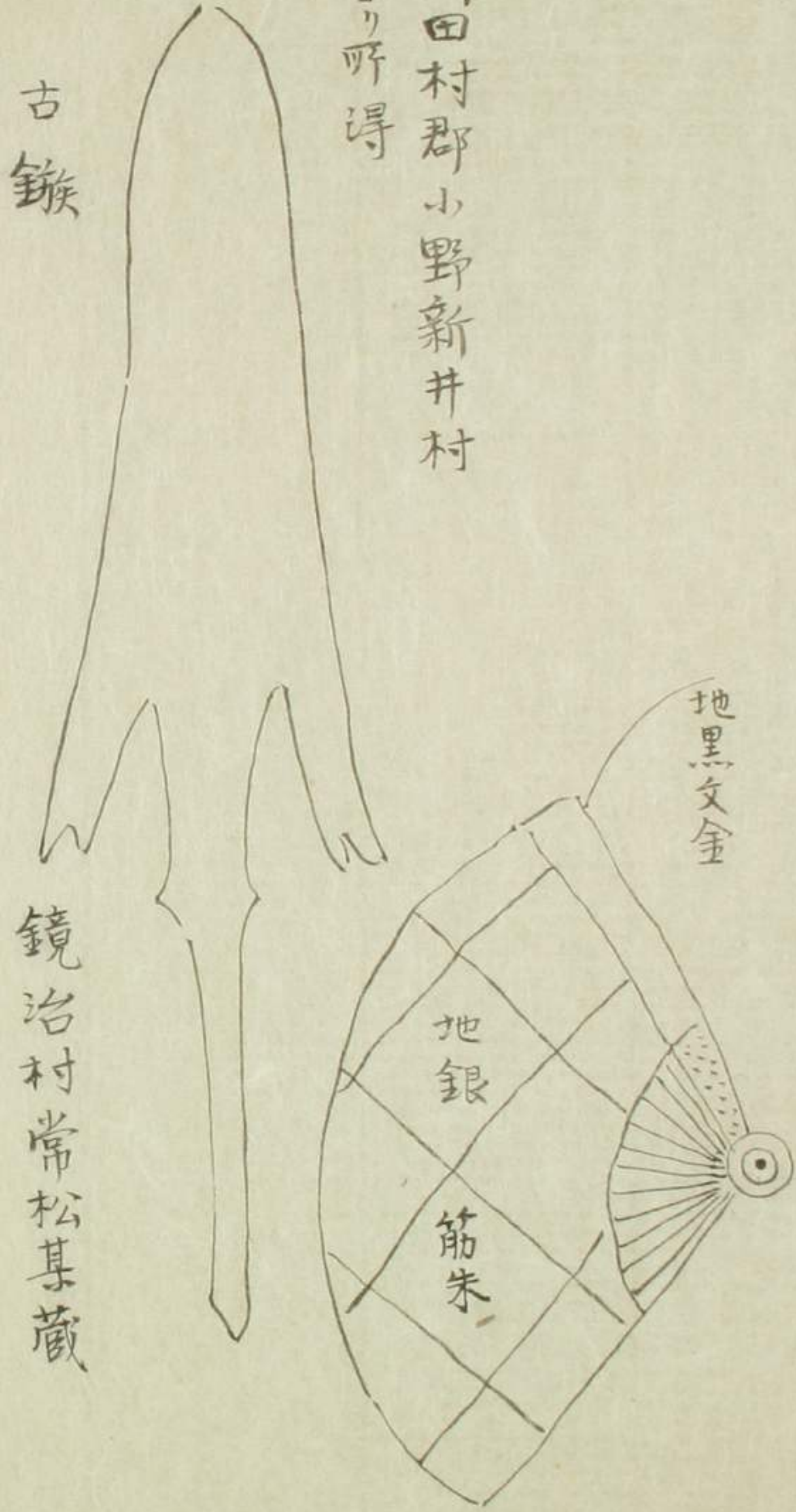
二寸
 五分
 穴

寛政十三年忍川堤下土中より得

高一尺三寸五分

奥州田村郡小野新井村
土中ヨリ所得

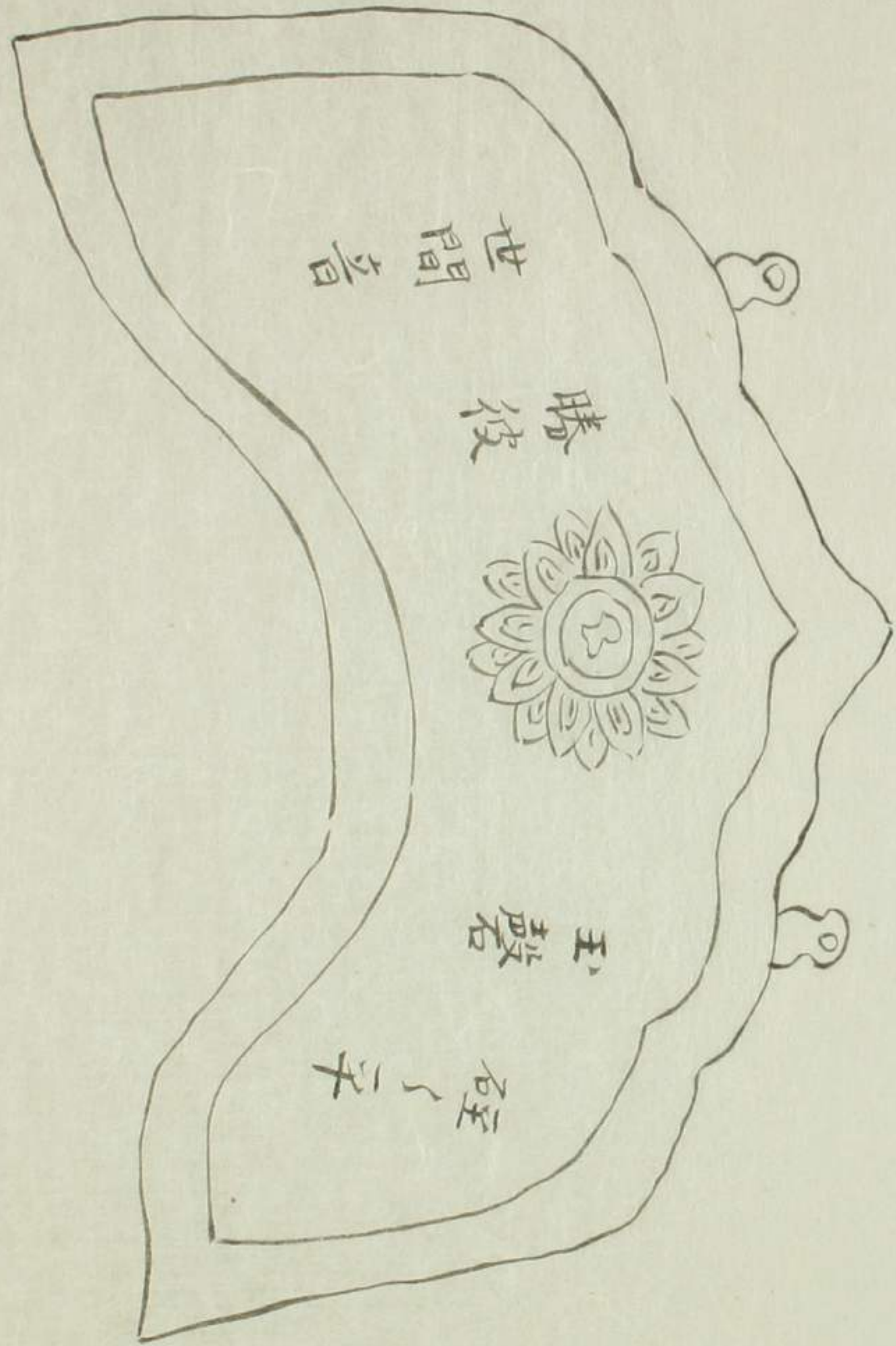
古鏃



鏡治村常松某藏

下野国小山驛天翁寺所藏
小山下野守高朝所持軍扇

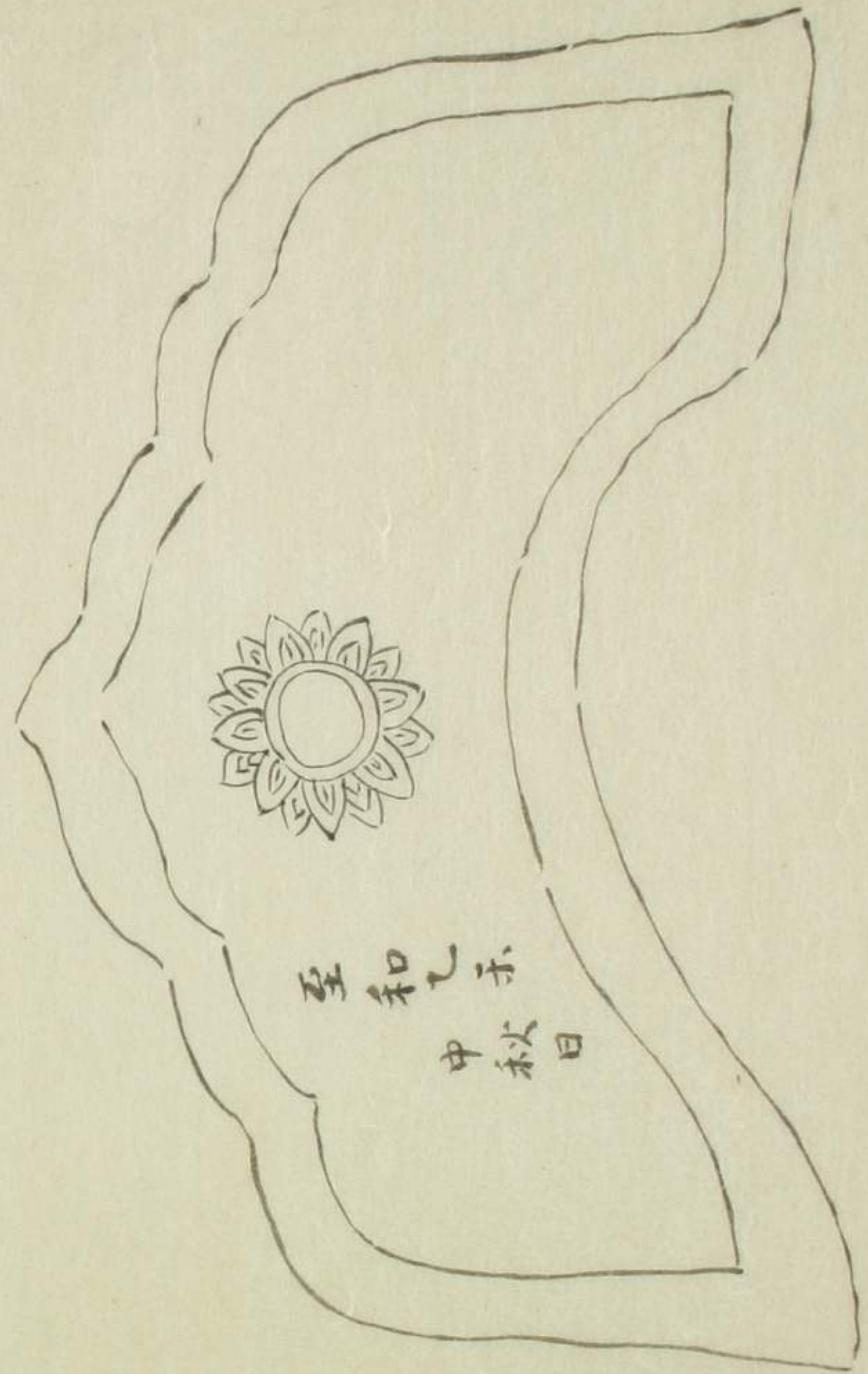
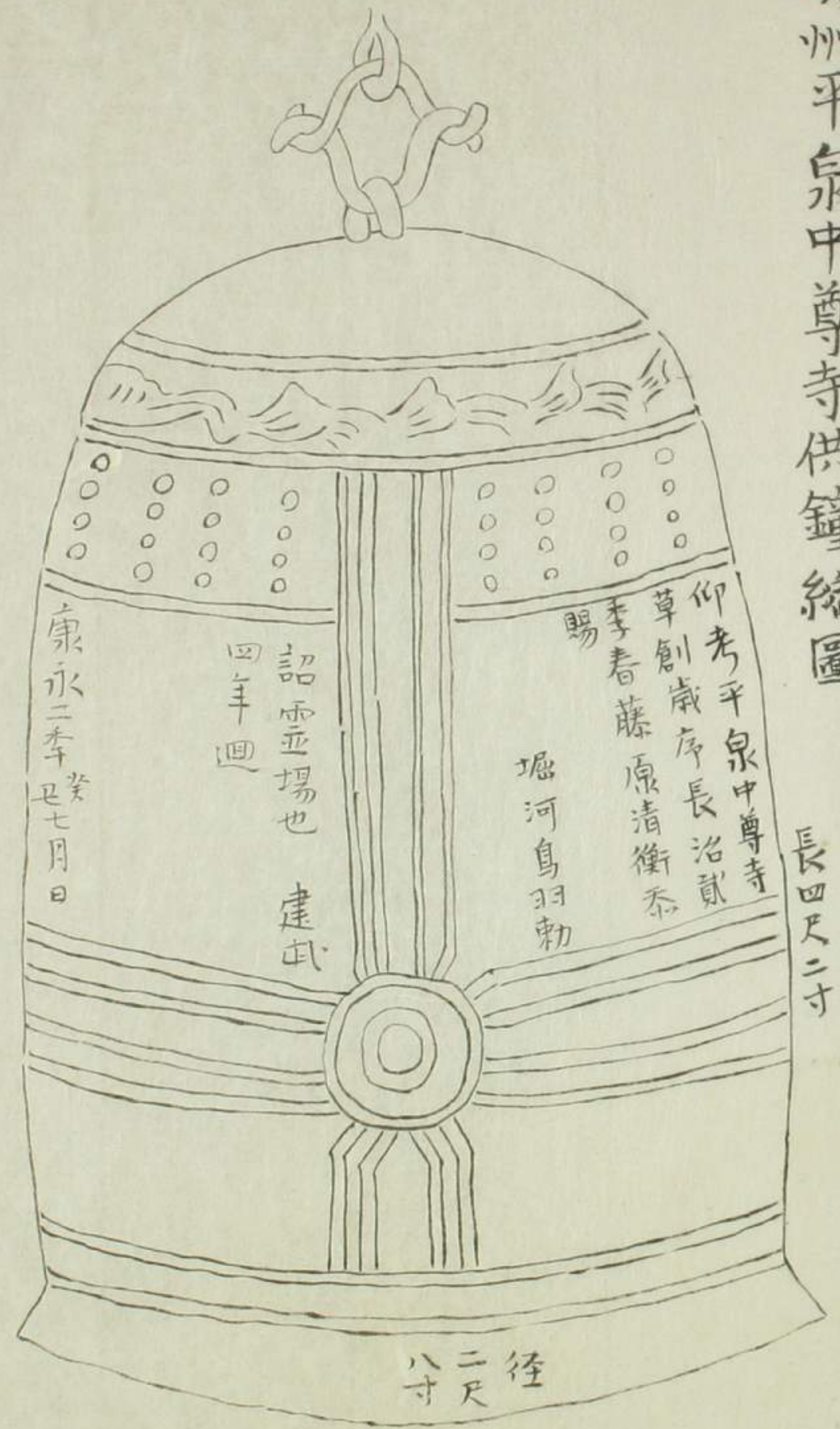
奥州安積郡日和田村一藏院藏古磬



奥州平泉中尊寺供鐘縮圖

洪

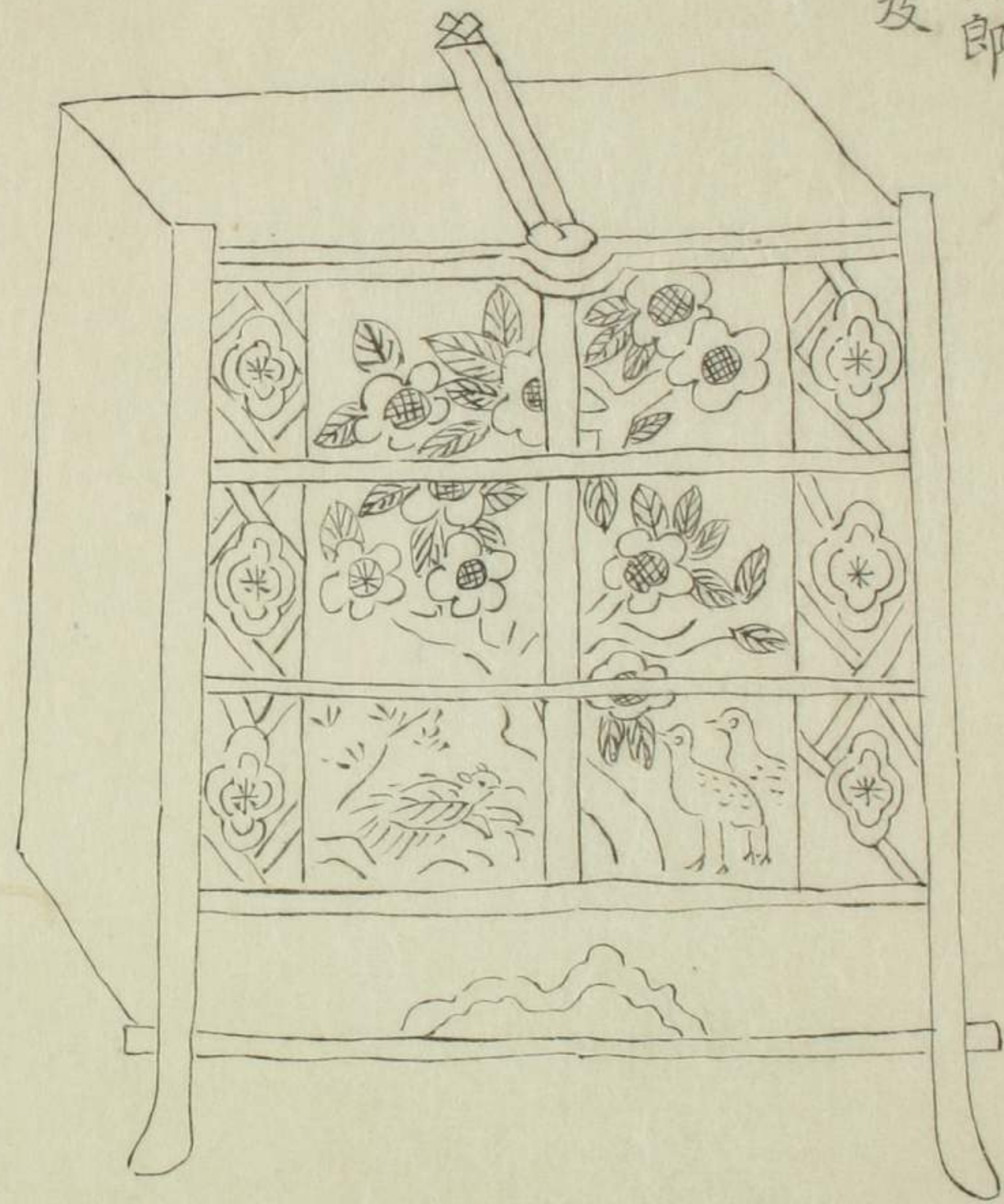
長四尺二寸



奥州平泉中尊寺辨慶堂所置

魚井六郎

笈



靈九院宸筆

日蓮大菩薩

甲州身延山久遠寺

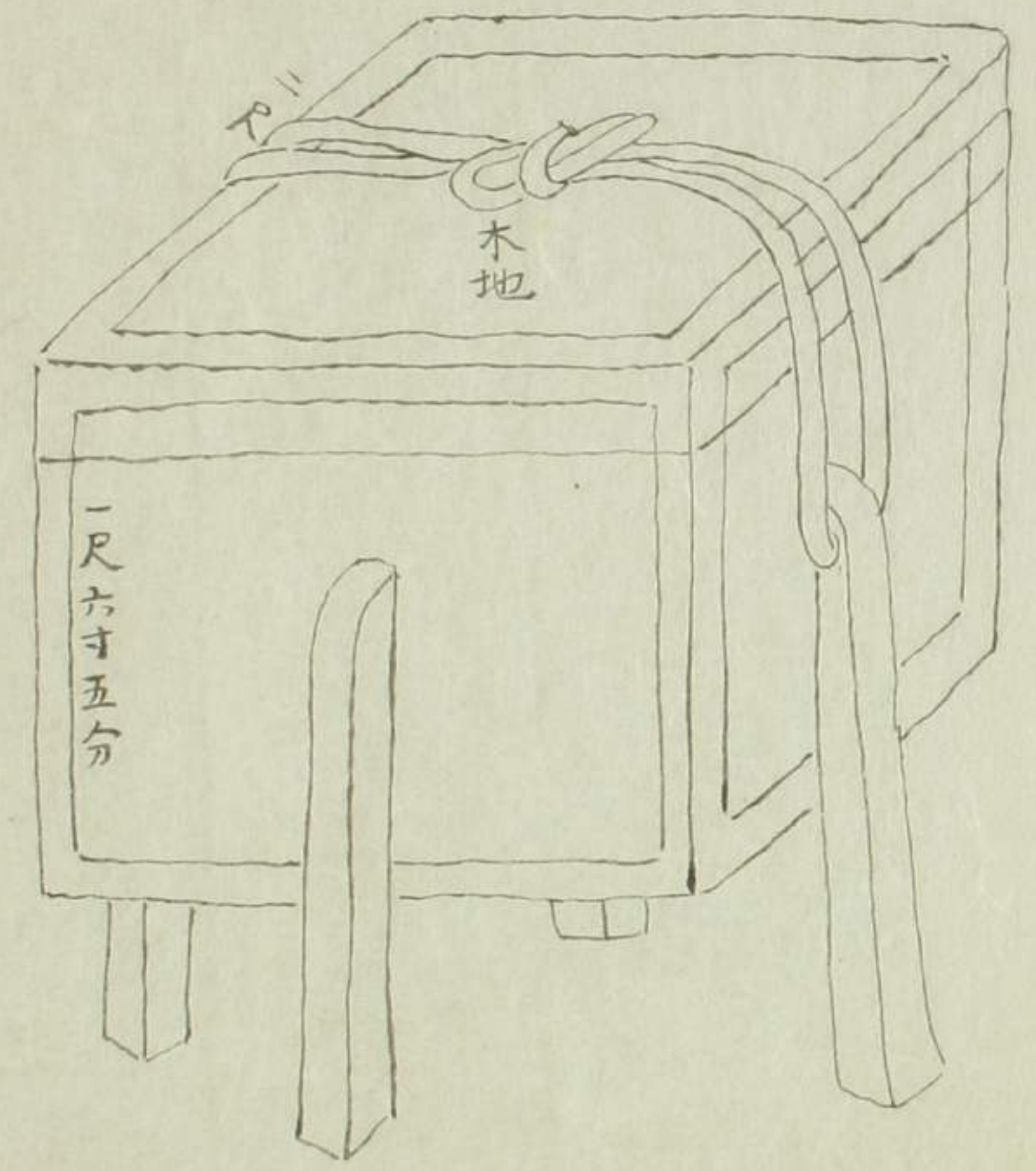
日蓮大菩薩

太
上法皇御宸翰之疑者也
有故今般奉納于身延山

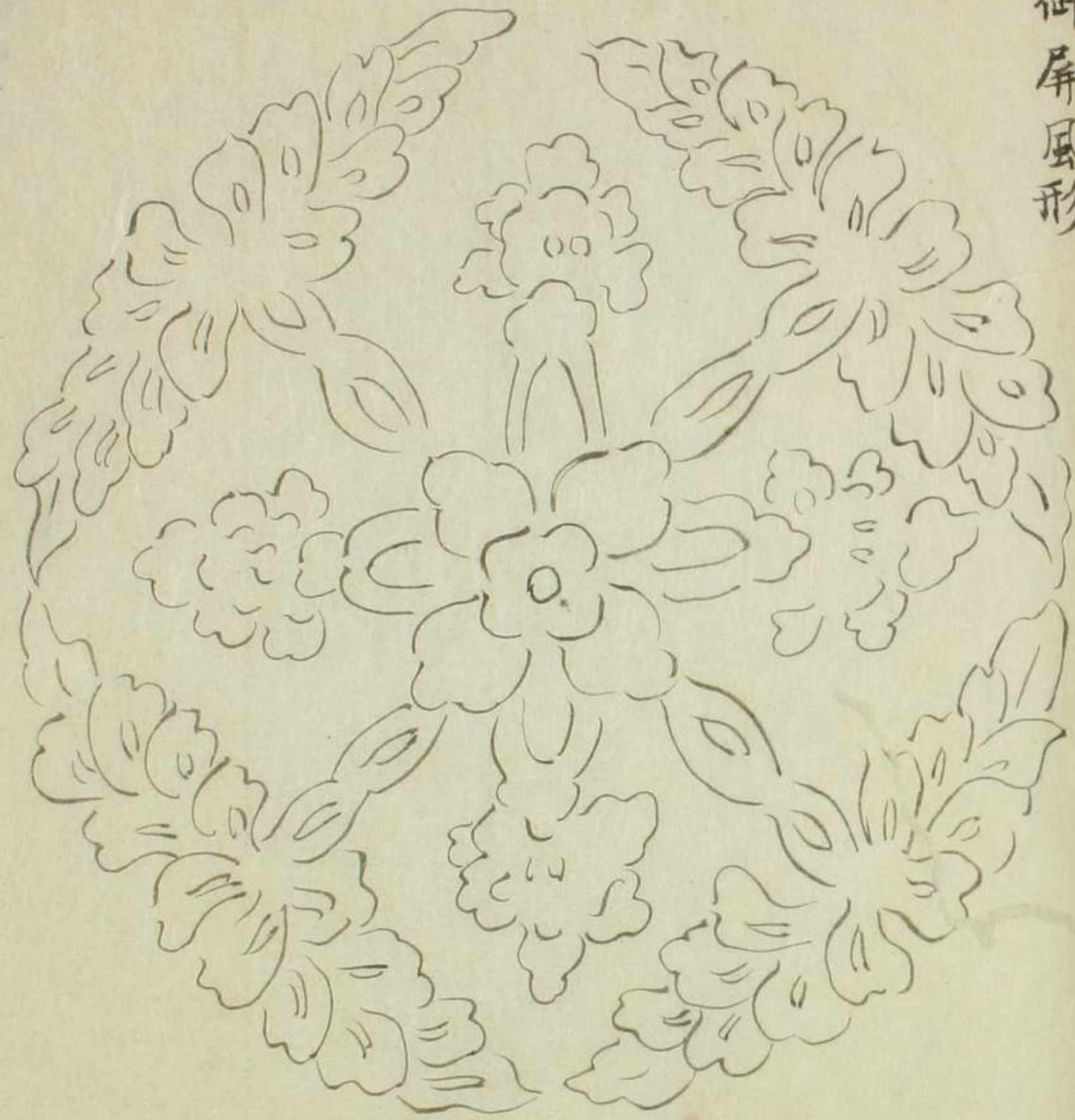
可謂一宗之本之顯總矣
 昔時大菩薩号能者
 勅書不判於本山于時
 在子保五原子年仲夏奉御
 序為後禮儀之畢是
 佛法報臨宗以光輝永々
 之彼相懇祈志也

五月廿百 於護前在相藤
 以遠之徑持日裕上人御房
西

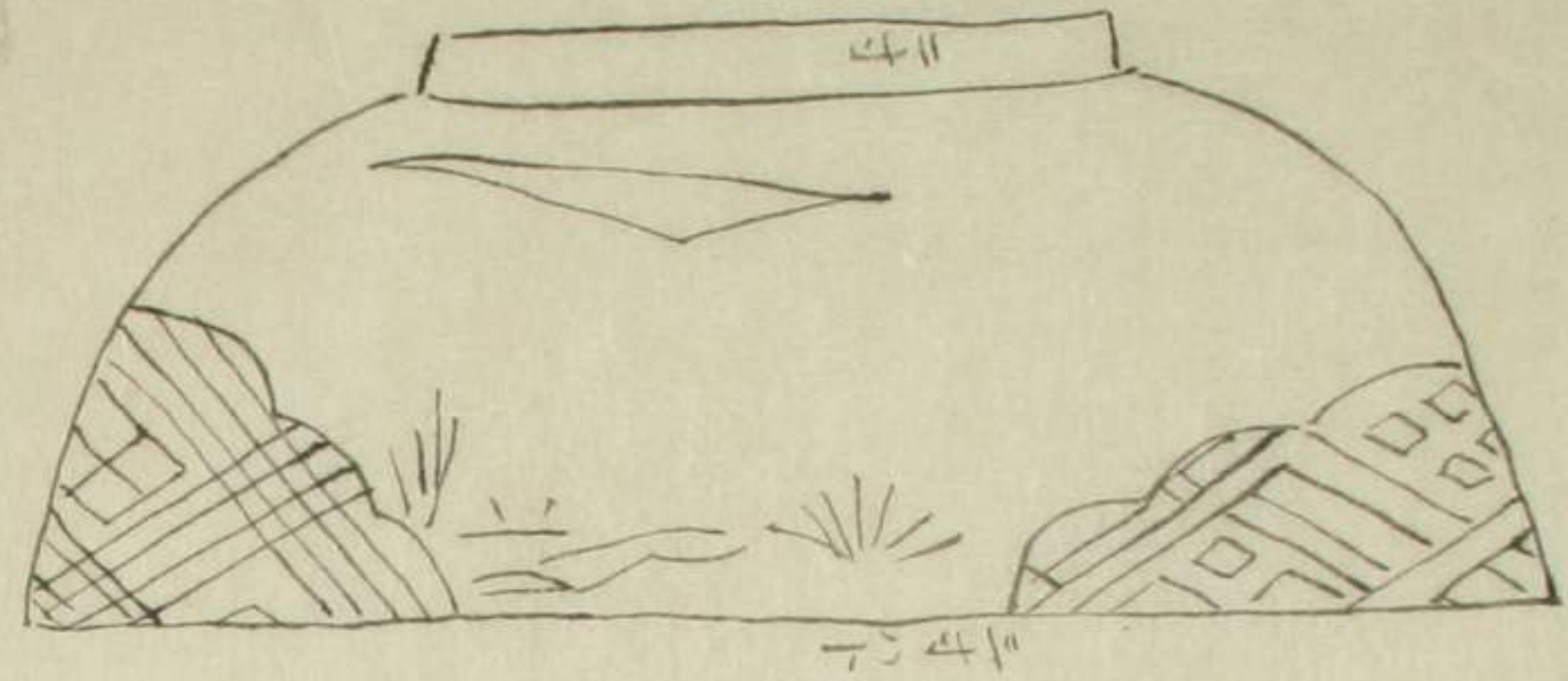
奥州中尊寺一切經藏所置經匱 藤原基衡寄附



大内御屏風形

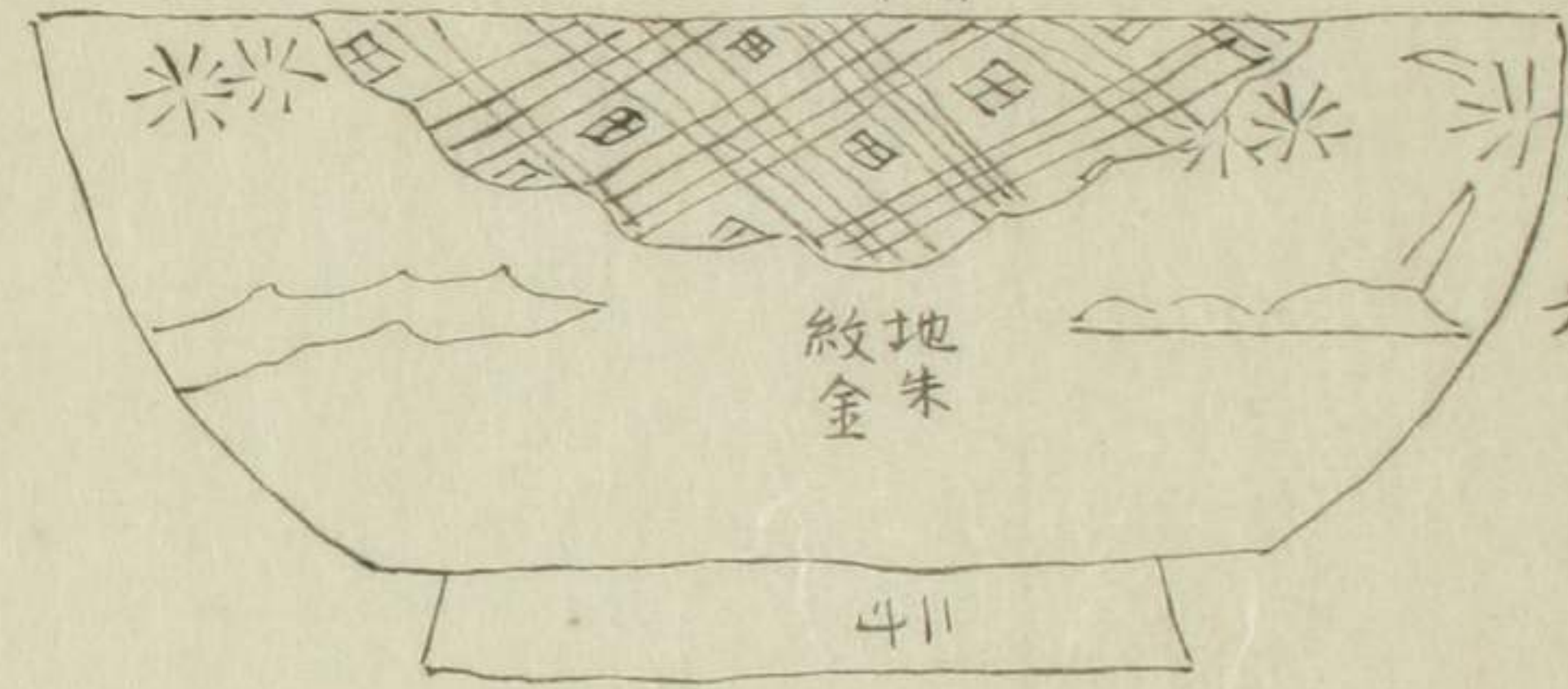


奥州平泉老農家所藏古椀



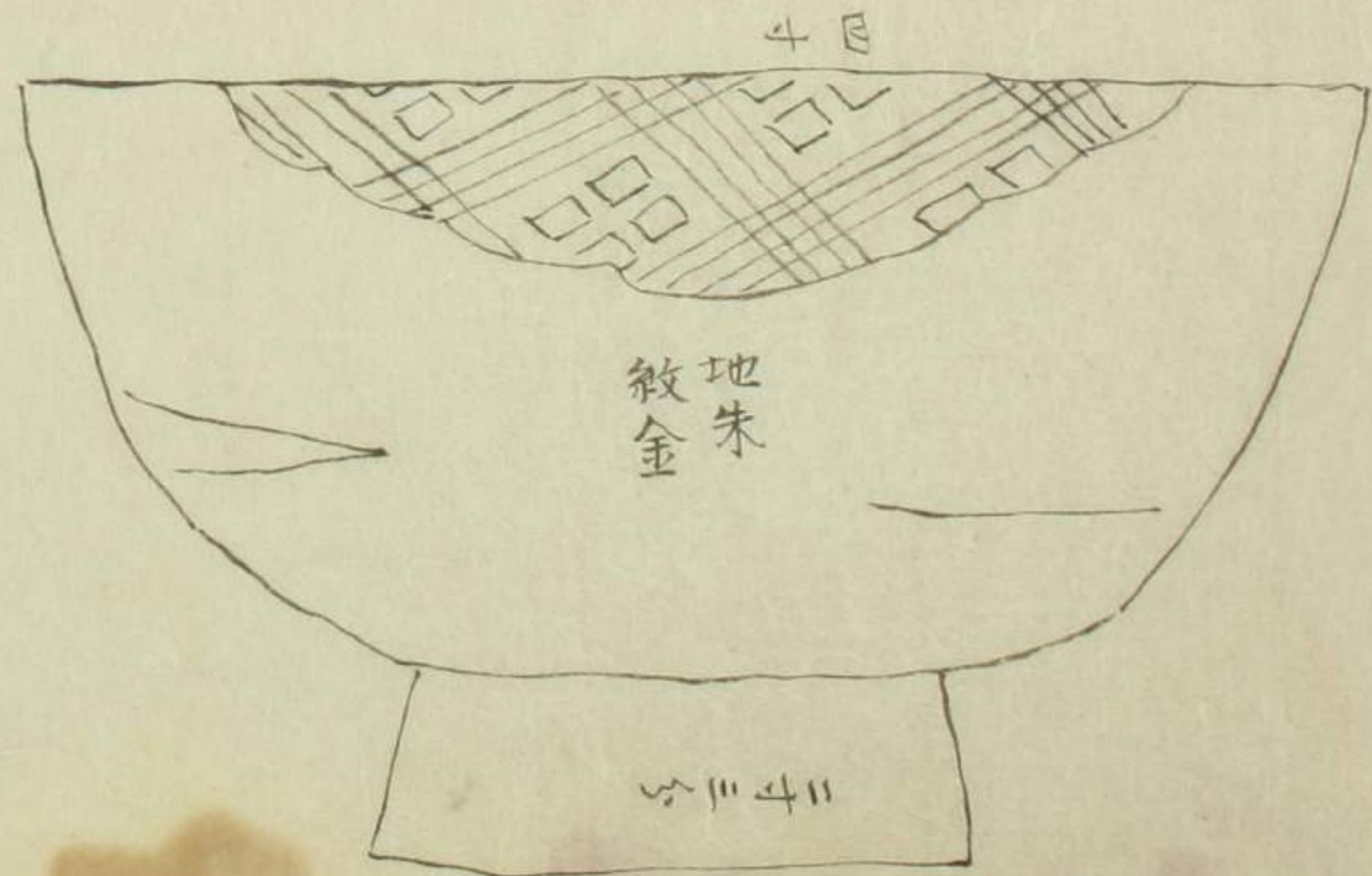
寸四

寸四



紋地朱金

寸四

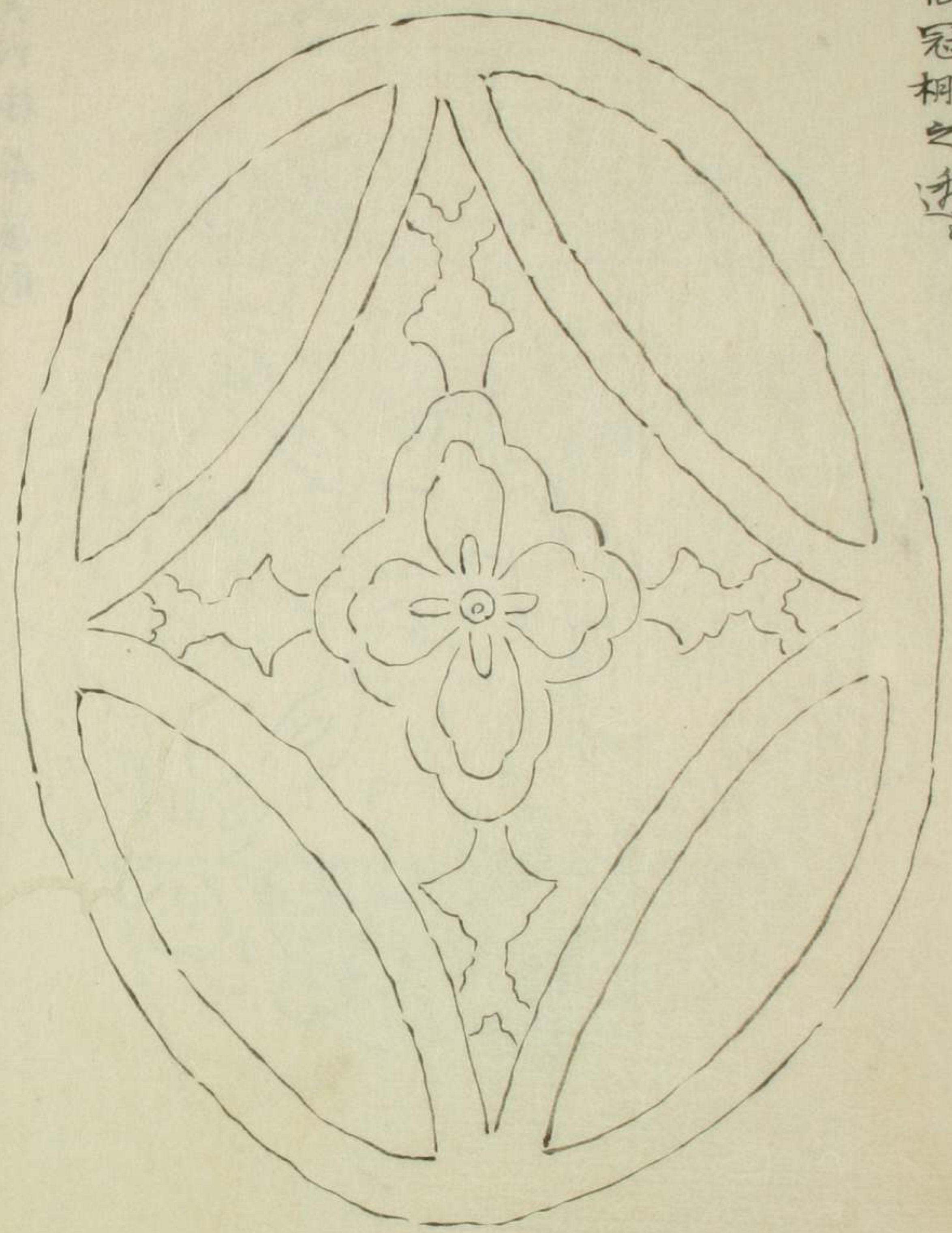


寸四

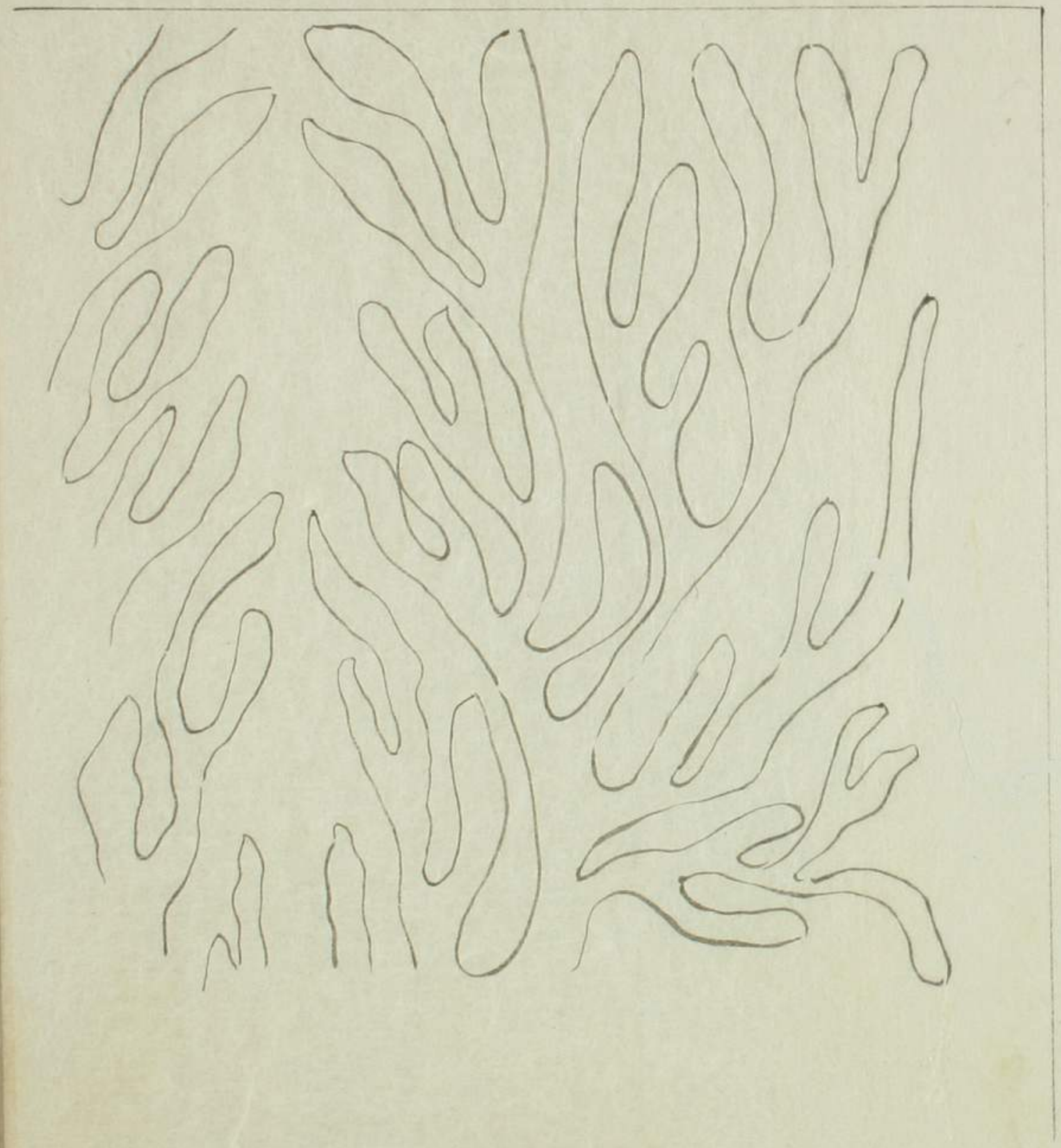
紋地朱金

寸四

御冠棚之透



宮形
海松之
御紋



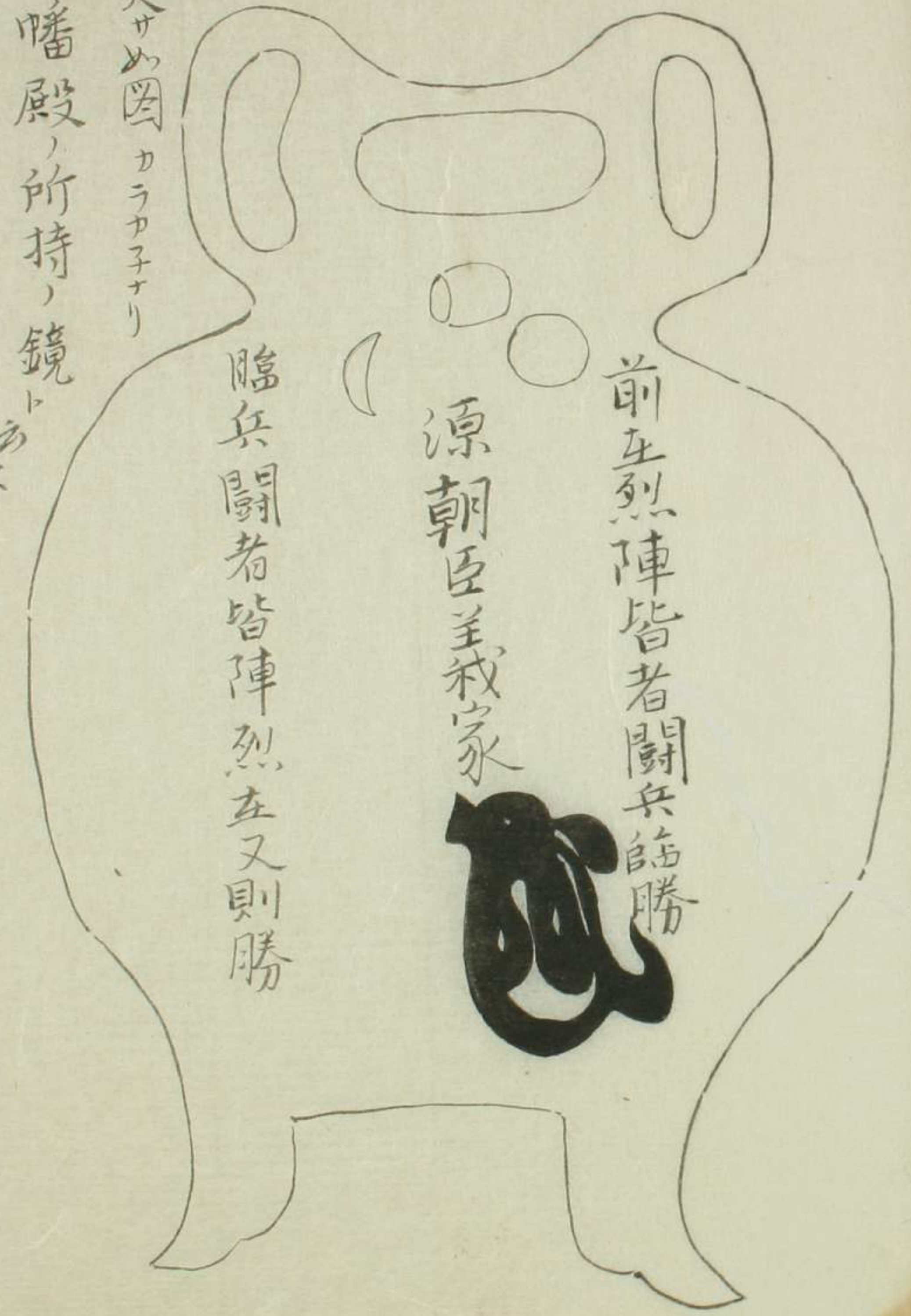
鹿島香取明神之寶物

表



觀音像乃燒刃如
見云

裏



前在烈陣皆者闘兵詰勝

源朝臣美我永

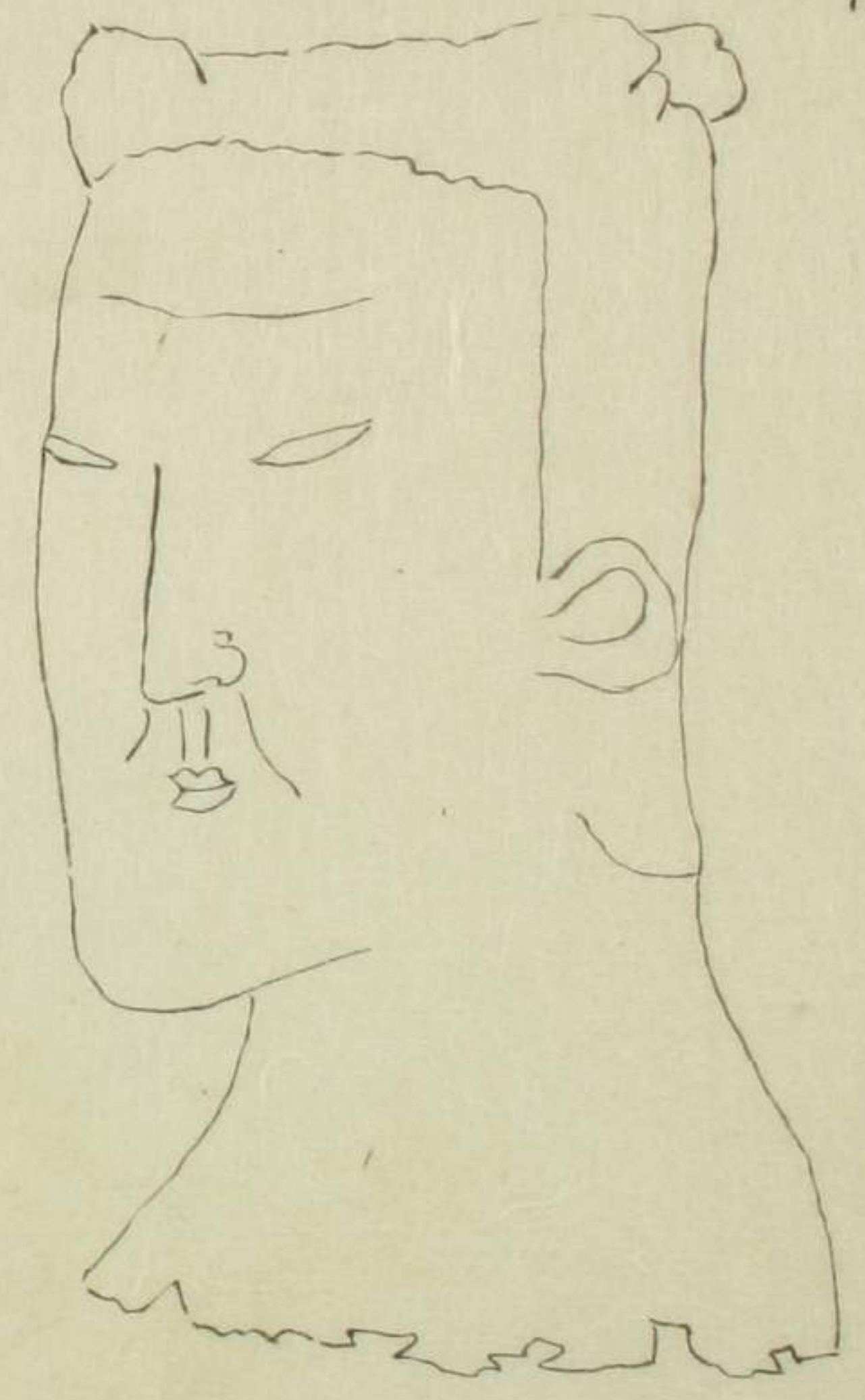
武

臨兵闘者皆陣烈在又則勝

大サメ図カラカ子ナリ

八幡殿所持ノ鏡
ト云

文政七年甲申閏八月十五日
 保科障正女獨領地有徳周
 誰郡二方塚村内裏塚と
 山古塚のふもとより陶人形
 を掘り大平人の以て喰り
 下りけり智徳徳を境
 以て是れ^{ケル}顔の印を
 以てきき^{ケル}顔の形を
 多のなる耳と^{ケル}耳の
 大小りてあり画像佛も
 似とおきなる面より其の



案此佛朱印所結の驛少
 文武帝^{仁徳}中四年三月甲子
 給鐵印于攝津伊勢等廿三國
 使印收駒續^之國史^之見^之云々
 赤馬の御印^之その遺^之凡^之なる^之



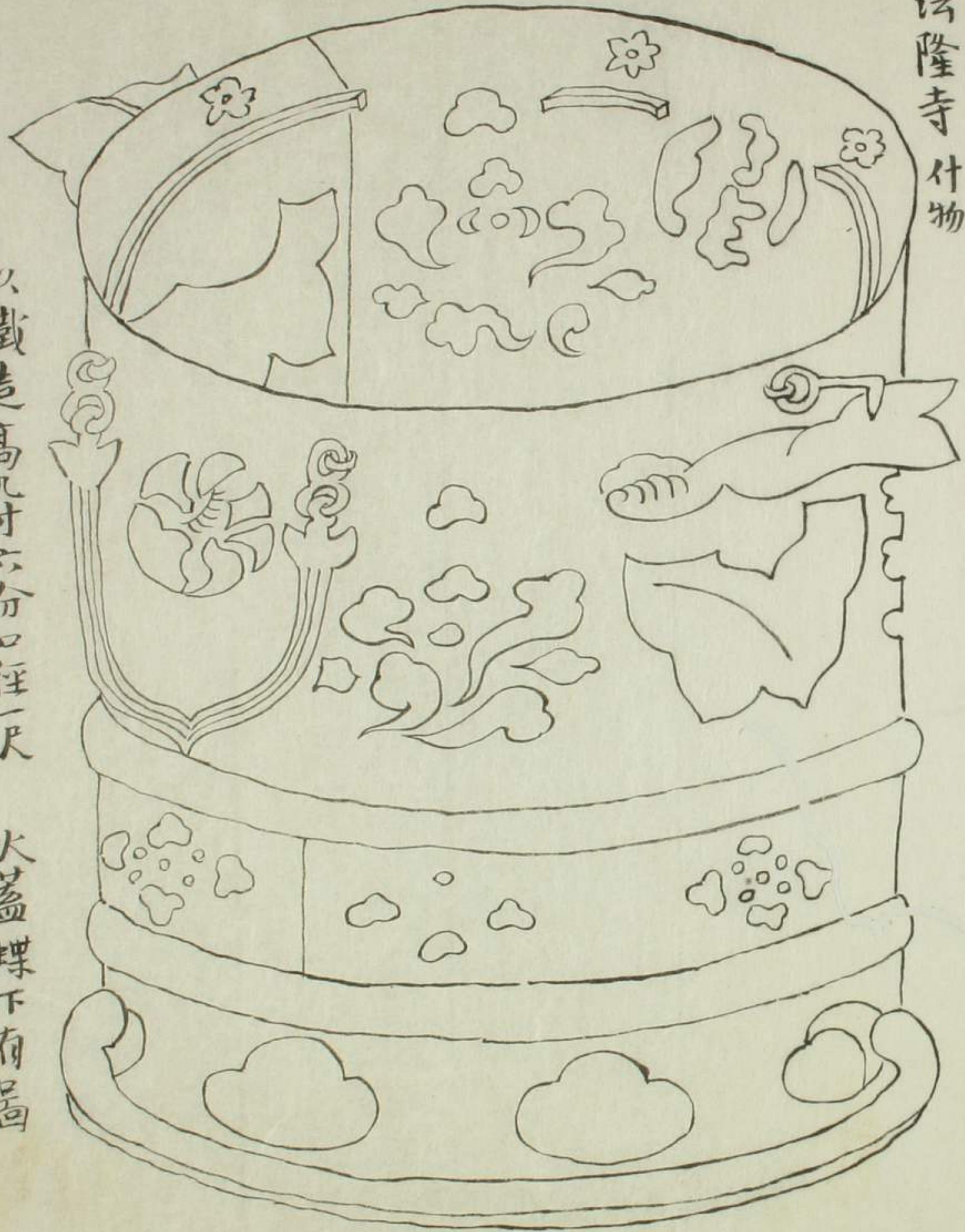
右之 御朱印^之結^之てハ^之不^之出
 御傳馬^之去^之也^之 仍^之如^之件^之
 其^之又^之長^之六^之年^之 西^之月^之 六^之 驛^之に

釣 筭

法隆寺什物

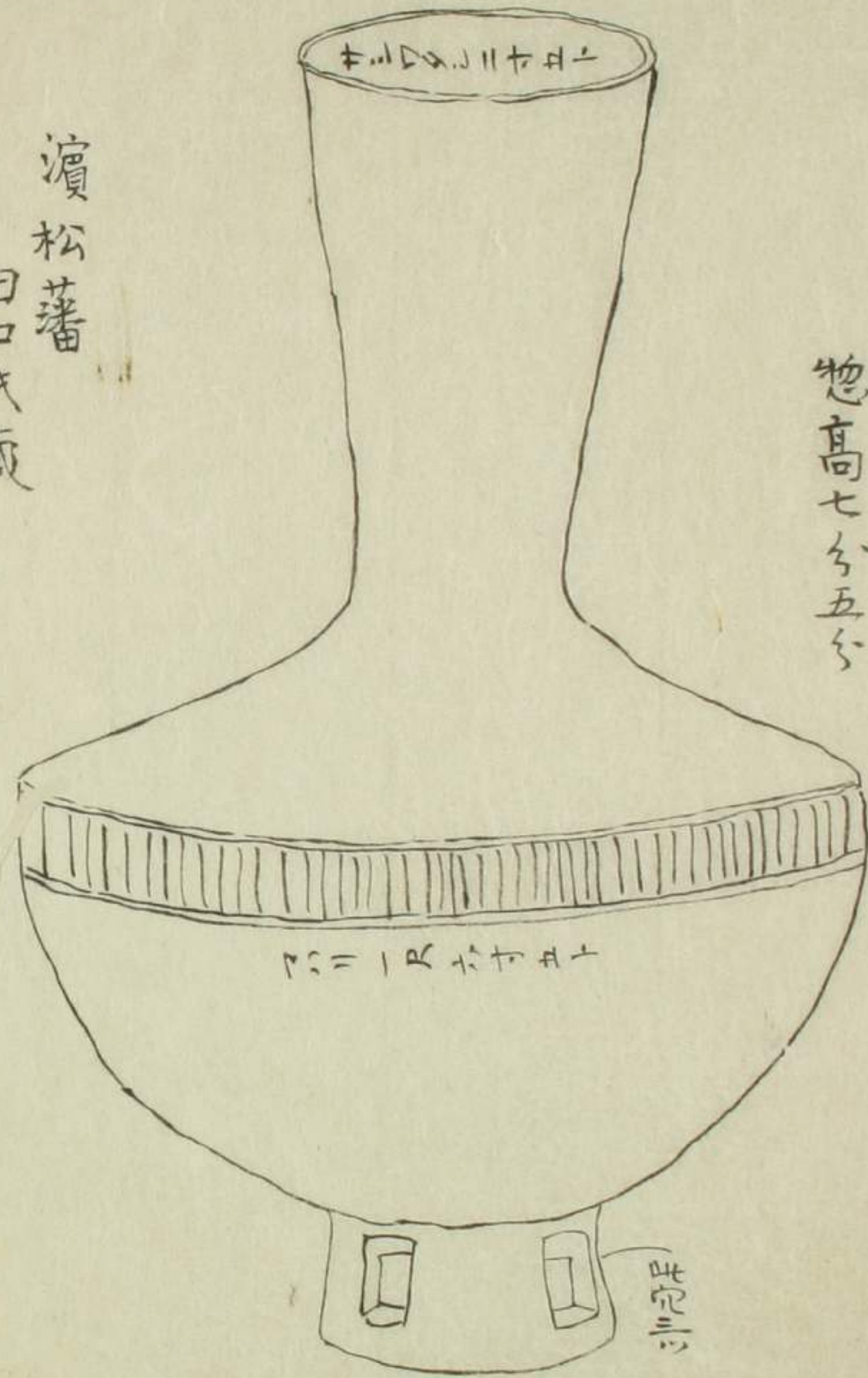
以鐵造高九寸六分口徑一尺

火蓋下有足



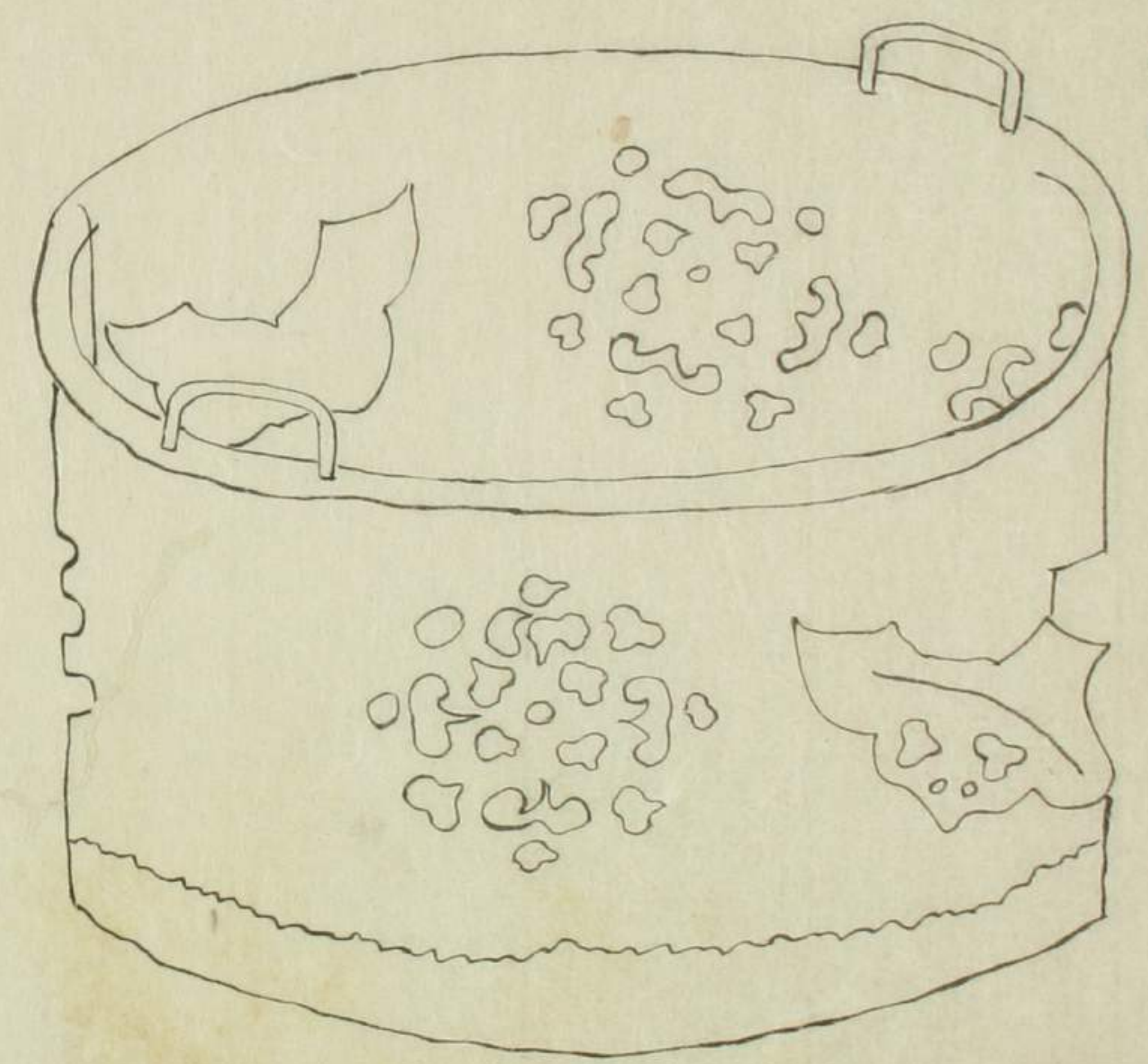
濱松藩
田口氏藏

惣高七寸五分



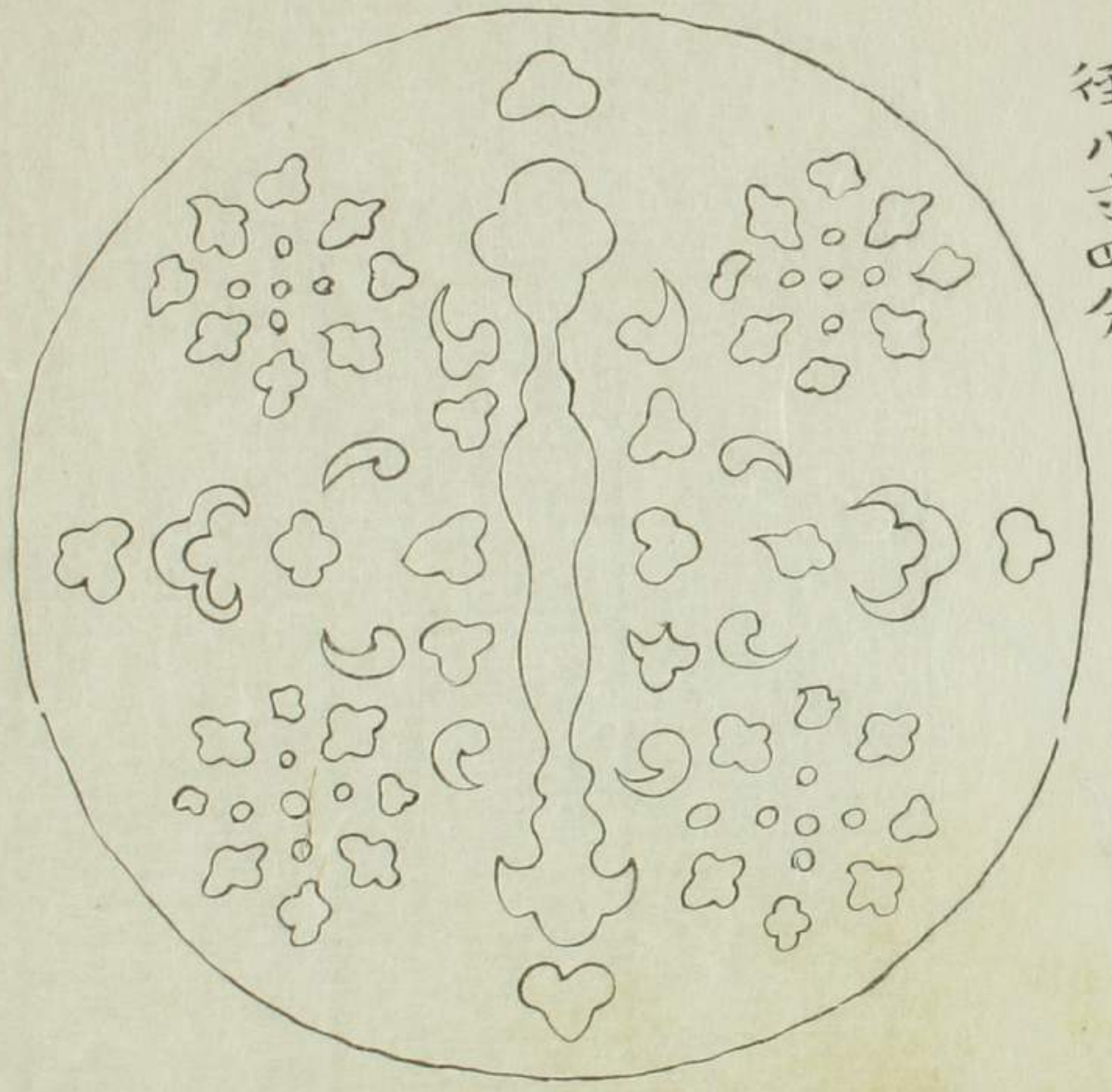
同懸子

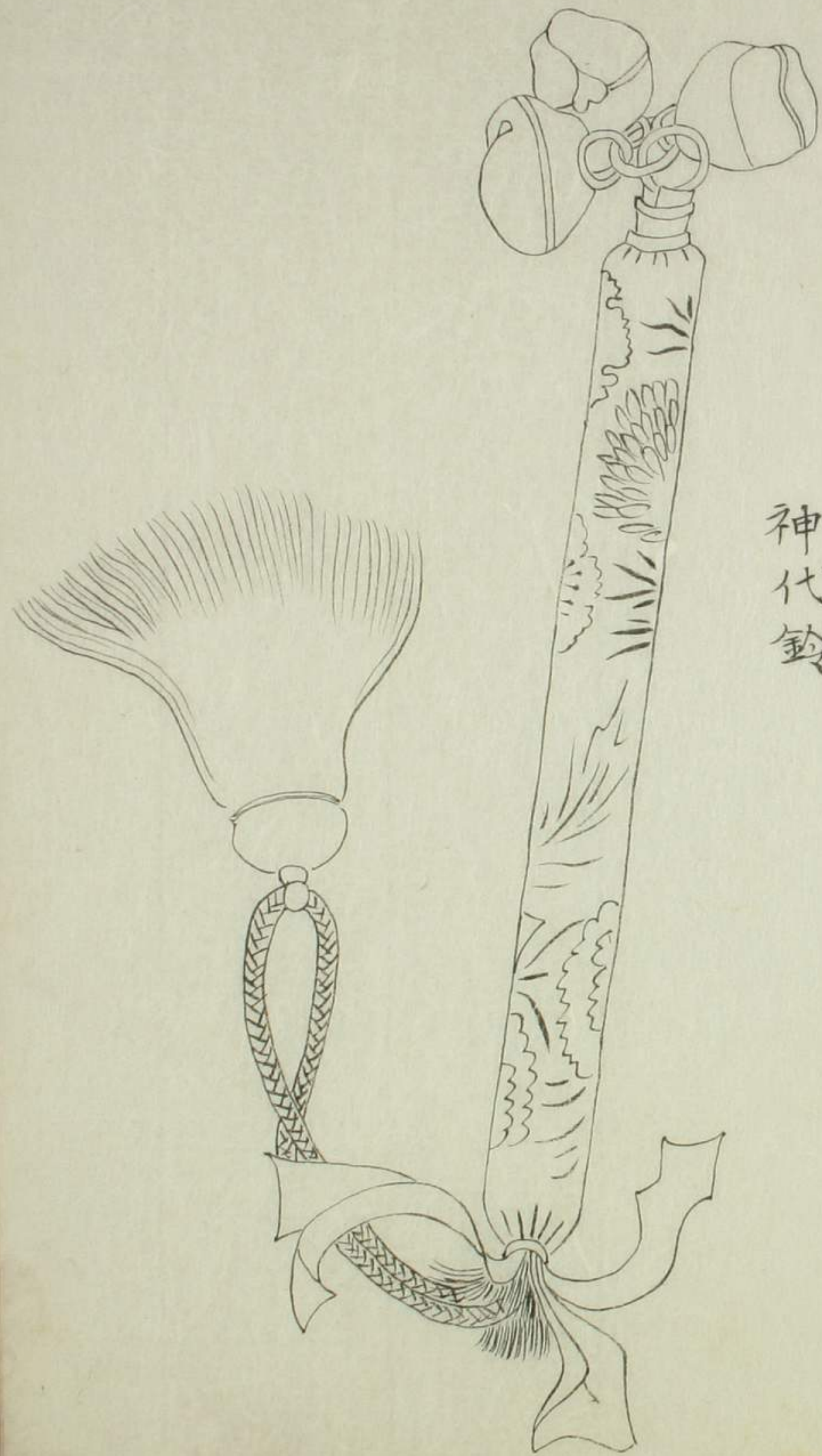
深四寸三分



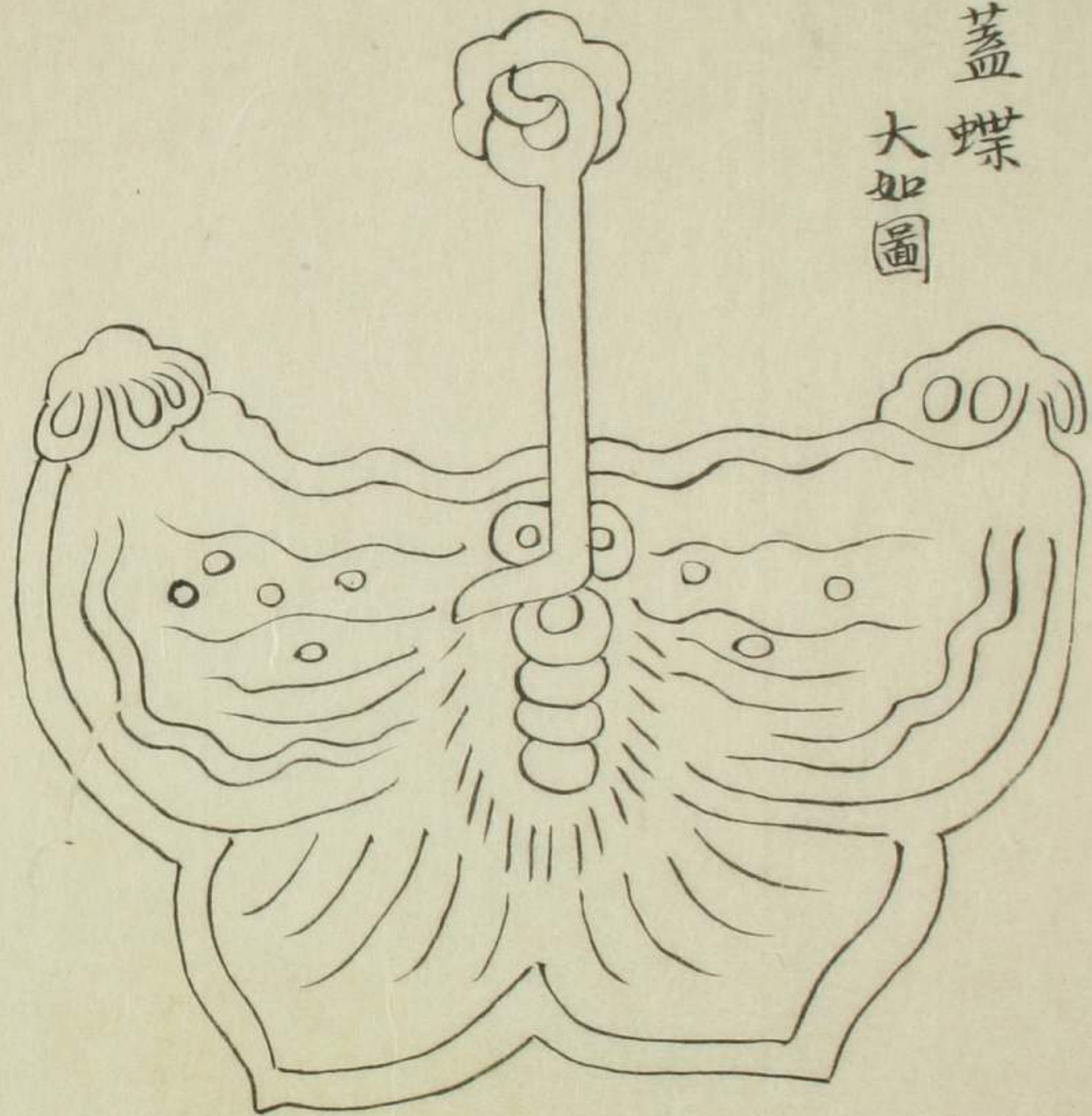
懸子底

徑八寸四分





下御靈什物
神代鈴



同
火蓋蝶
大如圖

